3つのひかり　未来をつくる

広島市立大学

Hiroshima City University

大学案内 2019

コミュニケーションマークのデザインについて

磁力に吸い寄せられるように集まり互いに刺激し合い、そして解き放たれる3つの光。本学の新しいタグラインである「3つのひかり 未来をつくる」からイメージを展開し、固定観念にとらわれず、多角的な見地から可能性を模索していく3学部を表した図像としてデザインしました。さらに、ユーザーによるカスタマイズを可能にするプログラムを使用することで、可変性のあるマーク作りを可能としました。新しいイメージを展開しながら一つのブランドとしての印象を損なわない新しいスタイルのマークです。

3つのひかり 未来をつくる

広島市立大学

Hiroshima City University

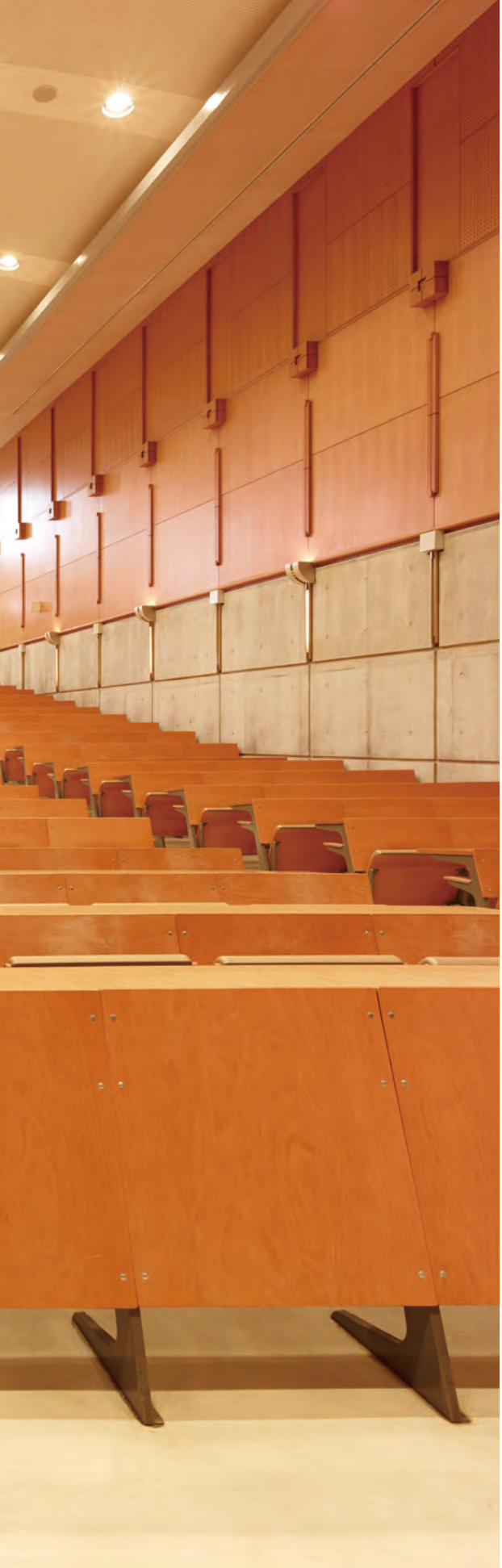
大学案内2019

国際学部
International Studies

情報科学部
Information Sciences

芸術学部
Arts

TALK TERIA
TALK TERIA
Enjoy
Eat & Talk!!



Contents

p.011 建学の基本理念
p.012 学長メッセージ
p.013 学部構成図
p.015 教育の特色
p.017 全学共通系科目
p.019 外国語系科目／資格取得関係科目
p.020 国際交流
p.021 留学体験記／Voices（留学生）

国際学部
p.024
p.025 学部長メッセージ
p.026 求める人物像・教育方針
p.027 5つのプログラム
p.029 国際学部 年次チャート
p.030 ■国際政治・平和プログラム
p.031 ■公共政策・NPOプログラム
p.032 ■多文化共生プログラム
p.033 ■言語・コミュニケーションプログラム
p.034 ■国際ビジネスプログラム
p.035 国際理解・少人数教育の重視／HIROSHIMA and PEACE
p.037 CALL英語集中
p.038 ユニークな研究紹介
p.039 海外研修
p.041 Voices（在学生）

情報科学部
p.044
p.045 学部長メッセージ
p.046 求める人物像・教育方針
p.047 学科・コース
p.049 情報工学科 年次チャート
p.050 ■コンピュータコース
p.051 ■ネットワークコース
p.052 ■コミュニケーション基盤コース
p.053 知能工学科 年次チャート
p.054 ■知能ソフトウェアコース
p.055 ■知能メディアコース
p.056 ■知能サイエンスコース
p.057 システム工学科 年次チャート
p.058 ■人間・ロボット共生コース
p.059 ■インタフェースデザインコース
p.060 医用情報科学科 年次チャート
p.061 ■医用情報科学科
p.063 ユニークな研究紹介
p.065 Voices（在学生）

芸術学部
p.068
p.069 学部長メッセージ
p.070 求める人物像・教育方針
p.071 学科／専攻・分野
p.073 美術学科 年次チャート
p.074 ■日本画専攻
p.075 ■油絵専攻
p.076 ■彫刻専攻
p.077 デザイン工芸学科 年次チャート
p.078 ■現代表現
p.079 ■視覚造形
p.080 ■立体造形
p.081 ■映像メディア造形
p.082 ■金属造形
p.083 ■染織造形
p.084 ■漆造形
p.085 ユニークな研究紹介
p.087 創作工房・実習アトリエ
p.089 Voices（在学生）

p.092 大学院
p.102 広島平和研究所
p.105 附属施設
p.109 地域に貢献する広島市立大学

キャンパスライフ
p.116
p.117 学生座談会
p.121 特色のある課外教育プログラム
p.123 探そう「私」の広島三ツ星
p.129 キャンパスカレンダー
p.131 大学生活サポート
p.133 クラブ&サークル
p.137 キャンパスマップ

就　職
p.140
p.141 就職
p.142 就職活動体験談
p.143 キャリア形成・就職サポート
p.148 就職データ
p.149 就職先・進路■国際学部
p.151 就職先・進路■情報科学部
p.153 就職先・進路■芸術学部
p.155 ウェブサイト紹介
p.157 入試情報
p.159 大学基礎データ
p.161 アクセスマップ

科学と芸術を軸に
世界平和と地域に貢献する
国際的な大学

広島市立大学が建学の基本理念として掲げる「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という言葉には、科学・文化の発展と世界平和を希求する広島市の意志と、公立大学としての地域貢献への期待が込められています。

そうした本学の使命は、学術の中心として、深く専門の学芸を教授研究し、次代を担う感性と創造力の豊かな人材を養成するとともに、優れた教育研究の成果を地域に還元し、もって文化の向上と社会の発展に寄与することにあります。

国際平和文化都市を都市像とする広島市に設置された本学は、国際学部、情報科学部、芸術学部の3学部、そして大学院として、国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科、平和学研究科（2019年4月設置）を有する総合大学です。

また、世界平和と人類の幸福を実現するための研究や提言を行うことを目的として広島平和研究所を設置しています。

広島市立大学は、特色のある教育研究活動を通じて、世界と地域が求める時代の要請に応え、本学が目標とする「国際平和文化都市の『知』の拠点—地域と共生し、市民の誇りとなる大学—」を築き上げていきます。

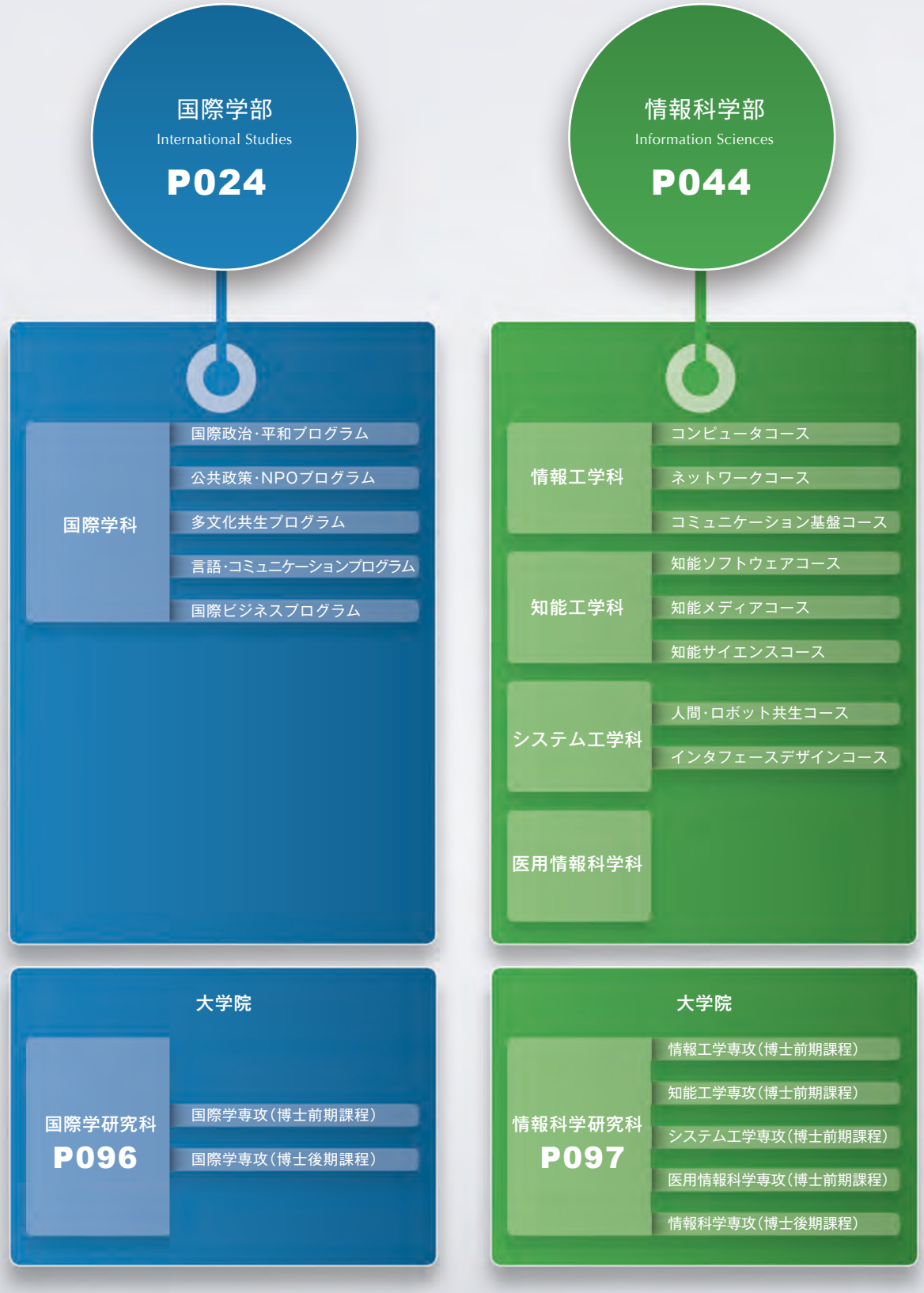
広島市立大学
Hiroshima City University

国際平和文化都市の「知」の拠点

広島市立大学長 **青木 信之**

広島市は「国際平和文化都市」として国際的にも歴史的にも特別の役割を担った都市です。
その広島市が「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」として1994年に設置した公立大学、それが広島市立大学です。
国際学部、情報科学部、芸術学部、そして広島平和研究所という特色ある構成の本学は、国際平和文化都市の「知」の拠点、地域と共生し、市民の誇りとなる大学を目指し、日夜教育・研究を行っています。
2015年度から、地域に貢献する人材を育成するため、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」として、県内の大学や自治体、企業などと連携し、「観光振興による『海の国際文化生活圏』創生に向けた人材育成事業」に取り組んでいます。
2017年度には、社会における自らの役割を認識した次代を担うリーダーの育成をめざし、「広島市立大学塾」を開塾し、2018年度には、大学の国際化およびグローバル人材育成施策の一環として、日本人学生と外国人留学生とが共同生活を行う国際学生寮「さくら」を開設しました。
さらに2019年4月には、広島から平和創造に貢献する人材を育成するため、大学院平和学研究科を設置するなど、本学が飛躍するための取り組みを順次進めています。
広島の地で国際学、情報科学、芸術学、平和学を学び、世界と地域での活躍を志す皆さんの入学をお待ちしています。

学部構成図


国際学部
International Studies
P024
国際学科
国際政治・平和プログラム
公共政策・NPOプログラム
多文化共生プログラム
言語・コミュニケーションプログラム
国際ビジネスプログラム
大学院
国際学研究科
P096
国際学専攻（博士前期課程）
国際学専攻（博士後期課程）
情報科学部
Information Sciences
P044
情報工学科
コンピュータコース
ネットワークコース
コミュニケーション基盤コース
知能工学科
知能ソフトウェアコース
知能メディアコース
知能サイエンスコース
システム工学科
人間・ロボット共生コース
インタフェースデザインコース
医用情報科学科
大学院
情報科学研究科
P097
情報工学専攻（博士前期課程）
知能工学専攻（博士前期課程）
システム工学専攻（博士前期課程）
医用情報科学専攻（博士前期課程）
情報科学専攻（博士後期課程）

芸術学部
Arts
P068

美術学科
- 日本画専攻
- 油絵専攻
- 彫刻専攻

デザイン工芸学科
- 現代表現領域：現代表現
- デザイン工芸領域：視覚造形
- デザイン工芸領域：立体造形
- デザイン工芸領域：映像メディア造形
- デザイン工芸領域：金属造形
- デザイン工芸領域：染織造形
- デザイン工芸領域：漆造形

大学院

芸術学研究科
P098
- 造形芸術専攻（博士前期課程）
- 総合造形芸術専攻（博士後期課程）

大学院

平和学研究科
P099
- 平和学専攻（修士課程）

2019年4月設置

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

求める人物像

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

◎人間性豊かで、向学心の旺盛な人

◎知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人

◎世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

01
徹底した少人数教育

1:2

本学では、1学年の学部学生約420名に対し、約190名の専任教員を配置しています。教員1名当たりの1学年の学生数は約2.2名です。このような恵まれた教育体制を特徴とし、演習科目や多くの授業で少人数教育を実践しています。少人数教育で教員と学生相互の緊密な人間関係を築き、学習面のみならず、課外活動や進路選択など学生生活全般にわたってきめ細かい指導を行っています。

02
3学部合同基礎演習

「3学部合同基礎演習」は1年次前期に開講される全学必修科目です。3学部の学生10数名が学部を超えて少人数クラスを作り、与えられた課題をグループワークで解決するなど、学部の専門性を超えた多様な知識や価値観を身に付けます。また、「知のトライアスロン」スタートアップコースを授業に取り入れ、読書、映画鑑賞、美術鑑賞を通して幅広い教養を身に付けると同時に、レポート作成やプレゼンテーション、ディスカッションによりコミュニケーション能力を養います。学部の枠を超えて少人数のゼミを体験することで、大学生活に必要な能動的な「学び」の姿勢が身に付きます。

03
キャリア教育の推進

卒業後の進路や職業選択に向けた学生のキャリア形成支援を目的に、「キャリア形成・実践科目」を設けています。柱となる「キャリアデザイン」では、グループワークやさまざまな分野で活躍する社会人の講演などを通じて、大学で学ぶことと社会で働くことの意義や関係性を理解し、社会人にとって必要な力を身に付けるとともに、自分自身のキャリアプランを考えていきます。「キャリアサポートベーシック」では、キャリアデザインの実現のために必要な知識・スキルを学び、具体的な実践力を養っていきます。また、企業で行われるインターンシップ(国際学部と情報科学部)や学校でのインターンシップ(国際学部のみ)に参加することで、専門科目の単位として認定される制度があります。インターンシップは、就業体験を通じて、職業に対する意識を高めることを目的としています。2014年4月にはキャリアセンターを設置し、従来からの就職支援にとどまらない総合的なキャリア教育を、全学を挙げて実施する体制を整えています。

04
いちだい知のトライアスロン

「いちだい知のトライアスロン」は、「知る・考える・伝える」能力の向上と豊かで幅広い教養を培うことを目的として、3学部の特徴を生かし、質とともに量を重視した読書、映画鑑賞、美術鑑賞を大学全体で推進する教育プログラムです。このプログラムでは、大学で開発した専用のウェブシステムを使い、学生が読んだ本や鑑賞した作品の推薦コメントをオンラインで提出し、教員からコメントが返信されます。なお、毎年度、優秀な感想を提出した学生を「コメント大賞」受賞者として表彰しています。そして、附属図書館、語学センター、芸術資料館などの学内施設では、学生がより多くの作品に挑戦できる環境を整えています。また、広島市内の美術館や広島市映像文化ライブラリー等とも連携し、これらの学外施設を会場に本学教員による講演やギャラリートーク、映画上映会等を組み合わせた「出張講座」を年に数回開催しています。スタートアップコースから次第にレベルを上げていき、最終段階のトライアスロンコースを完走した学生は「知の鉄人」として表彰されます。

「知の鉄人」表彰式

05
グローバル教育の推進

本学はグローバル人材育成のための科目が充実しています。全学共通の外国語系科目では、第1外国語の英語に加えて、第2外国語としてドイツ語、フランス語、中国語をはじめとして多様な言語がどの学部の学生も受講できるようになっています。16校の海外学術交流協定大学があり、半年から1年間の学生派遣、留学生の受け入れを積極的に行っています。また、アメリカ、フランス、ロシア、中国の協定校への短期語学研修があり、研修学生には単位が与えられます。その他、学生が自分で計画した海外語学研修に対する補助事業など、次代を担うリーダー人材育成のためのグローバル教育の推進に努めています。

ハノーバー専科大学の教員Ute Heuer先生のワークショップ

全学共通系科目

学部を超えた共通科目の学修で、知識・感性・人間性を磨く

本学では、学部の専門的な科目に加えて、「総合共通科目」「一般情報処理科目」「保健体育科目」の3分野で構成された全学共通系科目を設置。各専門分野をはじめ、人間と文化、社会、科学との関わりや創造と表現、コンピュータリテラシーなどを学び、社会人に求められる理解力・判断力・表現力を総合的に身に付けていきます。

区分			科目
全学共通系科目	総合共通科目	総合科目	地球環境論　創作と人間　メディアと社会　情報と企業 地域再生論入門　心の健康・身体の健康　情報社会論　NPO論
		広島科目	広島の産業と技術　広島の観光学 ひろしま論　地域課題演習
		平和科目	平和と人権A（ヒロシマと国際平和）　平和インターンシップ 平和と人権B（現代世界と人権）　国際化時代の平和 広島からの平和学：実践の方法
		共通科目A（人間と社会）	哲学A・B　歴史学　法学（日本国憲法）　社会学　経営学 世界の宗教　現代史A・B　政治学　文化人類学 心理学　世界の文学　経済学　自然人類学
		共通科目B（数理と自然）	数学概論　基礎物理学　基礎化学　基礎生化学　物理・化学実験 物理学概論　化学概論　生物学概論　情報科学概論
		共通科目C（芸術）	デッサン概論　日本画入門　プレゼンテーション概論 油絵入門　立体造形概論　デザイン工芸概論　コンピュータ・アート
		基礎演習	3学部合同基礎演習
		キャリア形成・実践科目	キャリアデザイン　キャリアサポートベーシック　国際交流演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	一般情報処理科目		情報活用基礎
	保健体育科目		健康科学　体育実技Ⅰ・Ⅱ

※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

●ユニークな科目

創作と人間

芸術学部を有する本学の特徴を最大限に生かし、全学部生を対象とし、美術に関する幅広い教養と知識を養い、人間の根源的な創造または創作する気持ちを触発し、作品を造る喜びを伝える本学ならではの科目です。絵画・彫刻・工芸・デザイン等の各領域で、優れた技術と豊富な経験を持つ芸術学部教員が、自らの創作体験や作品の紹介を通して創作への姿勢を示し、その多様な芸術観に触れる機会を提供することで人間的な創作について考察します。

情報と企業

ICT（情報通信技術）を中心とした各企業の取り組みを通じて、実社会の状況を知ることを目的としています。国内外のさまざまな企業の第一線で活躍中の講師を迎え、ICTを中心とした各企業での取り組みについて講義をします。また、この科目は、遠隔講義環境を利用して、慶應義塾大学、同志社大学、広島市立大学の3拠点をネットワークで結び、本学から参加できるようにしています。両大学における講義を聴講するだけでなく、質疑応答等も含め双方向の対話が可能です。

広島の観光学

広島市を中心とする広域圏が有する自然、歴史・文化、食などの地域資源の魅力と可能性について学び、地域資源の付加価値を高める取り組み、地域での創意工夫と観光による地域活性化についての理解を深めていきます。観光は地域を変革し、活性化するパワーを持っています。人々はなぜ観光をするのか、観光の要素、観光を支える仕組みの基礎知識を修得しながら、地域活性化における観光の役割と地域での創意工夫について学んでいきます。

ひろしま論

3学部1研究所で構成する本学の特色を生かした科目です。広島をキーワードに幅広いテーマを設定し、各テーマに造詣の深い講師がオムニバス形式で授業を行います。さまざまな観点から広島の歴史、文化、経済、産業、行政などをひもとくことでその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と発展を思考できる幅広い見識を持った人材を育てることを目的としています。また、国際平和文化都市・広島の原点である被爆体験や広島の平和の取り組みについても学びます。

平和と人権A（ヒロシマと国際平和）

人間が生まれながらに持つ権利（人権）と個々人が備え持つ固有の価値（尊厳）が保障され、守られる状態を広い意味での「平和」と捉えるなら、人権や人間の尊厳が傷つけられ、侵される最も顕著な例は戦争です。講義では、広島の戦争経験のうち、今から約70年前に投下された原子爆弾による被爆体験に焦点を当てます。その上で、先の大戦の経緯や原子爆弾の投下過程と被害の実相、現代世界における核兵器の存在状況や意味を考えながら、平和を実現するための課題について探究します。広島平和研究所や国際学部・情報科学部・芸術学部の教員、さらには学外の有識者や被爆者などを講師として迎え、講義では映像や図像等も積極的に活用します。

外国語系科目

地球社会に生きる国際人に必要な語学力の習得

最新の設備や機器を備えた語学センターや外国人教員による直接の指導、多彩な教材など、ハード・ソフトの両面から外国語の学習環境を提供。読むこと、書くこと、話すこと、聞くこと、考えることという総合的で実践的な語学力を身に付け、21世紀の国際人として活躍できる力を養います。

●外国語系科目

英語応用演習 Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ·Ⅳ	フランス語 Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ·Ⅳ	アラビア語 Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ·Ⅳ	スペイン語 Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ·Ⅳ	
CALL英語集中 Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ·Ⅳ	科学英語演習 Ⅰ·Ⅱ	中国語 Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ·Ⅳ	ロシア語 Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ·Ⅳ	日本語 Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ·Ⅳ
eラーニング英語 Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ·Ⅳ	ドイツ語 Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ·Ⅳ	ハングル Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ·Ⅳ	イタリア語 Ⅰ·Ⅱ·Ⅲ·Ⅳ	

※学部等により履修できない科目もあります。

●徹底した訓練を行う「CALL英語集中」

本学では、コンピュータ利用による英語訓練授業「CALL英語集中」により、英語力の養成を図っています。この授業では、語学センターや情報処理センターのコンピュータを使って、1年次は英語のリスニング、リーディング、文法を集中的に学習。2年次はそれらに加えて、スピーキングやライティングを学習し、英語表現を徹底的に身に付けます。授業は、指定された約2カ月間に自分の都合やペースに合わせて学習を行うもので、学習の開始前と終了後にTOEIC IPテストを受験。国際社会に不可欠な英語力を確実に高めていきます。

●能力別少人数の「英語応用演習」

「CALL英語集中」とは別に、1クラス10～15名という少人数授業「英語応用演習」を開設。ここではスピーキングとライティングの技能を集中して鍛えるための授業を行います。このクラスは能力別の編成を行い、各クラスのレベルに適したシラバスとテキストを使って、きめ細やかな指導を行います。

資格取得関係科目

本学では、教育職員免許状受領資格や学芸員資格を取得するための科目を開設しています。

取得可能な資格（2018年度入学者適用）

国際学部
- ●中学校教諭一種免許状（英語）
- ●高等学校教諭一種免許状（英語）
- ●博物館、美術館などの学芸員

情報科学部
- ●高等学校教諭一種免許状（数学）
  ※医用情報科学科を除く
- ●高等学校教諭一種免許状（情報）
- ●博物館、美術館などの学芸員

芸術学部
- ●中学校教諭一種免許状（美術）
- ●高等学校教諭一種免許状（美術）
- ●博物館、美術館などの学芸員
- ●高等学校教諭一種免許状（工芸）
  ※デザイン工芸学科に限る

資格取得関係科目は以下のとおりです。

区　分	科　目				
教育職員免許状 受領資格取得 関係科目 （教職に関する科目）	教師論	教科教育法（英語）A·BⅠ·BⅡ	道徳教育論	教育実習Ⅰ·Ⅱ	
	教育原理	教科教育法（数学）Ⅰ·Ⅱ	特別活動論	教職実践演習（中等）A·B·C	
	教育心理学	教科教育法（情報）Ⅰ·Ⅱ	教育方法·技術論	学校インターンシップ	
	教育経営学	教科教育法（美術）A·BⅠ·BⅡ	生徒·進路指導論	教職特講	
	教育課程論	教科教育法（工芸）Ⅰ·Ⅱ	教育相談論		
学芸員資格取得関係科目	生涯学習概論	博物館経営論	博物館資料保存論	博物館教育論	博物館実習
	博物館概論	博物館資料論	博物館展示論	博物館情報·メディア論	

※教育職員免許状受領資格について、2019年度以降入学者からは、法改正に伴う全国的な再課程認定申請を本学も行っており、関係科目が変更となるほか、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

広島市立大学は、広島ならではのメッセージを世界に発信できる特別な都市にあることからも、建学の基本理念としても、国際的な大学となることを強く期待されています。大学の国際化をより一層強力に推進するため、国際交流推進センターを設置し、学生の海外留学派遣および留学生受け入れのための企画・実施等を全学で一元化し運営する体制を整えています。今後も、各種国際交流プログラムをさらに充実させるなど、学生の語学や専門知識・技能の習得はもとより、異文化環境の中で活躍できるグローバル人材の輩出に取り組んでいきます。加えて、2018年4月に留学生と日本人学生が共同生活を行う「国際学生寮」が開寮しました。寮生活を通じ、グローバルな視野を持ち、対人関係の構築や多様性を受け入れ共感する力に優れたタフな人材を育成していきます。

●海外からの留学生の積極的な受け入れ

本学では建学の理念である国際的な大学を実現するため、外国人留学生入試の実施や海外大学との学術交流協定に基づく交換留学の実施などにより、留学生の受け入れに積極的に取り組んでいます。2017年度の実績では、受け入れ留学生数は104名、うち海外学術交流協定大学からの交換留学生16名で、公立大学の中でも国際交流が盛んな大学です。本学で受け入れた留学生の学習や日本での生活がスムーズに進むよう、日本語や日本の事情を学ぶ科目を充実させるとともに、奨学金制度を紹介するなど、さまざまなサポートを行っています。

●海外学術交流協定大学等への学生派遣

現在、

- ◎ ハノーバー専科大学（ドイツ）
- ◎ アラヌス大学（ドイツ）
- ◎ ベルリン・バイセンゼー芸術大学（ドイツ）
- ◎ ベルリン・フンボルト大学（ドイツ）
- ◎ ハワイ大学マノア校（アメリカ）
- ◎ オルレアン大学（フランス）
- ◎ レンヌ第2大学（フランス）
- ◎ 西京大学校（韓国）
- ◎ 梨花女子大学校（韓国）
- ◎ 西南大学（中国）
- ◎ 国際関係学院（中国）
- ◎ 上海大学（中国）

等と協定を結び、交流・学生交換留学を推進しています。派遣留学は、本学に在籍したまま、半年あるいは1年間留学するもので、派遣先の大学で修得した単位は、一定の条件のもとで本学の単位に認定されます。2017年度は15名の学生が派遣留学をしました。
なお、2018年度より以下の新規協定大学への派遣が開始される予定です。

- ◎ ヴァインガルテン教育大学（ドイツ）
- ◎ エミリー・カー美術デザイン大学（カナダ）
- ◎ 慶北国立大学校人文大学（韓国）
- ◎ マレーシア科学大学（マレーシア）

●短期語学留学プログラム

語学力を向上させるとともに、主体性、積極性、協調性などを培い、長期留学の促進を図ることを狙いとして、2週間から4週間程度、海外の大学での語学集中講義や歴史・文化研修などからなる研修プログラムを実施しています。2017年度は、ハワイ大学マノア校（アメリカ）、オルレアン大学（フランス）、西南大学（中国）での研修を実施し、合計27名が参加しました。なお、この研修への参加を単位認定する仕組みや、大学から助成金を支給する制度を設けています。

●海外交流プログラム

海外の学生との交流やホームステイ等を通じて、国際交流の楽しさを実感するとともに、短期語学研修プログラムや長期派遣留学への参加意欲を高めること等を狙いとして、1週間から10日間程度、海外に赴くプログラムを実施しています。2017年度は、シンガポール、アメリカ（サンフランシスコ）、マレーシア（ペナン）での交流プログラムを実施し、合計41名が参加しました。このプログラムにも、大学から助成金を支給する制度を設けています。

◎海外語学研修補助事業

大学が主催する研修等とは別に、学生が自ら計画して海外の大学または研修機関で語学研修を受けようとする場合に、旅費、研修費用等の2分の1を1人につき20万円を限度に補助する事業です。2年生以上の学生を対象とし、2017年度は8名の学生が利用しました。

2017年度実績（研修先国および人数）
カナダ（4名）、ドイツ（2名）、フィリピン（1名）、ロシア（1名）

住岡 梓

芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻2年
（2017年2月から1年間、ドイツ・ハノーバー専科大学に派遣留学）

ハノーバーは北ドイツの主要な都市の一つです。とにかく治安が良く、便利で、豊かな自然もある大変住みやすい町です。周辺国へのアクセスも簡単で、アートやデザインのさまざまな展覧会を見学でき、大変刺激的でした。文化活動が盛んで、課外活動の一環で私自身でも展覧会や講演会をしたことはとても良い経験でした。大学では自分の実現したいことを伝えると先生方はいつも熱心に指導してくださいました。ドイツ語は元々全く話せませんでしたが、グループワークなどを通して、最後は友達と楽しく会話できるようになりました。たくさん友達ができ、ドイツでの生活をより楽しむことができました。週末にドイツの料理を教えてもらったり、イースターとクリスマスには、友達の家族と一緒にドイツの伝統的な行事を体験させてもらったりするなど、とても大切な思い出ができました。

池田 優子

情報科学部情報工学科2年
（2017年9月に9日間、マレーシアでの交流プログラムに参加）

海外に行ってみたいという好奇心だけで、短期留学のマレーシア交流プログラムに参加しました。現地では、マレーシア科学大学の学生と仲良くなり、地元の人が利用するような露店に連れて行ってもらったり、イスラム教のお祈りを実際に見せてもらったり、貴重な体験をさせてもらいました。

マレーシアでは英語での会話が主です。受験のときに勉強した英語だけでなく、話す力、相手の意図を考えながらのリスニング力が求められ、自分の未熟さを痛感しました。

英語を頻繁に使わなければならず、大変でしたがとても新鮮でした。
マレーシアで知り合った友人とは、日本に帰ってからも、eメール、ポストカード、インスタグラム等で連絡を取り合っています。外国人の友人を作る機会は、日本ではなかなかめぐり合えません。9日間の滞在は私にとって世界に視野を広げるきっかけになりました。

小坂 孔哉

国際学部国際学科3年（2017年8月から1カ月間、オルレアン大学短期語学研修に参加）

今回、1カ月間フランスのオルレアンの短期研修に参加しました。ホストファミリーがとても親切で、私は英語とフランス語を混ぜながら会話をしました。ホストファミリーにはなるべくフランス語で話してもらい、耳を慣らすことに専念しました。やはり、1カ月間は短いので、フランスにいる時にしかできないこと、例えば日本ではあまりできないリスニング、スピーキングを意識するようにしました。せっかく現地の大学で勉強しているので、フランス人の友達を作り、コミュニケーションをとることが1カ月という短期間では重要だと考え、積極的に現地の人と交流しました。この1カ月で得たものはとても多く、何よりオルレアン大学には日本語学科があるため日本に興味のある学生が多く、とてもいい環境であると感じました。

アデリン・ルメテ（フランス）

芸術学研究科（博士後期課程）総合造形芸術専攻2年

日本に留学してから、さまざまな経験ができ、成長したと思います。最初は日本語がうまく話せなかったせいで、日本人と話すのが恥ずかしかったし、日常生活の中で色々怖かったです。でも、大学のおかげで少しずつ日本語が喋れるようになり、新しい生活に慣れて友達ができました。今日本に来て4年目で、留学のおかげで日本の美術を勉強できて違う世界を発見し、自分がとても変わったと思います。4年前の自分ほど恥ずかしがらないし、色々な人と出会ってより自信を持つようになって心が広くなったと思います。留学は、他の国で勉強するだけではなく、他の文化、他の考え方を発見して、自分と違う人と一緒に生活するという素敵な経験だと思います。

イ・スンヒョン（韓国）

情報科学部医用情報科学科3年

2014年4月に広島市立大学に入学しました。初めてこの大学を知ったとき、自分が勉強したい分野、特に医用分野のカリキュラムが充実しているとわかり、この大学を選びました。留学をしてから他国ですべて自分一人でやらなければならないということは大変でした。しかし、一度も日本に来たことを後悔したことはないです。逆にそれらの経験を通して、これから一人で自立するために必要な知識、日本の文化への理解などいろんな大切な経験をすることもできました。そして今は日本の生活に慣れ、これから新しく来る留学生のために役に立ちたいと思い、広島県韓国人留学生会のスタッフとして新入留学生のサポートをしています。また、この大学に入って、シンガポール交流プログラムや韓国の大学との交流プログラムなどいろんな国と交流ができるプログラムにも参加し、日本でほかの国との交流をすることによって国際化社会にもっとふさわしい人になりたいと思いました。今後も自分の専攻分野の勉強およびいろんな交流活動に努め、日本だけではなく母国にも役に立つ人になりたいと思います。

レティ・ウァン・アン（ベトナム）

国際学部国際学科3年

日本語学校を卒業後、先生から勧められて広島市立大学を受験して入学しました。最初は、不安がいっぱいでしたが、国際交流推進センターの先生方のサポートのおかげで、徐々に新しい環境に慣れました。2年間日本語学校で勉強した日本語はやはり大学の勉強には足らず、大変でしたが、広島市留学生会館やひろしま国際センターで行われている日本語学習ワンペアに参加し、ボランティアの日本人先生と一緒に日本語を勉強しているので、日本語が上達し、学習面でも生活面でも非常に役に立っています。それと、勉強以外、ひろしま留学大使や広島市青年ボランティアなどという課外活動にも積極的に参加し、アルバイトもやっています。現在までの合計4年間留学生活を送り、最も勉強になったのは日本人の温かくて謙虚で誠実な心および仕事に対する真面目で熱心な姿勢です。何度もそのような姿に感心し、手本として頑張っていきたいと思っています。

国際学部

International Studies

国 際 学 部
International Studies

Challenge yourself to do what you can here in HIROSHIMA and out in the world.

国際学部長 **大庭 千恵子**

国際学部は、21世紀におけるHIROSHIMAと世界をつなぐための教育プログラムを持つ学部です。核兵器による最初の被爆地として人間の尊厳を伝えていく使命を持つ「ヒロシマ」。中・四国地方における社会・経済活動の一拠点として、地域と世界をつなぐ「広島」。そして、国内外から多様な文化や価値観を持つ人々が訪れ集う場、「HIROSHIMA」。
ここHIROSHIMAだからこそ出会える世界に向けて、国際学部では、国際政治・平和、公共政策・NPO、多文化共生、言語・コミュニケーション、国際ビジネスなどの各分野で専門教育を提供しています。一人ひとりの関心や目標に応じて、ひとつの分野を深めるもよし、複数の分野を組み合わせて新たな専門性を摸索するもよし。また、さまざまな言語を用いて自分の言葉でコミュニケートできる力を磨き、留学やゼミ活動等を通じてフィールドワークを経験することも。国際学部で、地域や世界の「今」を実感し、自分自身が必要とされる場での＋α（新たな出会いや発見）を探しましょう。それが、次のステップにつながります。Cross the place in need, find yourself indeed.

見つめる先は国際社会、自由なアプローチで豊かな人間性を培う

求める人物像

身に付けた外国語を生かしたい、ビジネスの現場で活躍したい、日本や世界、各地域の問題に強い関心があるなど、21世紀社会を担う意欲を持った人を歓迎します。

◎関心・意欲

国際社会や地域社会が抱える課題に関心を持ち、かつその解決に意欲を持つ人。

◎知識・技能

国際学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき現代社会についての基本的な知識・教養を持っている人。また、外国語を含む言語の基本を修得し、基本的な運用能力を身に付けている人。

◎思考力・判断力・表現力

・社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考え、自分の意見をまとめることができる人
・日本語と外国語を使って、自分の考えを分かりやすく表現できる人。

◎主体性・協働性

・何事にも主体性を持って行動し、海外留学やさまざまな活動に積極的に関わる意欲を持つ人。
・国際社会や地域社会で起こっている人間の営みに関連する諸課題の解決にむけて、さまざまな意見を持つ人とも対話し、協働して活動することができる人。

教育方針

一人ひとりの興味や卒業後の進路を見据えて選択した学びを、より効率的に進め、深めていくために、国際学部では、右のコンセプトでカリキュラムを編成しています。

◎「学際性」の実現に向けて

既存の枠にとらわれず、私たちの周りや世界各地域の異質で多様なものを、多面的・複眼的に関連付けて理解できる学際的なカリキュラムを設けています。

◎5つのプログラムの可能性

学生の関心や目標に応じた5つのプログラムを用意し、それらを組み合わせて学習することができる多様で柔軟なカリキュラムを編成しています。

◎少人数クラス・ゼミの魅力

学生同士はもちろん、学生と教員がしっかりとした議論ができるように、演習科目や各授業クラスを少人数で編成しています。

◎丁寧で適切なサポート体制

通常の授業だけではなく、課外活動を含めて、豊かな学生生活と学生一人ひとりの目標を実現できるよう、きめ細かなサポート体制を整えています。

国際学部
International Studies

5つのプログラムをベースにした国際学部の教育プラン

21世紀の国際社会で求められる人材を育成するために、国際学部では6つの目標を設けています。
それは、**●幅広い教養を身に付けること　●教養科目と専門科目とを連携させ学際的に学び知識を身に付けること●国際的・学際的な視野を持って多様な問題を解決できる能力を高めること　●高い外国語能力を身に付けること　●問題解決のための行動力を身に付けること　●一人ひとりの関心、興味、ニーズに応じ、専門的な研究へ発展させられること**の6項目です。この目標を実現できるように、5つのプログラミングを中心にした教育カリキュラムを提供しています。

5つの領域から21世紀を捉える

国際学部では、**●国際政治・平和　●公共政策・NPO　●多文化共生　●言語・コミュニケーション　●国際ビジネス**と、21世紀を担う人材に求められている国際的・地域的な課題を解決に導くための能力を養う5つのプログラムがあります。関心のある分野を深く学ぶ、あるいは複数のプログラムにまたがって幅広く学ぶなど、柔軟な学習が可能です。

複数プログラムの履修が可能

各自の関心や将来の目標に応じて複数のプログラムを履修することが可能です。各プログラムの科目は、互いに関連し合っているので、複数のプログラムを組み合わせて履修することで、理解が深まり、より高度な知識の修得が期待できます。また、広く深く学ぶことによって、専門プラスアルファの視点・考え方を身に付けることができます。

プログラム履修の認定

1プログラムにつき、学部で規定された以上の単位を修得することによって、そのプログラムで提供された専門科目を学修したことが認定されます。これを領域認定と呼びます。国際学部の学生は、複数のプログラムで領域認定を受けることが可能です。領域認定は、就職時だけでなく国際社会において評価されるものと考えています。

国際学部

国際政治・平和プログラム P030
公共政策・NPOプログラム P031
多文化共生プログラム P032
言語・コミュニケーションプログラム P033
国際ビジネスプログラム P034

●年次チャート

1

●全学共通系科目　●外国語系科目　●資格取得科目

●基礎演習
小グループでの演習が1年次からスタートします。

●国際研究入門
国際研究への興味関心、問題意識を喚起します。

●プログラム入門科目
5つのプログラムの案内をします。

2

●発展演習
学ぶ力と解決する能力を育みます。

●5つのプログラムを核とする専門科目スタート
それぞれの関心や将来設計に応じて、さまざまな専門科目が受講できます。

●国際政治・平和プログラム　●言語・コミュニケーションプログラム
●公共政策・NPOプログラム　●国際ビジネスプログラム
●多文化共生プログラム

3

●専門演習
最も関心のある分野に絞り込んで密度の濃い研究を行います。複数の専門演習（ゼミ）を選んで、多面的にテーマに接近することも可能です。

4

●卒論演習
卒業論文作成、また卒業後に向けて、温もりのあるサポートをします。教員1人が平均2人の学生を指導。

●卒業論文
一人ひとりがテーマを見出し、それを統一的視点によって明らかにします。

国際学部

国際政治・平和プログラム

地球規模の課題を理解し、その解決方法を探る

現代の国際社会には、紛争、テロ、難民、開発、環境などの
さまざまな地球規模の課題があります。
これらの課題を理解し、解決方法を見出すための鍵となる国際関係の理論や歴史、
そして平和研究の方法や実践について一緒に学びましょう。

こんな科目が受講できます

●比較政治学

さまざまな国の政治を比較することで、国際政治、ひいては現在の世界の姿が見えてきます。例えば民主主義の概念や憲法の成り立ちは国によって共通点と差異があります。各国の政治をその歴史を踏まえながら比較し、日本の政治についても考察を深めます。

●ヨーロッパ政治論

2015年に急速に増加した難民・移民の受け入れをめぐって、ヨーロッパ各国が揺れ動く一方、2016年6月には英国でEU離脱を問う国民投票が行われました。いま、ヨーロッパでは何が起きているのでしょうか。第二次世界大戦後から現在に至るヨーロッパ政治の現状について考えます。

●国際人権法

「人権」とは、それなしでは私たちが人間らしく生きることができない、日々の生活に密接に関わる考え方・行動の仕方・社会の制度です。「人間の尊厳」を取り戻そうとする街・広島で、時事的な国内外の人権問題も踏まえつつ、人権保障の仕組みと課題を一緒に考えていきましょう。

●開発政治論

戦後に独立した多くの国々が、民族対立などによる政治的混乱や低経済成長に悩んでいます。その一方で、同じく多民族国家であるにも関わらず、政治的安定と経済成長を実現している国々が東南アジアには存在します。この講義では、これらの国々の開発政策の特徴を考察します。

※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

カリキュラムの詳細は
広島市立大学 → 国際学部 → カリキュラム

こんな人にお薦め

◎外交の歴史や他国との関係に興味のある人

◎戦争や核兵器をめぐる問題に関心のある人

◎内戦の解決や平和の構築を支援する活動に関わってみたい人

ゼミ訪問

古澤ゼミ

古澤ゼミでは、武力紛争に関する基本的な概念から、紛争後社会で行われている「平和構築」という政策について学びながら、国際社会がどのような「平和」を築いているのかについて考えます。国際機関やNGOに勤める実務家と話す機会も設けています。

国際学部

公共政策・NPOプログラム

望ましい社会を創造するために、経済や社会のあり方を知る

望ましい社会を創造するために、
人びとの生活の基礎である経済や社会のあり方について学びましょう。
市民、NPO（非営利組織）、政府などの果たす役割や協力し合う仕組みを考えましょう。
社会のために働きたい人を歓迎します。

こんな科目が受講できます

●国際開発論

国際開発とは、貧しい人たちが豊かな生活を送ることができるように助けることです。しかし、「貧しい／豊かな生活」とはいったいどんなものでしょう？この講義では「貧しさ」をなくすための具体的な方法とともに、目指すべき「豊かさ」とはどんなものなのかを考えていきます。

●経済政策論

ある目的のために政策を実施すると、そのことで人びとの行動が予想外に変化し、思わぬ結果を招くかもしれません。例えば自動車がより安全になればドライバーはよりスピードを出すようになって交通事故が増えるかもしれません。このような人びとの行動の変化を織り込んだ経済政策の考え方について学びます。

●非営利組織論

「非営利組織って何？」「誰がどのように運営しているの？」「本当に役に立っている？」この講義では、実はよく知られていない非営利組織の成り立ちや運営また社会的影響力などについて考え、環境、福祉、まちづくり、国際協力などの公共政策との関係についても学びます。

●国際教育論

OECDによるPISA調査に見られるように、学力競争もグローバル化しています。国際教育論では、グローバルな視点で教育や学校の動向を理解するとともに、世界各地の教育について学びます。そして比較文化論的な観点から、持続可能で平和な社会づくりに向けた教育について考えます。

こんな人にお薦め

◎ネットワーク社会の仕組みに関心がある人
◎市民、NPO、企業、政府の関係に興味がある人
◎公共政策の役割を考えてみたい人
◎人びとのつながりと社会の機能について関心がある人

ゼミ訪問

山根ゼミ

ゼミ生が興味を持つ「人の考えや行動のパターン」「社会問題」の原因・結果を経済学的視点から洞察し、それを検証するための統計調査・分析のスキルを実践的に学びます。2017年は、生産工場が海外に移ったナビスコ・リッツの品質の変化、ジャンケンの手やテストの選択肢のパターンなどを調査しました。

リッツの重さと枚数を実際に計測するゼミ生

国際学部

多文化共生プログラム

多様な考え方を持つ人びととの共生について考える

世界は新たな発見に満ちた知のフィールドです。
国家・地域・民族・文化の垣根を乗り越え、多様な考え方を持つ人びとと
「共に生きる」を合言葉に、文化的対話の方法や可能性について
理論と実践の両面から学びましょう。

こんな科目が受講できます

●共生の哲学

現代世界では背景を異にする人びとと社会を築くことが避けられなくなっている一方で、異質な人びとを排除しようという動きも見られます。こうした状況を見据えながら、他者との共生という生そのものの基本的な条件を掘り下げ、私たちが他者と共に生きる可能性を探っていきましょう。

●ジェンダーとセクシュアリティ

「男らしさ」「女らしさ」とはなんでしょうか。講義では「男・女」「異性愛・同性愛」などの区分の"あたりまえ"を問い直します。社会と文化においてジェンダーがどのように形成され、どのような差別が組み込まれるのか一緒に考えていきましょう。

●アフリカ研究

皆さんのアフリカのイメージは「野生動物」「飢餓と貧困」でしょうか。こうしたイメージはアフリカを遠ざけていきます。そのイメージは私たちの固定観念から生み出されています。同じ時代と世界に生きるアフリカの人びとの生活を共に感じていきましょう。

●中国文化論

日本ではあまり知られていない文化の紹介（誤解の是正）に重きをおいています。焼き餃子は「王道」の餃子なのか、チャイナドレスは本当に中国の民族衣装なのかなどを取り上げ、最新の研究成果と共に中国文化理解への入り口となるような内容を毎年心がけています。

こんな人にお薦め

◎異文化体験に興味ある人

◎好奇心旺盛で、自分とは異なるものに魅かれる人

◎現代日本とは異なる世界観を学びたい人

◎人間とは何か根本から考えてみたい人

ゼミ訪問

井上ゼミ（メディア論）

テレビや新聞などマスメディアの問題点や影響、そしてSNSによる社会の変化まで、「激動するメディアの世界」を研究します。毎年、ゼミプロジェクトに取り組み、研究成果を大学祭で発表しています。また、大学を飛び出してテレビ局、新聞社、出版社で研修、そして学年をまたいだ活動を行うなど、「濃いゼミ」です。

国際学部

言語・コミュニケーションプログラム

コミュニケーションに関わる諸問題を学ぶとともに、外国語の実践能力を高める

人の社会的営みの基本中の基本は言語によるコミュニケーションです。
言語（外国語・日本語）や海外の文学・文化についての知見を深め、
それらに生じるさまざまなコミュニケーションの問題について考えてみましょう。
さらに、外国語の実践能力を高めていきましょう。

こんな科目が受講できます

●フランスの文学と文化

Le cours consiste en la lecture et l'explication de romans français du 18ème siècle. Cette étude de différents romans, un genre qui à l'époque était encore au berceau, permet de comprendre la diversité et le charme de la littérature française.

この授業では18世紀のフランス小説を講読し、その解説を行います。小説がジャンルとしていまだ揺籃期にある時代に創作された実験的な小説作品に触れることで、フランス文学の多様性と魅力を理解していきます。

●言語比較論

授课主要目的是让学生了解和思考日语的历史及与汉语的关系。从语言文化学的视角，通过日语和汉语的对比去探寻两国词汇中所蕴藏着的文化要素和特点，诠释语言背后的文化功能及文化与语言的相互关系。

日本語の生い立ち、日本語の面白さを知ってもらうことを主眼とします。さらに、言語文化学的な見地に立って、中国語と日本語との比較を通して両言語の語彙に見える文化的、象徴的意味を探り、言葉の背後にある文化の作用および文化と言葉の関係を考えます。

●English and American Literature

These courses deepen students' understanding of English and American Literature. In each lesson, students use English actively to share their ideas about assigned readings. In addition to studying poetry and short stories, we read two novels over the course of the year. All texts have a common theme, such as coming of age, that highlights literature's relevance to actual life.

●通訳技法論

この授業では、日本語から英語、英語から日本語に「通訳する（訳す）」という行為を通じ、日本語と英語の間にはどのような表現の違いや発想の違いがあるのかを考えます。また、クイックレスポンスやシャドーイングなどの通訳訓練法を活用しながら、英語力の向上も目指します。

こんな人にお薦め

◎外国語の学習や使用に関心のある人

◎海外の文学作品や文化に関心のある人

◎外国語や日本語によるコミュニケーションに関心のある人

◎英語教員や日本語教員などを目指す人

ゼミ訪問

カーソンゼミ

In this seminar, we discuss and research how culture affects human thinking, communication and behaviour. This gives the students a chance to learn more about their own culture and cultures around the world – what is similar, what is different, and why. The seminar is in English, so it is also a chance to use and improve English language skills.

国際学部

国際ビジネスプログラム

経営学や経済学上の諸問題を学際的に思考する

将来就職をする人にも、起業したい人にも、
ビジネスに関する知識は欠かせないものです。
気付かなくても国際社会の中にいる今日、国際的視点でのビジネスの理解は、
皆さんの将来をより明るいものにするでしょう。

こんな科目が受講できます

●国際金融論

経済の自由化、グローバル化が進み、巨額マネーが国境を越え、ネットワークを通じて取引されています。円とドル、ユーロなど通貨交換も活発です。こうした国際金融の仕組みや市場取引のリスク、またそのリスクの回避方法など、具体例を挙げながら一緒に考えていきます。

●多国籍企業論

私たちが身近に接している多くの企業は、外国にも生産・サービス拠点を置いて企業活動を行っています。各国の文化・政治・経済環境などの影響を踏まえながら、この多国籍企業が国際展開する理由、異なる商慣習・宗教への対応、複数国での社会貢献などについて考えてみましょう。

●マーケティング論

マーケティングは、売り込みを志向する販売とは異なり、顧客のニーズを探索し、ニーズに適合した製品を提供する仕組み、すなわち「売れる仕組み」を考える学問です。この「売れる仕組み」をつくるために必要とされるマーケティングの基本概念や戦略について一緒に考えましょう。

●国際経営論

異なる文化や政治、経済、地理的な環境からもたらされ得る不利益にも関わらず、国境を越え、ビジネスを展開する企業は増え続けています。本科目ではなぜ企業経営に国際化が図られているのかについて探究するとともに、身近な日本企業の海外進出のケースについて学びます。

こんな人にお薦め

◎企業や組織の経営に興味がある人

◎お金の流れに興味がある人

◎組織や人を見る目を養いたい人

◎調べるのが好きな人

ゼミ訪問

城多ゼミ

城多ゼミでは、企業やさまざまな組織において欠かせない財務管理について学びます。前期は主に基礎的な内容、後期は実務で行われている事例について、文献を中心に学びます。そして幅広いトピックについて、自分の関心を基にみんなで議論します。また勉強だけでなく、ゼミでパーティーなど、オンもオフも楽しく活動しています。(ゼミ生 Y. K.)

国際理解・少人数教育の重視

国際理解

海外学術交流協定大学との国際交流に加え、国際学部ではより多様な取り組みを通じて、国際理解を深めています。例えば、世界中から募った学生と一緒に平和について学び交流を行う「HIROSHIMA and PEACE」（詳細は下記）、ドミニカ共和国にある広島東洋カープの野球学校での企業インターンシップ（40ページに詳細）、研究室での海外へのスタディーツアーなど、さまざまな機会を提供しています。
また、国際学部では、1年次前期の必修科目である「国際研究入門」をはじめとして、カリキュラムの履修を通じて、多くの国々や地域の言語、文化、政治、経済、ビジネスを学ぶことにより、国際理解を深められるよう工夫しています。
さらに、国際学部の全教員に占める外国人教員、海外の大学院で学位を取得した日本人教員の割合がとても高く、国際学会、国際調査、国際プロジェクト等への参加経験が豊富な教授陣による指導と、そのネットワークを活用した海外研究者による学内での講演などを通じ、国際的な取り組みに触れることができます。

Intensive Summer Course

HIROSHIMA and PEACE

多様な国の学生と英語で「ヒロシマ」「平和」を学び、語り合う

幅広い専門分野からの体系的学び

世界中から学生が集い、「ヒロシマ」と「平和」を学び語り合う講座が国際学部にあります。それが2003年に始まった夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」（以下H&P）です。非核と平和について基礎から最新の研究成果まで、国際政治学、歴史学、文学、環境学、メディア研究、社会学といった幅広い専門分野から学びます。また、被爆証言を聞き、8月6日の平和記念式典に参列し、被爆地広島ならではの体験を海外からの参加者と共有し、学びを深めていきます。この講座はすべて英語で行われます。

少人数教育の重視

1学年100名の定員に対し、40名以上の教員を擁する国際学部では、少人数教育を重視しています。
大学では、高校までとは違い、「明白な正解」が必ずしもない中で、学修と研究を進めていくことが必要です。それを可能とするための基本的なトレーニングを行うのが、必修科目として開設されている「基礎演習」と「発展演習Ⅰ·Ⅱ」です。1クラス10名程度で、1年次、2年次の2年間にわたり、読解力、分析力、記述力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、調査能力を高めるための演習指導を受けることができます。
3年次では「専門演習Ⅰ·Ⅱ」(いわゆる「ゼミ」)、4年次では「卒論演習Ⅰ·Ⅱ」が必修となっており、研究室に所属して教員から指導を受け、各自の専門領域に関する学修と研究を行います。40名以上の教員の中から、自身の関心に応じて専門演習、卒論演習を履修することができ、両演習とも教員1名と数名の学生で構成されることがほとんどです。さらに、複数の専門演習を選択でき、興味や関心に応じて、少人数で深く学ぶことが可能です。

留学でも得がたい「H&Pの国際体験」

2003年から2017年までの受講生の国籍(日本を除く)は計51カ国·地域で、毎年10カ国以上の学生が参加しています。また、ウエルカム·パーティーに始まり、バーベキューや花火といった学生主催のイベントも企画され、参加者の交流は深まります。プログラム終了後も交流は続き、過去の受講生はロンドンで開かれた反核集会で「同窓会」を開きました。広島の地で学び、語り合い、平和の意識を共有することは、海外研修や留学でも得ることができない貴重な国際体験となることでしょう。

H&P本番に向けた英語討論能力の強化
Preliminary English Training (PET) Program

H&Pの国際学部受講生は、H&P本番前に約3カ月間の事前英語研修(PET)プログラムを受講します。このプログラムは、広島や原爆、平和問題について基本的語彙を学び、英語の討論能力、表現力、そして発信力を高めます。また、期間中に終日英語漬けの研修(English Only Day)を実施し、H&Pへの参加意欲と参加者の連帯意識を高め、本番に向けての確実なスキルアップにつなげます。

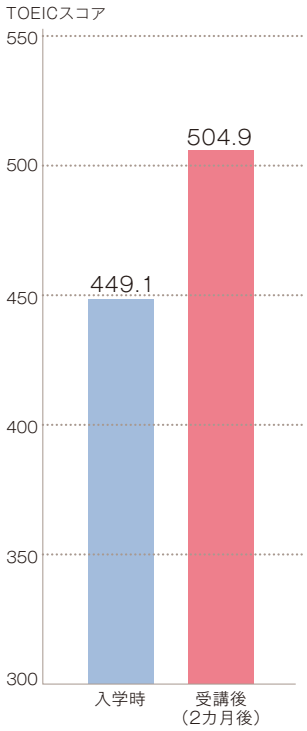
実践的な英語力を鍛える

語学センターや自宅のコンピュータを用い、英語のリスニング、リーディング、文法、語彙を集中的に訓練するｅラーニングによる授業です。週1回の一斉授業の形態を取らず、指定された期間中、各自の都合のよい時間に自分のペースで学習を行います。教材は4つのレベルに分かれており、各自の英語力に適した教材が配信されます。

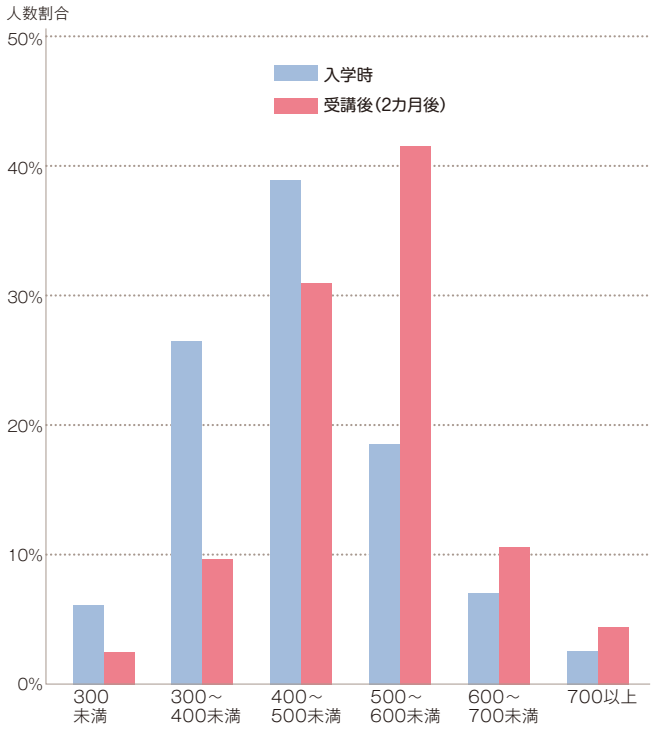
学習期間の開始前と終了後にTOEIC® Listening & Reading IPテストを受験し、英語力および学習効果を客観的に測定します。グローバル化する社会で活躍するために必要不可欠な英語基礎力を確実に高めていきます。

下のグラフは、2016年に「CALL英語集中」を受講した国際学部1年生のTOEIC IPスコア平均の推移とスコア帯別人数割合の分布を示したものです。入学時に比べ、受講後のスコアは55.8点アップし、504.9点になっています。スコア帯別人数割合の分布についても、受講後は分布がスコアの高い方に移動しており、英語力が底上げされていることが分かります。TOEICを運営する国際ビジネスコミュニケーション協会発行の『TOEIC® Program DATA & ANALYSIS 2016』によると、全国の大学1年生のTOEIC IPスコア平均は427点ですが、本学国際学部1年生のスコアは入学時点ですでに大学1年生の全国平均を上回っています。また、大学4年生の全国平均は502点ですが、国際学部1年生は前期終了の時点でそれを上回る学習成果を上げています。

TOEICスコア平均の推移



スコア帯別人数割合の分布



英語の受容技能を訓練する「CALL英語集中」と発表技能を鍛える「英語応用演習」

ｅラーニングを利用した「CALL英語集中」により、リーディングとリスニングを中心とした英語の受容技能を訓練するとともに、1クラス10名前後という、大学共通教育としては異例の少人数授業「英語応用演習」で、発表技能であるスピーキングとライティングの指導を受けます。「英語応用演習」は能力別クラス編成がなされ、各レベルに適したテキストを使用して指導が行われます。

国境と時代を横断して、ジェンダーとネイションについて考える

日本研究 ジェンダー研究
教授 ウルリケ・ヴェール

日本、または日本と接点をもつヨーロッパの近現代の人々は「国家」「民族」「人種」、そして「性差（ジェンダー）」「セクシュアリティ」をどのように語り、それらをどのように関連させてきたのか、という研究をしています。ナショナリズムと人種主義に関して歴史上最大の過ちを犯したドイツで生まれ育ったためか、人々を対立させ、搾取や虐殺を正当化する「民族」や「人種」といった考えが社会と文化の中でどのように生まれ、再生産されるのかという問いは、研究の大きな原動力になりました。また、差別や抑圧を助長する「性差」も、同じく社会的に作られただけではなく、ナショナリズムや人種主義と深く関わっています。右の写真には、1980年代のイギリスで女性運動や反核運動に参加した、ヒロ・サンプターという一人の日本人女性が写っています。当時の資料やヒロを知った人たちの話から彼女の経験を再構成して、以上のような運動でさえも「国家」や「人種」の言説に絡め取られる危険性があることがわかりました。

［写真はLesley McIntyre氏より筆者が提供を受けたもの］

国際資本移動とマクロ経済政策

国際金融論 国際マクロ経済学
准教授 高久 賢也

近年、国際的な資本移動の急速なグローバル化に伴い、新興国への急激な資本の流入および流出が、そうした国々の景気変動に大きな影響を及ぼしており、通貨危機や金融危機の原因ともなってきました。また、近年の世界金融危機以降は、先進国（特にアメリカ）の金融政策がそうした国々の資本の流入や流出に大きな影響を及ぼしています。そうした状況を考慮した上で、新興国における適切なマクロ経済政策のあり方を考えることは、それらの国々の成長や発展にとって極めて重要であることは明らかです。さらに近年では、中国のような新興国の景気の動向が世界経済全体に影響を及ぼすようになっています。従って、新興国が適切なマクロ経済政策を行うことは（日本を含めた）先進国にとっても重要であると言えます。そのような認識から、私は、マクロ経済学の分野において、近年主要な政策分析ツールの一つとなっている確率的動学一般均衡（DSGE）モデルを用いて、新興国における望ましいマクロ経済政策のあり方について理論的な研究を行っております。

［写真は香港の町並み（筆者撮影）］

ハワイ大学
短期語学留学

学術交流協定大学であるハワイ大学マノア校での研修は、ホームステイでハワイの生活にとけこみ、英語とハワイの歴史・文化を学びます。午前中は英語集中授業を受けます。ハワイ大学の学生が会話の練習相手もします。午後は歴史・文化に焦点を当てフィールドスタディーで真珠湾アリゾナ記念館や博物館を訪問し、ハワイの歴史と文化に触れます。

オルレアン大学
短期語学留学

協定校であるフランス・オルレアン大学で、フランス語・フランス文化の集中講義を4週間にわたって受講します。ホームステイをしながら一般のフランス人の日常に接し、異文化を体験します。オルレアン市内見学、ロワール古城やモンサンミッシェルへのフィールド・トリップもあり、フランスの歴史、文化、言語を総合的に学べるプログラムです。

モスクワ大学
短期語学留学

ヨーロッパ最大の都市へ渡り、世界各国から集まった学生と一緒に寮で生活しながら、ロシア最古の大学であるモスクワ大学においてロシア語・ロシア文化と歴史を学びます。午前中はロシア語の集中講義を受けて、午後は赤の広場や宇宙開発博物館など、世界一流の美術館や博物館を訪れ、さまざまな体験を通じて、異文化への理解を深めます。

広島東洋カープ
企業インターンシップ
（ドミニカ共和国）

国際学部の学生はカープアカデミーでの企業インターンシップ（半年ごとに1名：事前研修1カ月、現地研修5カ月）に参加できます。カープアカデミーは、広島東洋カープがドミニカ共和国に設置した野球学校です。ドミニカ研修では、スペイン語を活用しながらアカデミーの業務を補佐し、現地で自分の「知りたい」ことを積極的に探究していきます。

国際学部 国際学科 4年
森田 初実
鳥取県立米子東高等学校出身

自ら積極的にチャレンジすることで、心惹かれるテーマがきっと見つかる。

中学生の時、日本とは違う世界を見てみたいという好奇心から、地元の姉妹都市だったカリフォルニアにホームステイ。その時に英語が上手く話せず悔しい思いをしたことから英語を学びたいという気持ちが強くなりました。大学では語学や文学といった単体ではなく世界を広く横断的に学びたかったことから国際系の学部を探し、広島市立大学へ入学しました。現在は国際系のゼミで、グローバル化するビジネスにおける企業戦略や多国籍企業などについて研究しています。国際政治・平和、多文化共生など5つのプログラムがあり、最初から1つのプログラムに特化しなくても、まんべんなく視野を広げ興味がある分野を見つけることができます。海外プログラムも多く、まずは短期のものからチャレンジしてみるだけでも世界が広がると思います。私は広島市観光親善大使のほか海外インターンシップなどさまざまな活動に積極的に参加して、経験値を上げながら進路を模索してきました。チャレンジできる環境を最大限に生かして新たな自分を発見してください。

国際学部 国際学科 4年
畑中 直人
広島県立三次高等学校出身

違いを受け入れ楽しむことで、自分の世界を広げ社交性も高められる。

ルワンダの首都キガリに2カ月滞在し、NPOの緊急支援プロジェクトの一環で農村集落に計3回ほど訪問し現地を視察しました。アフリカの紛争地域だった所でNPOとかNGOの活動に携わりたいと考えていたのですが、実際に現地で働いてみないと見えないものがあると思ったんです。でも現実はそんなに甘くなく、結局2カ月間、現状を知るだけで何もできなかったのですが、現場で働く醍醐味は感じることができました。コミュニケーションも習慣も日本との違い全てが新鮮で、カルチャーショックを受けることもありますが、それもまた面白いんですよね。フランスでの語学留学も楽しかったです。10カ月間でしたが、日常会話程度は話せるようになり、大学の授業を聞いてレポートを書けるところまで習得できました。元々人と交流するのは得意ではありませんでしたが、海外経験を積むことで改善でき、以前より積極的に自分の意見を述べられるようになったと思います。将来は海外で働くことを視野に入れ、来年の9月からフランスの大学院に入り勉強するつもりです。

国際学部 国際学科 2年
福岡 陽菜
香川県立高松桜井高等学校出身

世の中には自分の知らない世界がまだまだ無限に広がっている。

広島市立大学塾というプログラムに参加し、その一環として沖縄研修があったのですが、これまでの平和学習で学んだことが覆される衝撃的な体験でした。たとえば、戦時中に追い詰められた現地の人たちがどんな気持ちだったか、実際にその場所にうずくまり当時の人々の気持ちを想像すると、それだけで胸が締め付けられるんです。ほかにも平和について深く考えさせられるプログラムが組まれ、3泊4日、遊ぶ間もないハードスケジュールでしたがとても有意義でした。私は高校生の時、英会話は得意な方だと思っていたのですが、大学では自分よりできる人がたくさんいることを知り、もっと成長しなければと努力して自分の限界を突破できたと思います。高校生の時は自分の世界がいかに狭かったかを自覚したことで、それまで描いていた将来の夢も一度リセットし、視野を広げて多くの選択肢からあらためて自分が進む道を選びたいと考えるようになりました。志望大学合格はゴールではありません。そこで燃え尽きるのではなく、あっという間の4年間をどう過ごすかが大事。そこに早く気付いた者勝ちだと思います。

国際学部 国際学科 3年
チャン・ティ・ディエム
GIAO THUY B 高等学校出身

大学時代しかできないチャレンジで世界を広げ、社会に貢献できる人に。

ベトナムから来日して6年目。最初は看護師国家試験合格が目的でしたが、通っていた日本語学校で毎年8月に被爆者の話を聞くうちに、だんだん平和について興味を持つようになって、本格的に勉強するために広島市立大学へ入学しました。今は国際政治を中心に勉強しています。ボランティア活動を通じてさまざまな国の人に出会ったことで外国語も学びたいと思うようになりました。元々語学が好きだったこともあって、中国語、フランス語なども勉強しています。卒業後の進路はまだ決めていませんが、しばらくは日本に滞在するつもりです。どこの国で働くとしても社会や人の役に立てる人間になれるよう、学生のうちに多くのことにチャレンジし、知識や経験を積みたいと思います。そのためには、まずは行動を起こすことが大事。そうすれば何かしら発見があり、また次の行動につながるはずです。大学には自分の世界を広げるチャンスがたくさんあります。支えてくれる先生や友人にも出会えるので、安心して入学してください。

情報科学部

Information Sciences

情 報 科 学 部
Information Sciences

情報科学で未来を創造しよう！

情報科学部長 角田 良明

広島市立大学は広島市の西風新都に誕生し、24年が経過しています。
情報科学部は情報科学の幅広い分野の多数の教授陣を揃え、中国･四国地域を代表する情報科学の学び舎として知られています。
世界で生活するヒトだけでなく、自動車などのモノもネットワークで即座に結ばれる時代になり、情報の重要性は益々大きくなっています。
情報科学の知識や技能は幅広い分野に活用できます。
グローバルな視点で情報を捉え、世界や地域で発生している課題の本質を理解し、それを情報科学で解決する意欲を持ちましょう。
情報科学部では、情報科学の基礎的な科目からグローバル社会で活躍するための実用的な科目まで学べる学習環境を提供しています。
これらの科目を自主的かつ対話的に修得することにより、知識や技能に基づいた思考力や判断力、主体性や協働性などの将来、実社会で役に立つ能力や資質も身に付けることができます。
西風新都の風光明媚な自然環境の中で、時代の最先端を走る情報科学を学び、未来を創造するリーダーを目指しましょう。

高度情報化社会を支える「情報通信技術」の分野をリードする能力を養う

求める人物像

「情報科学の分野で
自分の適性を見つけ
十分な学力や技術力を身に付けて
科学技術の進歩に貢献することを
目指す気概がある人」の入学を
期待しています。

◎関心・意欲

情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つとともに、学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人。

◎知識・技能

情報工学・情報科学を学ぶうえで土台となる高等学校等で修得すべき数学、理科および語学の知識・技能を有している人。

◎思考力・判断力・表現力

・物事を多面的にとらえ、総合的かつ論理的に思考して合理的に判断することができる人。
・自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人。

◎主体性・協働性

・国際社会や地域社会で起こっている情報工学・情報科学に関連する課題を意識し、その課題の本質を理解し、自ら率先して解決しようとする熱意を持っている人。
・共通の目的を達成するために、他人の価値観を尊重し、他人と協調して活動する主体的なコミュニケーション力を身に付けている人。

教育方針

高度情報化社会を支える
「情報通信技術」（ICT）に関する
研究開発を担う研究者および
専門技術者を養成するため
右の教育方針を定めています。

◎学生が興味関心、適性に基づいて専門分野を選択できる仕組みの提供

入学後、情報科学の基礎知識を修得した後に、学生一人ひとりの興味関心、適性に基づいて専門分野を適切に選択できる仕組みを提供します。

◎情報科学に必要な基礎学力の育成

情報科学を専門的に学ぶ上で基礎となる数学、プログラミング、英語などの学力を十分身に付けます。

◎情報通信技術を活用できる技能の養成

先端的な情報通信技術（ICT）を知的生産の道具として活用できる能力を身に付けます。

◎専門分野に関する体系的な知識の修得

教育内容を厳選、体系化した上で、効果的な専門教育を行います。これにより、専門分野に関する体系的な知識を修得します。

◎体験的・総合的学習を重視した教育プログラムの実施

21世紀の知識基盤社会で問題解決ができる人材を育成するため、実験、実習、演習、口頭発表など体験的・総合的学習を重視した教育プログラムを実施します。

◎知識や学力の多様化した学生への効果的な教育の実施

知識や学力の多様化した学生への効果的な教育を実施します。少人数教育を推進するとともに、習熟度別クラス編成、グループ学習などを導入します。

情報科学部
Information Sciences

知能ソフトウェアコース
知能メディアコース
知能工学科
知能サイエンスコース
医用情報科学科

情報工学科

コンピュータコース
P050

ネットワークコース
P051

コミュニケーション基盤コース
P052

さまざまな情報通信システムの基本となるハードウェア（回路など）とソフトウェア（プログラムなど）の仕組みや作り方を勉強します。

情報工学科では、コンピュータとネットワークに関するハードウェア技術およびソフトウェア技術を広範囲に勉強します。これらの技術をベースに、コンピュータとネットワークの融合技術や新しいコミュニケーション技術を開発したり、効率的に使用したりできる人になれます。

●年次チャート

1 2 3 4

●全学共通系科目　●外国語系科目　●資格取得科目

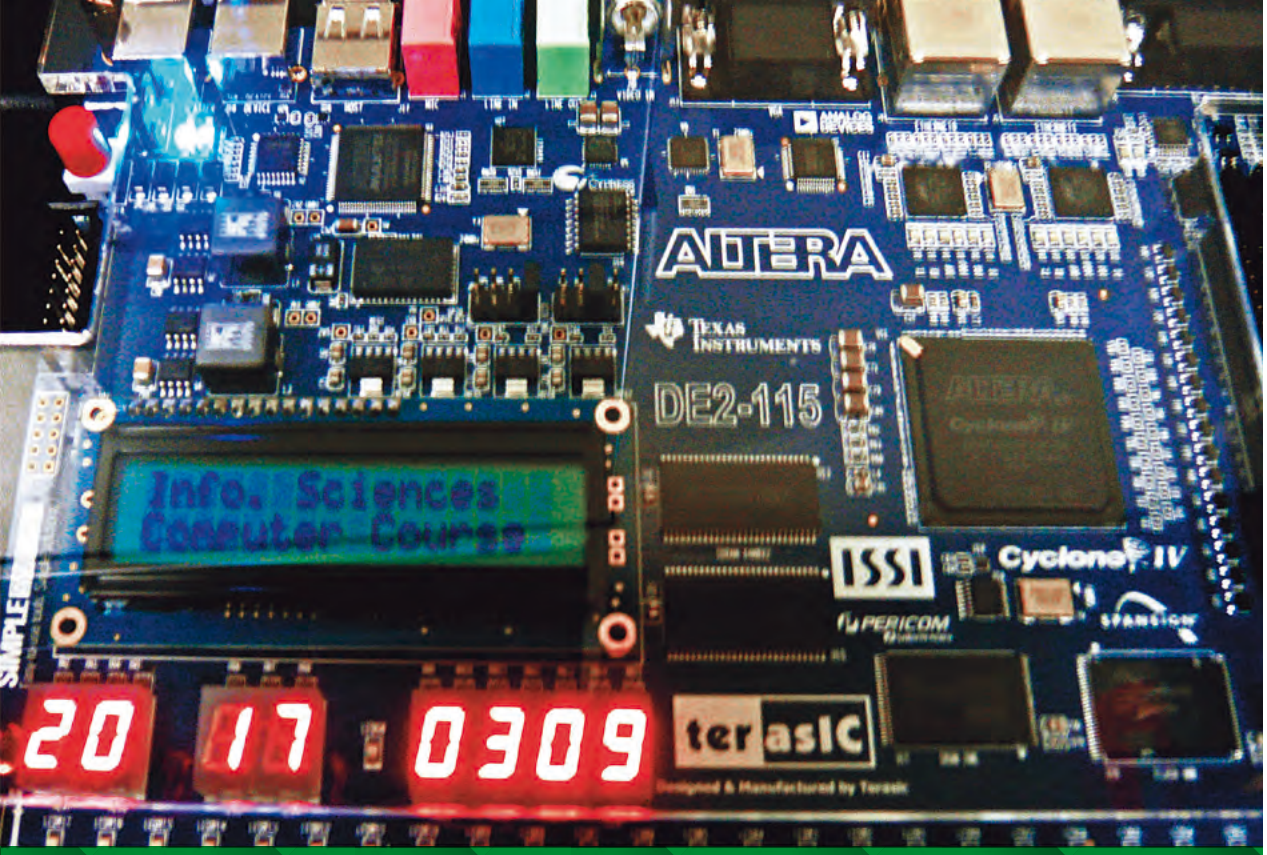
●学部共通科目
- 解析学Ⅰ・Ⅱ
- 解析学Ⅰ演習
- 線形代数学Ⅰ・Ⅱ
- 線形代数学Ⅰ演習
- 離散数学
- 確率統計
- 情報基礎数学
- 幾何学概論
- プログラミングⅠ・Ⅱ
- プログラミングⅠ・Ⅱ演習
- コンピュータ基礎
- データ構造とアルゴリズムⅠ・Ⅱ
- 情報科学序説
- オートマトンと形式言語
- 論理回路
- 電気回路
- 物理学
- 情報科学基礎実験α・β

《コンピュータコース》
コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、システムLSIなどを学びます。

《ネットワークコース》
インターネット、モバイル通信、ユビキタス情報ネットワークなどを学びます。

《コミュニケーション基盤コース》
コンピュータネットワークや社会ネットワークといったモノとモノとの関係が描けるものがすべてつながるネットワークを学びます。

※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。
※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。



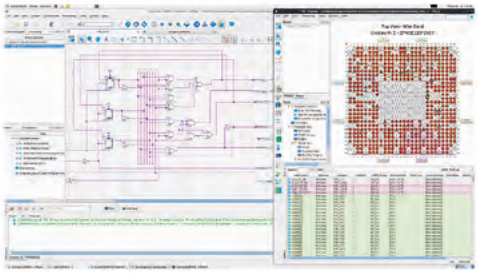
情報科学部　情報工学科

コンピュータコース

「ナカミ」を学ぶ

ハードウェアとソフトウェアの基礎を学び、めまぐるしく変化する情報化社会の中で即戦力として活躍するための勉強をします。

コンピュータはハードウェアと呼ばれるものとソフトウェアと呼ばれるものから作られています。ハードウェアとはコンピュータを構成する回路などを指します。このハードウェアが高速に動作することで人が計算すると何年もかかってしまう計算を一瞬で計算することができます。一方、ソフトウェアはハードウェアに対して指示を与える指令書です。このソフトウェアが賢くなることで、高い計算能力を持つハードウェアを効率的に使うことができます。これらのハードウェアとソフトウェアの両方がそろって、現在のような高度な情報化社会が実現できています。コンピュータコースではコンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについて深く勉強します。

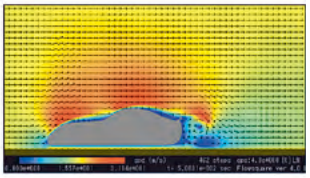


パスワード照合回路をツールを用いて設計している様子

研究紹介

エンジン動作を速く精確にシミュレート

自動車やそのエンジンの開発では、今日では主にコンピュータ・シミュレーションが行われます。昔は実際に自動車を試作しテストすることで、改良を繰り返していたのですが、その場合よりずっと費用を抑えて短期間でできるからです。しかしながら、そのためのシミュレーションは、たとえコンピュータであっても、上手にやらないと時間がかかったり多くの誤差が生じたりします。例えば、1秒間のエンジンの動作を一般的なパソコンでシミュレーションすると、2000秒以上かかることがあります。私たちの研究では、その1秒間の様子を10秒以下でシミュレーションするためのハードウェアとソフトウェアの研究をしています。



自動車の周りの空気の動きをシミュレーションしている様子

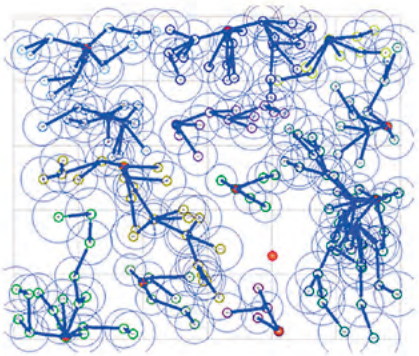
カリキュラムの詳細は
広島市立大学 → 情報工学科 → カリキュラム

ネットワークコース

「つなぐ」を学ぶ

コンピュータ同士をつなぐ技術について学び、ユビキタスネットワークなど、最新のネットワークに対応するための勉強をします。

現在のコンピュータは単独で使われることはほとんどなく、ネットワークを通じてお互いつながっています。例えば、自動車の中には数百個以上のコンピュータが搭載されていますが、それらはネットワークを通じて接続されていて、お互い必要な情報を交換することで自動車の運転を快適にしています。このコンピュータをつなぐ技術は元々は線と線を直接つなぐ有線方式が主流でしたが、現在では電波を使ってつなぐ無線方式も当たり前になっています。ネットワークコースではこのコンピュータとコンピュータをつなぐ技術について深く勉強します。



スマートフォンや車など移動するコンピュータ間のネットワーク接続が変化する様子を可視化

研究紹介

ネットワークにつながる自動車の安全を確保

自動車に関する研究としては自動運転が有名ですが、自動運転は、エンジンや前方の様子などの情報を取得するセンサーが車内のネットワークを通じて集められることで実現されています。このように、いろいろなモノがネットワークにつながることで便利になる反面、遠隔からネットワークを経由して自動運転の車が乗っ取られるようなリスクも増えてきます。そこでネットワーク通信の暗号化や信頼できる情報のみ取得する認証の仕組みを確立することで、安全・安心な社会の実現に向けて研究や実験を行っています。

車内ネットワークと外部との通信車内ネットワークの実験環境

情報科学部　情報工学科

コミュニケーション基盤コース

「伝える」を学ぶ

価値の高い情報を効率的に伝える技術について学び、さまざまなモノがつながる情報化社会に対応するための勉強をします。

インターネットの登場によって「コミュニケーションの高度化」が始まりました。例えば、それまでは人と人が文章でやり取りするには手紙を送る必要がありましたが、インターネットによってメールという形で一瞬で文章を送れるようになりました。現在でも、このコミュニケーションの高度化は進んでおり、現在のインターネットにはコンピュータだけでなく、センサーや冷蔵庫など、ありとあらゆるモノがインターネットでつながれた社会になっています。このような社会では「何を」伝えるのかが大事になります。コミュニケーション基盤コースでは、ネットワークを通じて伝える技術について深く勉強します。

ネットワークを介して、遠隔会議をしている様子

研究紹介

**移動中でも動画を
スムーズに再生**

人のつながりのみならず、身の回りのすべてのものがつながるのが前提のインターネット。インターネットでは情報を小さな単位（パケット）に分割して送るのですが、家、移動中、学校や職場など使うネットワークが変わるとそのたびにパケットが少しずつ消失し、通信が切れてしまいます。つまり、移動中に動画を再生していると、動画の再生が止まったりしてしまいます。そこで、使うネットワークが変化しても一瞬たりともつながりが切れず、快適・安全に通信する方法を研究しています。

どこでもつながるネットワーク

情報科学部

知能工学科

知能ソフトウェアコース
P054

知能メディアコース
P055

知能サイエンスコース
P056

人と人、人と機械のコミュニケーションを円滑にしたり、創造的活動の手助けをしたりするための、人工知能などの知的なシステムの仕組みについて学びます。

知能工学科では、人が目で見たものや話し言葉を理解するのと同じようにコンピュータに五感を備えるための音声・画像認識技術や、囲碁や将棋の棋士のように高度な思考ができる人工知能技術、膨大なデータから法則性を見つけ出すビッグデータ解析技術などの基礎を学ぶことができます。

●年次チャート

1 2 3 4

●全学共通系科目　●外国語系科目　●資格取得科目

●学部共通科目
- 解析学Ⅰ・Ⅱ
- 解析学Ⅰ演習
- 線形代数学Ⅰ・Ⅱ
- 線形代数学Ⅰ演習
- 離散数学
- 確率統計
- 情報基礎数学
- 幾何学概論
- プログラミングⅠ・Ⅱ
- プログラミングⅠ・Ⅱ演習
- コンピュータ基礎
- データ構造とアルゴリズムⅠ・Ⅱ
- 情報科学序説
- オートマトンと形式言語
- 論理回路
- 電気回路
- 物理学
- 情報科学基礎実験α・β

《知能ソフトウェアコース》
人工知能、データマイニング、感性情報処理などを学びます。

《知能メディアコース》
画像処理、コンピュータグラフィックス、自然言語処理などを学びます。

《知能サイエンスコース》
最適化理論、機械学習、情報検索技術などを学びます。

※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。
※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

情報科学部　知能工学科

知能ソフトウェアコース

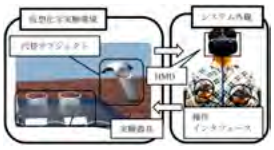
知能をつくる

知能ソフトウェアコースでは、コンピュータを鍛えて
どんどん賢くするための機械学習や、私たちの勉強やトレーニングを
楽しく効果的なものにするための学習工学などについて学ぶことができます。

人間の知的能力をコンピュータで実現するため、人間の脳に対応する知識・思考・学習などに着目した知能情報システム技術の教育研究を行っています。例えば、インターネットで買い物をすると他のお薦め商品を紹介してくれるようなシステムでは、上手に推薦するために、過去の膨大な販売履歴から法則性を見つけ出すビッグデータ解析技術が用いられています。このように社会の中の非常に多くのデータから重要な知識や規則を抽出する、問題解決のためのさまざまな解決方法の中から効率的に適切な解を見つけ出す、コンピュータ自身が自分で問題解決のための知識を獲得する、人間の持っている感覚や経験をコンピュータで実現して社会に役立つ有用な規則を発見することなどを対象としています。そのため、これらの知識情報処理に必要な人工知能、データマイニング、機械学習、知的情報検索エンジン、エージェント、発見的探索などを学びます。

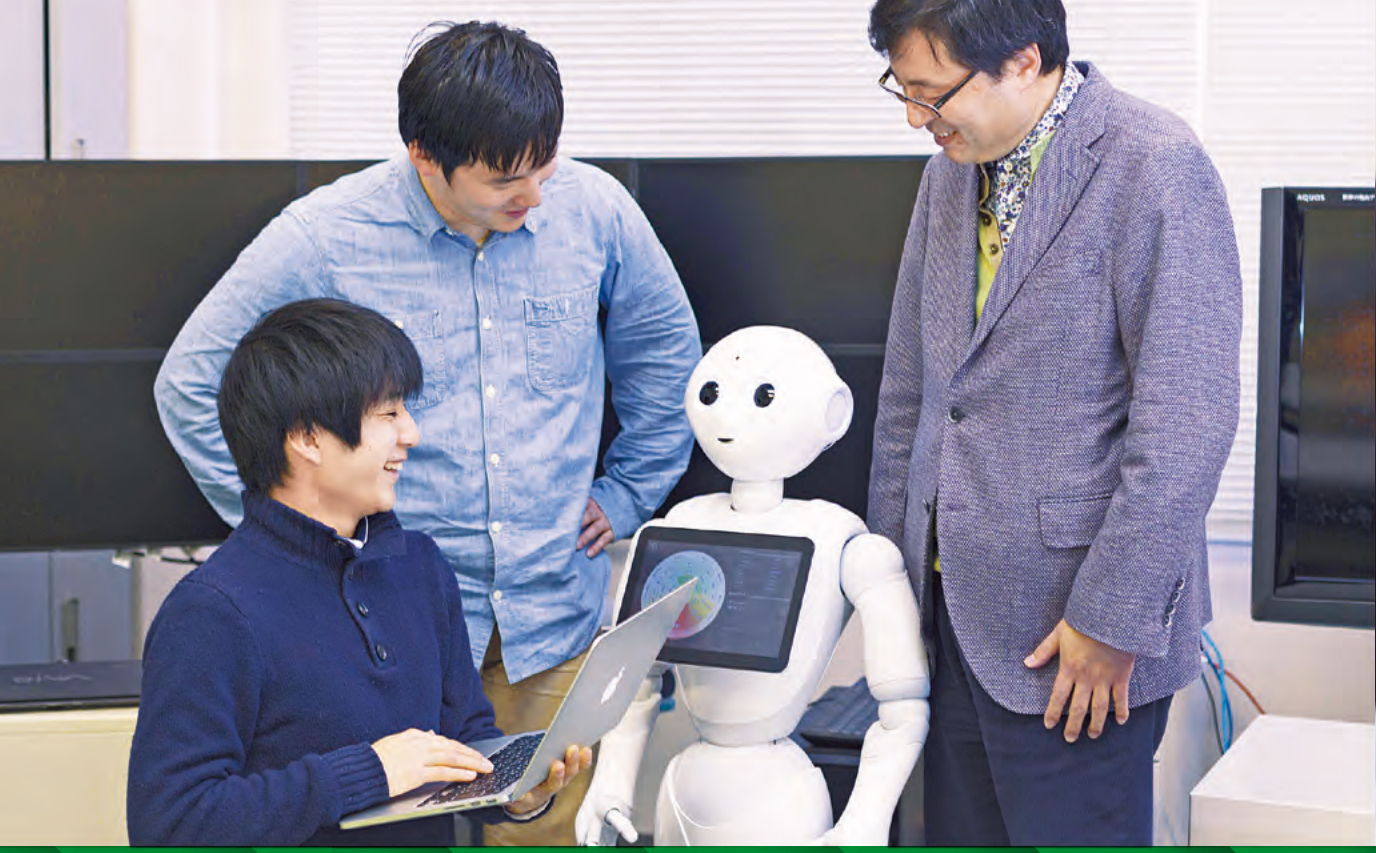
研究紹介

VR／AR技術を用いた
先進的な学習支援システム



VRやARの技術を活用して仮想空間の中で能動的に学習活動が行えるシステム開発を研究しています。学習者がいつでもどこでも楽しく安全に化学の実験をしたり、その他の科目のスキル学習を自発的、能動的に行えたりできることを目指しています。

カリキュラムの詳細は
広島市立大学 → 知能工学科 → カリキュラム



情報科学部　知能工学科

知能メディアコース

コンピュータに「五感」を

**知能メディアコースでは、画像や話し言葉・書き言葉の認識・理解技術のほか、
リアルで魅力的な映像を自由に作り出す
コンピュータグラフィックス技術について学ぶことができます。**

前の車にぶつかりそうになったら自動的にブレーキをかけてくれる自動車が増え、いよいよ自動運転車の実現も近づいています。これには私たちの代わりに歩行者や周りの車をしっかり見てくれる「機械の目」が必要です。
人間の知的能力の中でも人間の目や耳などに対応する人間の感覚や知覚、人間とコンピュータ間のコミュニケーションなどに着目した知能情報システム技術の教育研究を行っています。具体的には、画像、映像、幾何データ、音声、文書などのメディア情報処理を中心とします。例えば、画像や映像から物体を抽出・計測する、実際の映像と違和感のない人工的な映像を作り出す、人間とコンピュータが自然な言語で会話することなどを対象としています。そのため、これらのメディア情報処理技術に必要な画像情報処理、コンピュータグラフィックス、自然言語処理などを学びます。

研究紹介

**CGで世界を豊かにする技術、
AR（拡張現実感）**

原爆ドームにスマートフォンのカメラを向けると、画面の中に被爆前の建物がＣＧ（コンピュータグラフィックス）により浮かび上がるアプリを開発しています。このように、ＣＧを用いて現実世界を豊かにする技術をＡＲ(拡張現実感)といいます。昔の建物が本当にその場によみがえったように見せるには、高精細な映像を作り出すＣＧ技術が必要になります。さらに、カメラの向きが変化しても現在の原爆ドームとＣＧがずれないようにするために、カメラに写った画像を高速に処理し、画像の中のドームの位置を求める画像認識技術が用いられます。

知能サイエンスコース

コンピュータの賢さを支える

知能サイエンスコースでは、ぴったり同じでなくとも似たものを見つけ出すパターン認識技術、動物の群れから発想された計算法、さらにその基礎となる統計学や微分方程式などの数学を学ぶことができます。

コンピュータは正確に計算するのは得意ですが、あいまいな判断や動物のように動的に変化する行動は不得意だと思っていませんか？このような人間の知的能力を理解し実現するために必要となる数理モデル、解析モデル、アルゴリズムなどに着目した知能情報処理に関する基礎技術の教育研究を行っています。例えば、アリは個々は単純でも集団になると高度な仕事ができます。このような動物の群れから発想された計算法や生物進化のモデルを理解し知能情報システムの機能や性能を最適化するために応用すること、データを解析し有用な知識を抽出するためのアルゴリズムを考案すること、解読しにくい暗号化や効率の高い符号化のための数学的な基礎を学び安全で効率的な通信に応用すること、渡り鳥の影響と病原体の進化を考慮した感染症のシミュレーションモデルを構築して感染予防のために利用することなどを対象としています。そのため、これらの知能情報処理に必要な数理モデル化、最適化アルゴリズム、統計的情報処理、確率的情報処理、シミュレーションなどを学びます。

研究紹介

自分の好みが発見できる「対話型進化計算」

人には好みがあり、好きな絵、音楽、配色などは人それぞれです。コンピュータと対話しながら自分の好みに合うものを探すのが「対話型進化計算」です。例えば、スーツ・シャツ・ズボンの好みのカラーコーディネートを決定できます。まずコンピュータが複数の候補を表示します。人はそれらを評価し好みをコンピュータに伝えます。コンピュータは生物進化のメカニズムにより評価が良いものを組み合わせて新しいコーディネートを生成し表示します。人とコンピュータが協力し、評価と進化を繰り返すことにより好みのものを発見できます。

情報科学部

システム工学科

人間･ロボット共生コース
P058

インタフェースデザインコース
P059

人間・コンピュータ・情報システムの調和を図りユビキタス社会を実現

システム工学科では、人間が安全･安心･快適･便利に生活するための社会システムの実現を目指し、今後ますます重要となるロボットを開発するためのシステム化技術ならびに、人間がロボットや情報機器をより快適に使うためのインタフェースデザインに関する技術を広範囲に教育･研究します。

●年次チャート

1 2 3 4

●全学共通系科目　●外国語系科目　●資格取得科目

●学部共通科目
- 解析学Ⅰ･Ⅱ
- 解析学Ⅰ演習
- 線形代数学Ⅰ･Ⅱ
- 線形代数学Ⅰ演習
- 離散数学
- 確率統計
- 情報基礎数学
- 幾何学概論
- プログラミングⅠ･Ⅱ
- プログラミングⅠ･Ⅱ演習
- コンピュータ基礎
- データ構造とアルゴリズムⅠ･Ⅱ
- 情報科学序説
- オートマトンと形式言語
- 論理回路
- 電気回路
- 物理学
- 情報科学基礎実験α･β

《人間･ロボット共生コース》
最適制御、メカトロニクス、ロボティクスなどを学びます。

《インタフェースデザインコース》
デジタル通信、組込みソフトウェア、システムインタフェースなどを学びます。

※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。
※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

人間・ロボット共生コース

人間・コンピュータ・情報システムの調和を図り
人間・ロボット共生社会を実現

人間が安全・安心・快適・便利に生活するための社会システムの実現を目指し、
今後ますます重要となるロボットを開発するためのシステム化技術ならびに
人間とロボットが共生する社会を実現するための
さまざまな要素技術を広く教育・研究します。

深刻な少子高齢化社会を迎える我が国では、労働者人口の激減や高齢者支援に対応するため、人間社会のあらゆる場面でロボットが活躍する時代がもうすぐ到来します。本コースではこのような「人間・ロボット共生社会」の到来を念頭に、家庭・介護福祉施設・病院・オフィス・工場等で活躍するさまざまなロボットを開発するためのシステム化技術と、それらの基礎学問であるメカトロニクス・制御工学・ロボティクス・プログラミング・数理科学等に関する教育・研究を行います。ロボットを教材にソフトとハードの両方を修得することができ、自動車・家電・機械・IT・ネットワーク機器等のメーカーをはじめ、さまざまな情報技術業界で即戦力として活躍可能なエンジニアを育てます。

研究紹介

実世界クリッカー

体の不自由な被介護者が周りの実物体操作に関する意思を簡単かつ正確に介護支援ロボットに伝達するための介護支援システムです。実世界にある物体を、パソコン内のアイコンと同様に、クリックやドラッグ＆ドロップすることでロボットに簡単かつ正確に指示を出すことができます。

カリキュラムの詳細は
広島市立大学 → システム工学科 → カリキュラム

情報科学部　システム工学科

インタフェースデザインコース

人間・コンピュータ・情報システムの調和を図り
人に優しいインタフェースをデザインする

**技術的に高度化し続ける現代社会において人が快適に機械と共存するための
さまざまな形態の専門分野で、インタフェースデザインの方法論を確立し、
具現化するためのさまざまな技術を広く教育・研究します。**

世の中に無数に溢れる機械や情報機器は誰でも使えるほど優しい設計にはなっていません。本コースでは、人間・機械・コンピュータを有機的に結び付けることで、「いつでも、どこでも、だれでも」直感的に使うことができるような優しいインタフェースの実現を目指し、それに必要なデザイン技術を学びます。特に、障がい者・弱者・高齢者支援、環境（自動車など）への応用を狙い、ヒューマンインタフェース・人間工学・音響工学・リアルタイムシステム・セキュリティ等の基礎技術を修得します。それらを基に、リアルな音質に迫る人工的音響空間のデザイン、直感的で効率的なコンピュータ操作インタフェースデザイン、情報機械を効率的に動かすためのプログラムデザイン等の研究を進める中で、技術とデザインの両者を理解する骨太な人材を育成します。

眼球運動測定装置

研究紹介

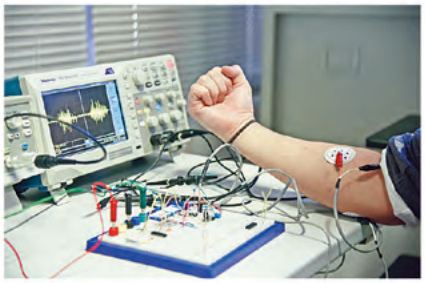
電力線通信（PLC）

スマートグリッドは情報通信技術(ICT)を活用した次世代の送電線網であり、電力線通信(PLC)はそれを支える通信方式の1つです。電力線通信では既存の電力線を通信路として使用するため、導入コストが極めて低いという利点があります。ところが、電化製品の稼働状況により通信路特性が変動するため、高効率な通信は困難です。本研究では家電モニタリング機能を利用することで、安定かつ高効率な電力線通信の実現を目指しています。

医用情報科学科

情報科学・自然科学・工学に関する十分な教育とそれを超えた学際色豊かな専門教育

医用情報科学科では、豊かで安心・安全な社会の実現を目指し、情報科学・自然科学・工学に関する学問を基礎とし、その上でバイオインフォマティクス、医用画像処理、医用ロボット工学、生体情報工学、医用情報ネットワークといった融合領域の専門知識・技術を学びます。これにより医療、生命、環境など、現代社会に係る諸問題に対し、既存の学問体系の枠を超えて俯瞰的に取り組むことができる人材を育成します。



医用情報科学実験の様子（筋電計の製作）

●年次チャート

1 2 3 4

●全学共通系科目　●外国語系科目　●資格取得科目

●学部共通科目

解析学Ⅰ・Ⅱ
解析学Ⅰ演習
線形代数学Ⅰ・Ⅱ
線形代数学Ⅰ演習
離散数学
確率統計
情報基礎数学
幾何学概論
プログラミングⅠ・Ⅱ
プログラミングⅠ・Ⅱ演習
コンピュータ基礎
データ構造とアルゴリズムⅠ・Ⅱ
情報科学序説
オートマトンと形式言語
論理回路
電気回路
物理学
情報科学基礎実験α・β

医療の現場での応用を視野に入れ、その基礎となる
情報科学、工学、自然科学（物理学、化学、生物学）に関する知識と技術を学びます。

●授業ピックアップ

医用プログラミング
（2年次後期）
医療・福祉と情報科学の融合領域に関する生体信号処理と医用画像処理を実現する基礎となるプログラミング技術について学びます。数式で表されている理論に基づいて、信号や画像を適切に処理するプログラムを作成できる能力を修得します。

医用情報科学実験Ⅰ・Ⅱ
（3年次前・後期）
医療機器やデジタルヘルスの分野で用いられているソフトウェア技術とハードウェア技術を実践的に学びます。筋電計・光電式脈波計で用いられる電気・電子回路、ディジタル信号処理プログラミング、遠隔医療システムで用いられる情報通信技術などを修得します。

※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。
※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

情報科学部　医用情報科学科

医療の未来を情報科学で切り開く

「バイオ情報学」「医用画像工学」「医用ロボット」「脳情報科学」「医用情報通信」の5つの研究室で、医用情報科学、生体情報科学に関する最先端の研究を行っています。

医用情報科学科
ホームページ

研究室紹介

バイオ情報学

計算と実験の両方のアプローチで、情報科学と生物学の学際・融合領域の教育・研究を行っています。タンパク質、酵素などの分子レベル、微生物などの細胞レベル、植物やヒトなどの個体レベルの広い範囲の生物を対象に、生物の持つさまざまな能力を利用し、生命現象の解明と人間生活への利用を目的とした研究開発を目指しています。

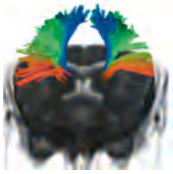
医用ロボット

機械・電気電子・情報の融合を図り、かつその出口として医療を見据えることで、これまでにない新たな医療・福祉システムの実現を目指しています。具体的には、マイクロ・メカトロニクス技術を用いた超小型医療デバイス、無痛薬剤投与デバイス、高齢者見守り支援システム、ウエアラブルデバイス等の創成に挑戦しています。

医用情報通信

情報通信技術と医療・医学の融合による新たな医療・医学ヘルスケア技術による社会の創生を目指します。具体的にはBody Area Networkを用いた医療・ヘルスケアネットワークシステム、生体センサシステムによる医療・ヘルスケアシステム、多機能ウエアラブルバイタルセンサとウエアラブルマルチ伝送システム等の実現を目指します。

医用画像工学

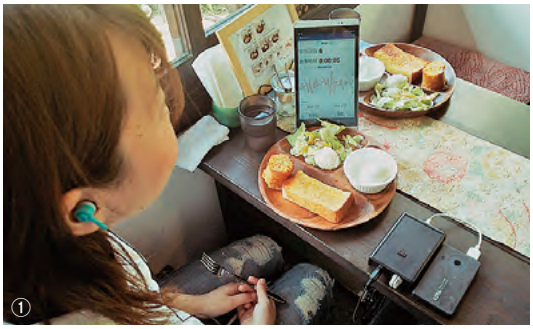


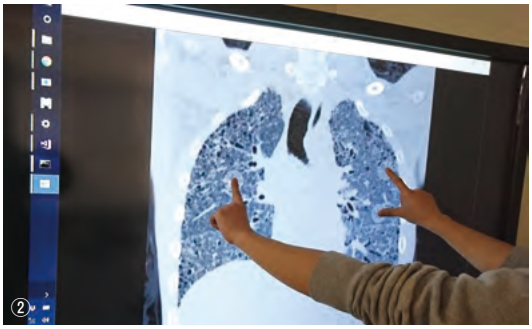
X線CT、MRIなどの医用画像により、生体の形や動き、その個体差、疾患による変化を捉え、医療や医学をサポートする技術の研究を行っています。解剖学的知識などの計算機内での数理表現に基づく医師と同等以上の観察眼や知能、学習能力を持つ機械の実現、および基礎医学に役立つ技術・知見の創出を目指しています。

脳情報科学

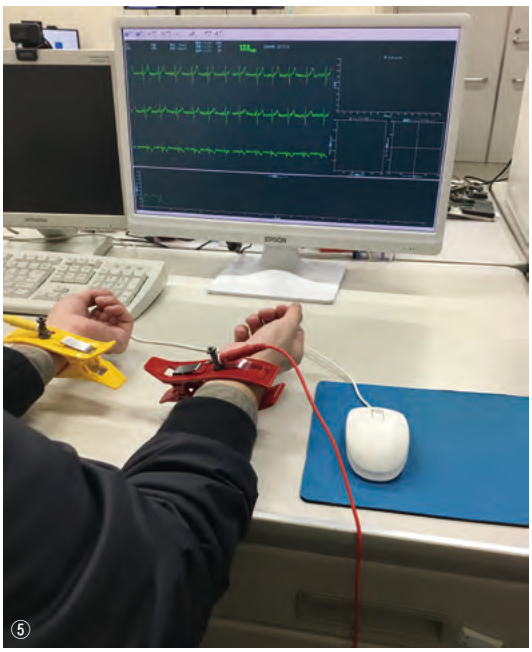
先進的な脳機能計測解析技術を開発し、それを医療・福祉・アミューズメント・脳科学等の分野に応用展開することを目指します。脳活動に随伴する光や電磁気などの物理現象を斬新な手法で捉え脳信号を高精細で可視化する技術や脳神経系と外部機器とのインタフェースにより身体機能の拡張やアシストを実現する技術を開発します。

カリキュラムの詳細は
広島市立大学 → 医用情報科学科 → カリキュラム

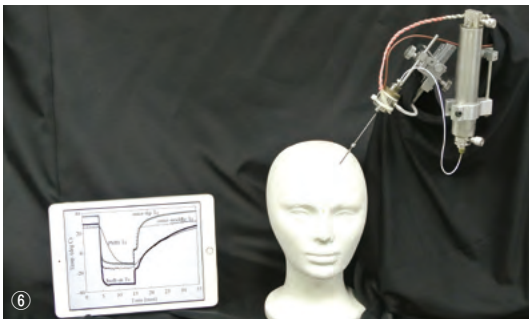

①


②

③

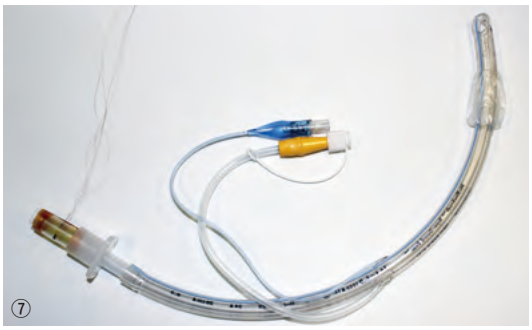

⑤

④

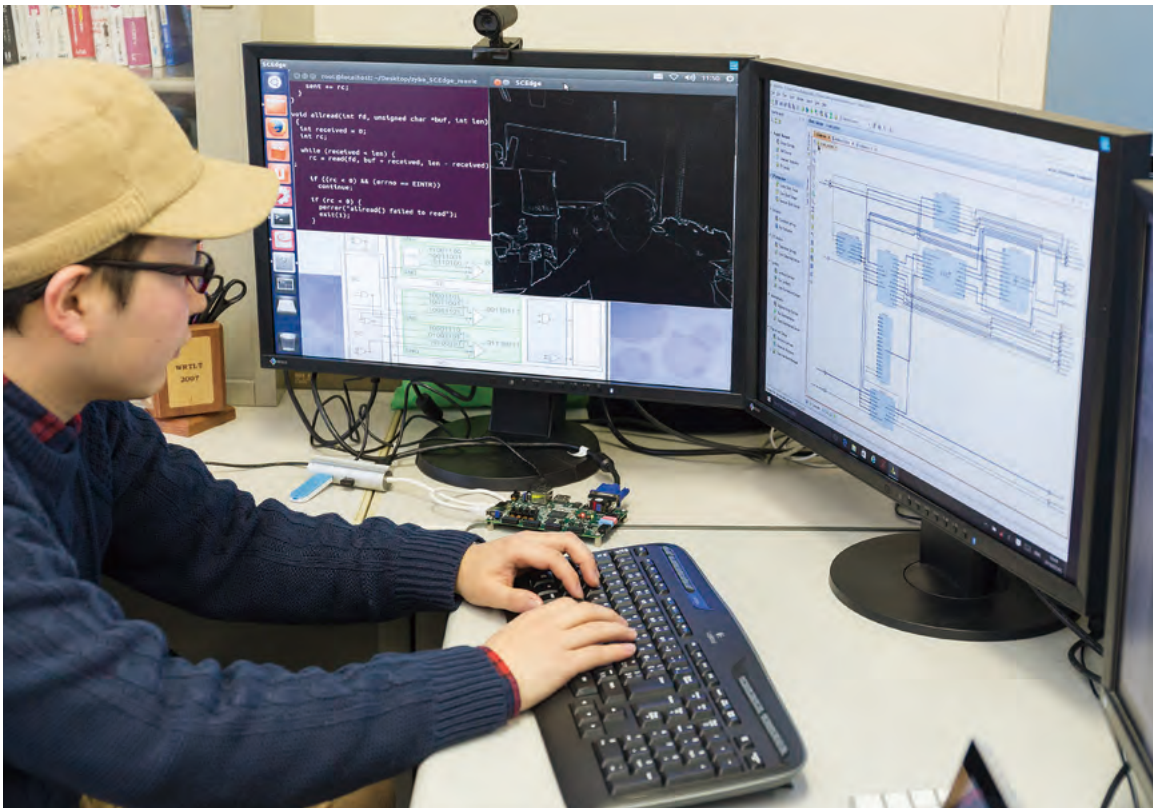

⑥

医用情報科学科 研究紹介

① 食事における咀嚼モニタリングシステム
② マルチタッチ操作による直感的インタフェース
③ 手指運動計測システム
④ 全自動医薬品分析装置
⑤ 四肢誘導による12誘導心電図計測システム
⑥ 脳神経外科治療への応用を目指した凍結プローブ
⑦ 呼吸量計測機能付き気管挿管チューブデバイス
⑧ LED植物工場による機能性食品の生産


⑦

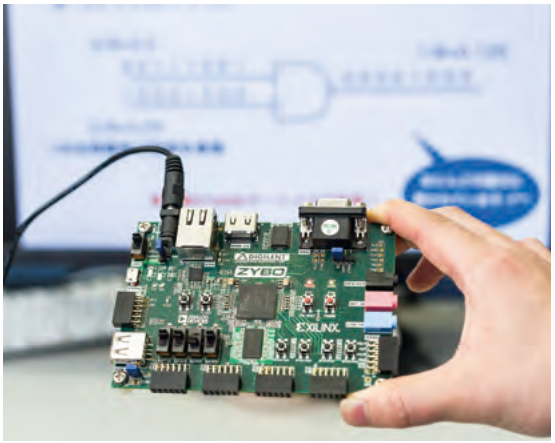
⑧

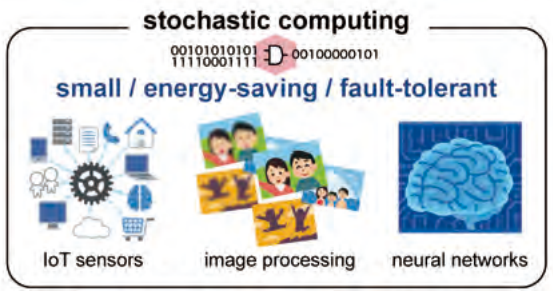


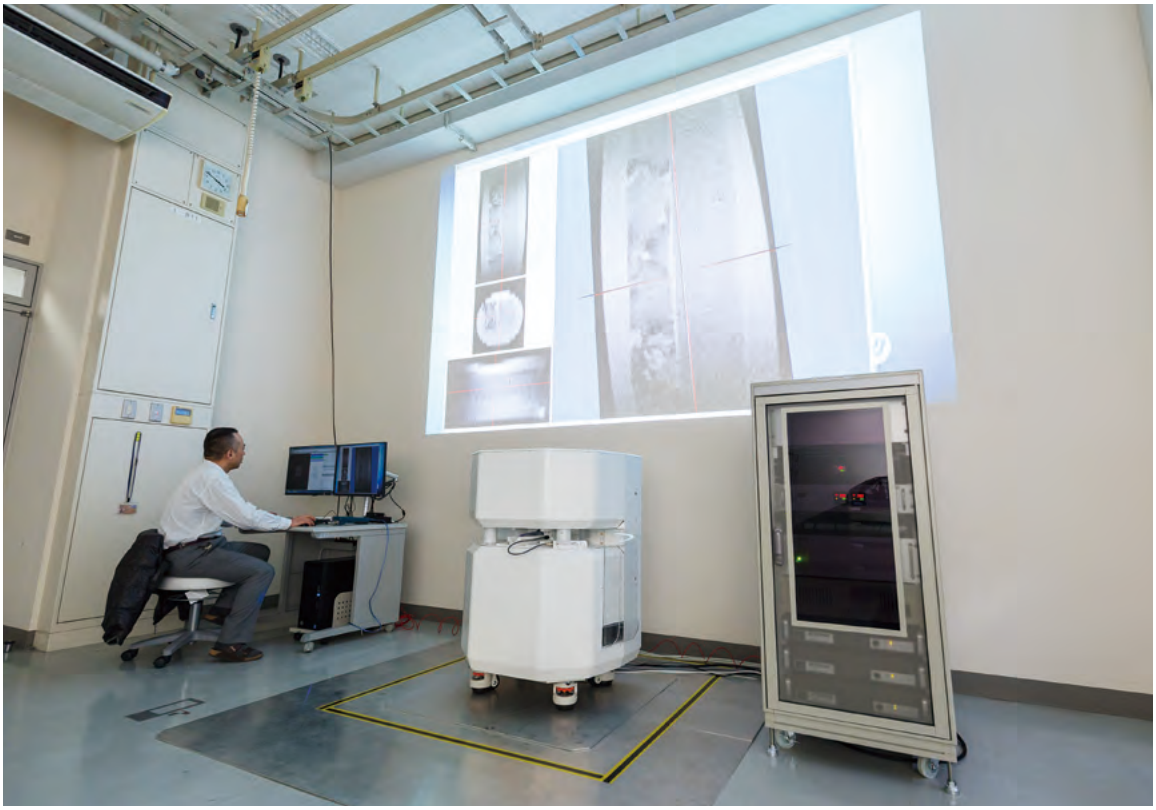
確率的な計算方法を使って
超小型で超省エネなコンピュータを作る

情報工学科 コンピュータコース
コンピュータデザイン研究室
准教授 市原 英行

0と1の乱数系列を使って確率的に計算を行うストカスティックコンピューティングを研究しています。この計算方法は「確率的」であるため常に精確な計算ができるわけではありませんが、計算に必要な部品数を劇的に削減することができ、その結果、小型で省エネ、さらには故障にも強いコンピュータを作ることができます。このコンピュータは、その特性を活かして、人間の脳を模倣する大規模ニューラルネットワーク、エンターテインメント機器やロボットビジョンに使われる動画像処理装置、IoT（モノのインターネット）の要素技術である低消費電力センサなどで利用されることが期待されています。研究では，コンピュータシミュレーションやFPGAを利用して、このようなストカスティックコンピュータを「より精確で」「より速く」「より設計しやすく」するための方法を日々模索しています。



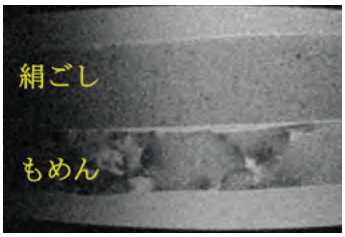


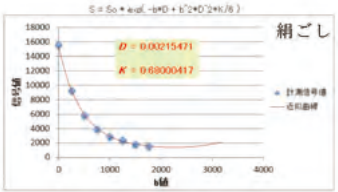


拡散MRIによる微小構造の推定とさまざまな応用

医用情報科学科 医用画像工学研究室
教授 増谷 佳孝

拡散MRIとは磁気共鳴イメージング(MRI)法の一種で、生体内に豊富に含まれる水分子の拡散現象を定量的にとらえ、水分子を拘束する生体内の微小構造を推定することができます。たとえば、脳白質線維束を構成する神経細胞の軸索径や線維の方向分布、拡散の非ガウス性などの情報が数値として得られます。本研究室では拡散MRIを使用して、生体以外の材料の微小構造の推定も行っています。その理由は、生体では推定結果の評価が困難な場合が多いためです。一方、中空糸ファイバーなど無機材料による模型や野菜・果物を含む食品などの有機材料は入手・加工が容易であり、顕微鏡などによる観察結果と比較がしやすくなっています。例として加工食品である豆腐を挙げると、豆腐は化学的には水分を含有する蛋白質ゲルであり、ゲルの隙間は無数の小さな空間があり水で満たされています。図は、拡散MRIの解析により拡散係数および拡散の非ガウス性を定量的にとらえる試みです。





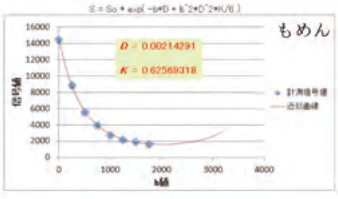
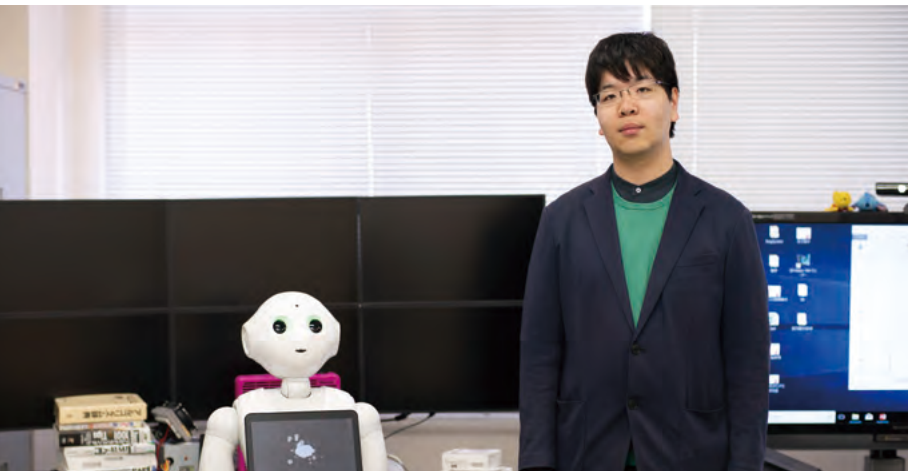


図:絹ごし豆腐ともめん豆腐の拡散MRIによる計測
左:MRI画像, 右:拡散係数D(mm2/s)および拡散尖度Kの比較



情報科学部 知能工学科 3年
羽原 俊輔
広島県立大門高等学校出身

住み慣れた広島の魅力を掘り起こし、情報技術を地域に生かしたい。

広島市立大学は地方創生や地域貢献に興味がある人にとって興味深い授業や取り組みに関わる機会が多くあると思います。2年生の時に受講したCOC＋地域貢献特定プログラムの「地域課題演習」と「観光情報学」では、実際にしまなみ海道をサイクリングしながら、GPSを使って位置、高度、速度、移動距離などの行動情報を収集してマップを作成し、合同発表会で発表。情報を集積して精度を高め、しまなみ海道のサイクリング計画に役立てるための取り組みでした。それまでも情報科学を活用して何かできることは漠然と分かっていたのですが、実際行動を起こすことで、何をどうすれば目的を達成できるのかという過程が見え、収集したデータをどう生かすか考える面白さを学びました。これからも先入観や既成概念にとらわれずさまざまな研究に取り組み、世の中の技術を駆使して社会に貢献できるようになりたいです。

情報科学部 医用情報科学科 4年
古田 愛梨
広島県立広島皆実高等学校出身

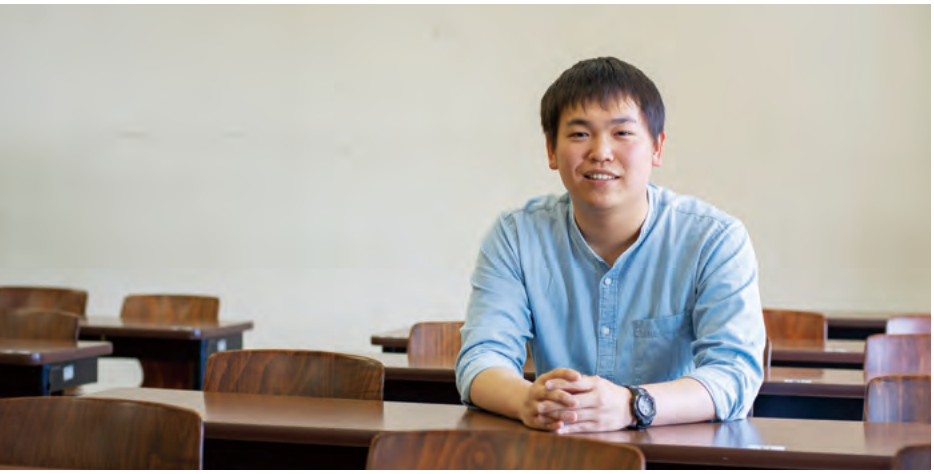
現場に不可欠な医療機器で貢献したい。多忙な時はサックスに癒されて。

広島大学、広島工業大学、広島国際大学と4大学合同で実施する「臨床情報医工学プログラム」に参加しました。プログラムの実習では病院を見学し、医療に携わるスタッフの声を聞くことで、日ごろ授業で学んでいることが現場でどう役立つのかがわかりました。病院ではさまざまな医療機器が駆使されており、あらためて医療機器の重要性を知ったことで、将来は医療機器に関わる仕事がしたいと強く思うようになりました。将来は現場の要望を開発者にフィードバックしてより良い機器を世に送り出すためのつなぎ役になりたいです。課外活動では吹奏楽部に所属し部長を務めました。勉強面で大変なことがあっても、大好きなサックスを吹く時間が気持ちをリセットしてくれます。元々人前で話したり仕切ったりするのは苦手でしたが、部活で部長を任せてもらえたことや、プログラムで病院の先生方を前に発表したことなど、大学で務めたさまざまな役割によって克服できたと感じています。これからも技術と人間性を磨き「古田だから」「古田で良かった」と求められる人を目指します。

大学院 情報科学研究科（博士前期課程）
システム工学専攻 1年
福田 祐樹
大分県立大分舞鶴高等学校出身

大好きなオーディオ分野で、できるだけ早く活躍するために。

高校生の時から音楽を聴くだけでなくオーディオ機器にも興味があり、好きが高じて開発したいと思うようになりました。音響とオーディオどちらも研究できる大学を調べるうちに広島市立大学にたどり着いたんです。できるだけ早く専門的な研究に携わりたかったので、大学の早期卒業制度を利用して3年で卒業研究を修了、今年から大学院に進学できました。現在はCDの材質による音質の違いについて研究しています。3年生の時に学部生としては珍しくAES（Audio Engineering Society）の国際会議で発表する機会を与えてもらい、他国の参加学生と交流できたことがとても有意義でした。参加者は音楽を作る側の人が多く、僕のような研究者は珍しかったのですが、「楽器や機材あっての音楽だから開発者の存在は大きい」と言ってもらえたことがモチベーションにつながっています。将来は研究を生かしてオーディオ機器をもっと身近な存在にするために貢献したいですね。研究は大変なこともありますが、好きなことなら頑張れます。せっかく大学に進むなら、やりたいことを見つけて楽しく学んでほしいと思います。



情報科学部 情報工学科 4年
中部 仁
広島大学附属高等学校出身

机上だけでなく実践や人との出会いなど、経験が学びをさらに深める。

3年生前期の講義「情報工学実験Ⅰ」のプログラミングコンテストにおいて最優秀賞を受賞しました。決められた動きや機能をクリアした上で、プラスアルファで自分が考えた機能を付加して高得点を獲得。人が操作しやすいことを重視してプログラムしたことが評価されたのだと思います。3年生の後期には企業向けの「大学説明会・情報交換会」にてプレゼンテーションを実施。情報工学実験について話しました。デモ用ロボットを持ち込み自分たちで組んだプログラムを動かしたのですが、予想以上に企業側から質問を受け興味を持ってもらえてびっくり。自分が学んでいることは無駄ではないのだという自信につながりましたし、受け答えする中で自分があいまいにしている部分が浮き彫りになり今後の課題も見えました。もっと便利なもの、もっと面白いものをと、常に一歩先に進む発想を大切にしたいと思います。今はプログラマーも世界基準で将来を見据える時代。大学に入ったら1年生からeラーニング講座をしっかりと受け、英語力を鍛えることを強くお勧めします。

芸術学部

Arts

芸術学部
Arts

これからの社会と芸術文化を創造するために

芸術学部長 南 昌伸

芸術は、人に感動と共感を与え、新たな価値観や示唆を生み出します。近年では、地域社会と連携したさまざまなアートプロジェクトが多く見られるようになってきました。それは、芸術活動が社会と密接に関わることで、新しい関係性やネットワークを生み出し、地域に活性をもたらす芸術特有の有用性があるからです。当学部では、美術、デザイン工芸の両学科における基礎力を重視し、専攻、分野の、より専門的な知識や技術の修得とともに、新たな表現の獲得を目指します。また、大学内外、地域社会や海外の学術交流協定校と連携した多角的な教育にも力を入れています。恵まれた教育環境の中で創作を学び、揺るぎない礎を築いていってください。主体的に学び、広い視野で国内外の芸術・文化を捉え、将来の活躍の場を獲得してほしいと思います。現代の複雑な社会環境の中で、柔軟に対応できる判断力と創作力を養い、社会における芸術の役割と必要性を示し、これからの社会と芸術文化を創造していきましょう。

自己表現の可能性を追究するために、理論と実技を身に付け、感性を育む

求める人物像

豊かな感性と創造力を持ち
時代の変化に柔軟に対応できる
多様な技術を修得したいと考える
学生を求めています。
創作活動を通じて、
地域社会と国際交流に貢献する
意欲を重視しています。

◎関心・意欲

芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人。

◎知識・技能

高等学校等で習得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人。

◎思考力・判断力・表現力

関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人。

◎主体性・協働性

創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人。

教育方針

創作活動の基本となる基礎実技を
しっかりと修得し
多様な技術を多角的・総合的に学んだ上で
地域社会や国際交流でも
アートを通して活躍できる
能力を育んでいきます。

◎創作活動を続けるために基礎実技を重視

自己の表現を追究する創作活動を続けていくために必要な観察力と造形力を養う基礎実技の修得を重視した教育を行っています。

◎多様な技術修得のための多角的・総合的な教育

独自の表現方法と出会うために、過去から現在に至るさまざまな分野の素材や技術を学ぶことができる、多角的で総合的な教育を行っています。

◎地域と国際を軸に芸術の社会的役割を学ぶ

地域社会との連携や海外との学術交流などを通して、社会の中で表現活動を行い、芸術の社会的な役割を知る実践的な機会を提供しています。

芸術学部
Arts

視覚造形
金属造形
現代表現
デザイン工芸学科
映像メディア造形
漆造形
染織造形
立体造形

芸術学部

美術学科

日本画専攻
P074

油絵専攻
P075

彫刻専攻
P076

基礎技術修得と幅広いカリキュラムで、創造者としての感性を養い、時代に貢献する人材を育成

美術学科は、純粋芸術の専門的な教育・研究を行います。芸術の創造者としての基盤となる感性を養い、的確な造形表現をするための能力の充実を図ることができる基礎教育を重視します。日本画・油絵・彫刻は、それぞれの分野において造形の体系を形成した歴史や哲学、科学などがあり、人文学的な要素についても学ばなければなりません。それらの確固たる造形性を修得した創造者を目指して、実技演習のみならず教養の充実を図ります。それとともに、現代を思考し、専門領域のみならず幅広い視野で芸術を理解できるようなカリキュラムを組み込み、これからの社会に創造者として発表する上で必要な能力を育て、新たな時代を形成し貢献する人材を輩出することを目指しています。

●年次チャート

1	2	3	4

●全学共通系科目　●外国語系科目　●資格取得科目

1年次から
各専攻に分かれ、
専門的な知識と
技術を修得
していきます。

●日本画専攻

●油絵専攻

●彫刻専攻

●卒業制作
卒業制作は、学部4年間の実習と創作研究活動の集大成として成果の発表を行い、自らの創作活動を確認し、社会へのメッセージを発信するものです。制作に当たっては十分な準備と時間をかけて、持てる力を限界まで引き出し、意欲的な表現を探究します。また本学芸術資料館等における卒業制作作品の展示を出発点として、将来の創作活動の方向性を自覚するプロセスともなります。

●専門基礎科目　専攻に関わらず、創作活動の基盤となる幅広い分野の基礎知識と技法を学びます。

日本画専攻

基礎教育から独創的な表現に至る指導で、創造性に富んだ人材を育成する

●目標

日本画の伝統的絵画表現という側面と、現代を生きる芸術家としての自由な表現とを両立した、広い視野を持ち、芸術表現の可能性を追究する21世紀に生きる現代日本画作家の輩出を目標としています。4年間の多彩で多様な授業を通して、高い知識、確かな技術を修得すると同時に創造性、独自性に富んだ卓越した人材を育成することを目標に、これからの文化芸術の創造・発展に貢献することを理念としています。

●卒業後の展望

日本画専攻では、優秀な作家の育成とともに、教職課程、学芸員資格等の取得にも積極的に取り組んでいます。教育機関や研究施設における指導者、研究者として芸術文化の振興に携わり、地域の文化に貢献しています。より専門的な技術や高い芸術性の修得を求める学生は大学院への進学を希望します。進学、就職と進路はさまざまですが、多くの卒業生が公募展や個展等で積極的に作品発表を続け高い評価を得ています。

●授業概要

4年間の授業の中で、写生、技術研究等の基礎教育から、独創的な表現に至る段階的な指導を行っています。1年次では材料の扱い方や制作を主に基礎力を高め、2・3年次では写生旅行や古美術研究旅行等によるスケッチ取材や文化財の実地見学の体験を通じ創作の幅を広げます。4年次には、今までの授業の集大成となる卒業作品を制作。各学年とも表現者としての基礎を身に付けるため、デッサンや写生を重視。また、古典模写や、専門的な裏打ち技法や金、銀箔の授業も随時開設するなど、効果的な教育プログラムとなっています。

アトリエ紹介

日本画専攻では1年間を通して各学年1つの教室で学びます。同級生と日々研さんを重ねて課題に取り組んでいきます。また大学祭の準備や展示など学生生活を通じて最も長い時間を過ごす場所です。課題は主に50号から80号の作品を制作し、4年生になると卒業制作として150号の大作に取り組みます。お互いが刺激し合いながら送る学生生活は、きっとかけがえのない体験となることでしょう。

カリキュラムの詳細は
広島市立大学 → 美術学科 → カリキュラム

油絵専攻

絵画技術の的確な修得をそれぞれの強固な基盤に。
そして芸術の新しい造形と表現の可能性を探る

●目標

油絵は西洋の伝統的絵画造形の代表です。油絵を学ぶことは、その根底に流れる西洋の歴史や多様な精神文化も学び知ることになります。西洋の絵画を本質的に理解するため、造形基礎としての写実のみならず、芸術の多様性を知り、やがては新たな自己の表現を目指すことができる教育を目標にしています。油絵を学ぶことで自ら現代を広い視野で見ることができる人材の育成を理念とします。

●卒業後の展望

作家として高い評価を得る卒業生も多く輩出していますが、卒業生が自立する道はそこだけにあるのではありません。さらに専門性の高い研究の機会を求める者は大学院進学や海外留学を検討します。また、専任・非常勤の教員や学芸員として教育・研究分野へ従事することの他に、培った造形力を生かせるデザインやCG、アニメ業界など多くの選択肢があります。他にも数え切れないほどの社会参加の形はあり、たとえ芸術とは関係のない業界への進路を選んだとしても、卒業生がその根幹として生涯もち続けられるものは、絵画修練で培った思考力と技術力です。

●授業概要

油絵を中心に据えながら西洋美術の理解と研究成果を得られるよう、段階的なカリキュラムを編成しています。1～2年次は、デッサンと油絵制作により重点的に造形力を鍛え、銅版画・木版画制作と油絵材料・技法演習を通し、歴史に裏付けられた西洋美術の基礎を学びます。3年次には自由制作研究により表現者としての問題意識の萌芽を促します。古美術研究ではイタリアでの実地研修を経験し、西洋美術の生きた歴史に触れて専門性を高めます。そしてここまでに構成演習などで芸術の多様性にも見識を広げ、4年次に集大成としての卒業制作を行います。

版画工房紹介

版画は美術作品として以前に、複製を作り社会に情報を伝播するメディアとして古くから使われ、印刷技術と関係しながら発展してきました。版を介して間接的にイメージを作り上げる「刷る」という行為には、能動的に直接支持体へと描き出す行為とは違い、計画性を保ちながらも画面に現れた偶然性を受け入れるといった、絵画創作の思考を問い直す内容も含みます。本学版画工房においては、木版、銅版画、リトグラフ、シルクスクリーンの基本四版種に加え、多様な版画技法へのアプローチを可能にする充実した設備をもって、専攻の枠を超えた工房制作の機会を提供しています。また、版画制作者の健康に配慮した「Non-Toxic技法」（ノン・トクシック技法）を導入しており、有機溶剤などの人体に有害な薬品を使用しない版画制作を行っています。

彫刻専攻

基礎実習と実材研究を通して
新たな彫刻表現を探究する

●目標

常に実在物や現実空間と対峙することを必要とする彫刻専攻では、塑造実習と実材実習（木·石·金属·ミクストメディア·テラコッタ）を中心に、古美術研究旅行、彫刻論等を通して、素材や作品と時間や空間を共有しながら体験的に学ぶことをカリキュラムの核としています。また、古代から現代までの芸術表現を研究することで、現代社会における芸術の役割を認識し、国際交流·地域連携に積極的に取り組みながら、地域文化をリードする国際性豊かな人材を育成します。

●卒業後の展望

学部卒業後は、毎年多くの学生が進学を希望し、さらに高度な創作·研究を進めていきます。また、教職関連や造形力を生かせる職業に就きながら、作家としての自立を目指し、広島を中心に個展を開催したり、公募展やグループ展、プロジェクトに参加したりして、発表や活動の場を広げていきます。さらに、海外の芸術大学へ留学する学生もおり、国際的視野を持ち、併せて地域に根差したさまざまな方面で活躍しています。

●授業概要

彫刻の基礎となる塑造実習では、4年間を通して人体をモデルに骨格·構造などの仕組みを把握し、自然から彫刻芸術の基礎的な形態を学びます。また実材実習では、1·2年次に実材の基礎的知識と技術を身に付けることを目的として学習·制作に取り組み、3年次以降は各自がそれぞれの実材を選択し、課題に沿った制作活動の中から自己表現の方法を学びます。併せて東洋·西洋の古典、現代までの多様な芸術表現を学習することによって、自らの創造基盤をつくり上げます。

アトリエ·工房紹介

彫刻専攻では、学部棟内に各学年個別のアトリエや資料室を持つ他に、約2,500㎡の敷地内に木彫工房、石彫工房、金属工房、ミクストメディア工房の4つの専用工房を持っています。各工房内に3tクレーン（合計3機）が、野外には20tクレーン（1機）が設置され、常備する3tフォークリフトとの組み合わせで、大きな作品の制作にも対応できます。各工房には専用機械や電動工具を充実させ、学生の追加費用負担を軽減するよう努めています。また、3Dプリンターや3Dモデリングソフト等デジタルメディアの制作環境の整備にも取り組んでいます。

デザイン工芸学科

現代表現領域

- 現代表現 P078

デザイン工芸領域

- 視覚造形 P079
- 立体造形 P080
- 映像メディア造形 P081
- 金属造形 P082
- 染織造形 P083
- 漆造形 P084

確かな造形表現のための基礎を重視しながら、創造的な活動および表現のできる能力を育てる

デザイン工芸学科は、社会と生活に関わる造形芸術の総合的な教育と研究を行うために、創造力、造形力を身に付け、確かな造形表現が行えるよう基礎教育を重視しながら、今日の社会における新しい表現と、長い歴史に培われた造形表現の双方を検証して、より専門的な造形表現へと展開していける学科です。7つの分野を設け、幅広い表現を展開する専門領域の特徴を効果的に教育体制の中に反映させることで、広範な活動領域において柔軟に対応し、創造的な活動および表現のできる能力を育て、新たな時代の形成と社会に貢献していくことができる人材の育成を行います。

●年次チャート

1	2	3	4

●全学共通系科目　●外国語系科目　●資格取得科目

1年次では
デザイン・工芸の
基礎実技を通して
幅広い表現法を修得します。

2年次から各専門分野に分かれて、実技実習を行います。

- 現代表現領域
  - ●現代表現
- デザイン工芸領域
  - ●視覚造形
  - ●立体造形
  - ●映像メディア造形
  - ●金属造形
  - ●染織造形
  - ●漆造形

●卒業制作
卒業制作は、学部4年間の実習と創作研究活動の集大成として成果の発表を行い、自らの創作活動を確認し、社会へのメッセージを発信するものです。制作に当たっては十分な準備と時間をかけて、持てる力を限界まで引き出し、意欲的な表現を探究します。また本学芸術資料館等における卒業制作作品の展示を出発点として、将来の創作活動の方向性を自覚するプロセスともなります。

●専門基礎科目　専攻に関わらず、創作活動の基盤となる幅広い分野の基礎知識と技法を学びます。

現代表現領域

現代表現

先端的表現の実践と理論構築を学び、現代社会の要請に応える表現を創造する

●目標

現代表現分野では、先端的表現の実践と理論構築を学んで、現代社会の要請に応える表現者の育成を目指します。現代美術の作品制作に加え、作品を発表するために必要なキュレーション（企画展示）とマネージメント（管理運営）のスキルも学びます。世界の美術作品の大多数は、現代美術の領域で作られています。世界各国の美術大学で教えられているのも、現代美術の作品制作です。この分野では、将来、日本でも中心的な領域になる現代美術について専門的かつ体系的に学ぶことができます。また、現代美術の領域では、社会や政治、歴史の問題に積極的に取り組む作家が多く、現代美術を学ぶ場所は重要なポイントです。広島は、史上初の被爆を経験した都市であり、世界で最も知られた都市の一つです。現代表現領域は、日本と世界の諸問題に真剣に取り組み、国際舞台で活躍するアーティストの輩出を目指しています。

●授業概要

複数の教員による領域横断的な教育体制を通じて、実技（作品制作）と理論（企画展示、管理運営）の双方を学びます。2年次では、作品制作を主とした課題を通して、制作されたものとコンセプトの整合性を計る基礎を身に付けていきます。3年次ではアートプロジェクトの企画を行います。グループワークを中心としたリサーチから定期的なディスカッションを通して、展覧会やイベントを作り上げる一連のプロセスを修得します。4年次では、個々の学生に応じた表現の指導を行い、これまでの活動の集大成として卒業制作に取り組みます。完成した作品は公開プレゼンテーションを行い、外部の講師による公開講評も実施します。さらに、作品撮影からカタログのデザインまで実践することで、将来の作家活動を広範に支える取り組みも行います。

●卒業後の展望

海外への留学生が多い現代表現領域では、日本国内にとどまらず世界で広く活躍するアーティストを多数輩出しています。また、従来の作品制作やデザインの枠を押し広げる先端的な表現者としてキャリアを積む卒業生もいます。そして、美術館やギャラリー、アートプロジェクトなど、表現者を支え、社会と芸術を結び付けるアートマネージメントの現場で、専門的な知識と経験を生かしながら活躍する卒業生も輩出しています。

ラボ紹介

現代表現分野の「CA＋Tラボラトリー」は、展覧会やレクチャーなど、多目的に使用できるホワイトキューブの空間に加え、学内外におけるプロジェクトの報告やディスカッション、ミーティングのためのプレゼンテーション・ルームも備えています。また、海外や国内で開催された現代美術に関する展覧会カタログや文献などを3,000冊以上収蔵しています。現代表現分野で学ぶ学生たちは、これらの蔵書を自由に閲覧することができます。

カリキュラムの詳細は
広島市立大学 → デザイン工芸学科 → カリキュラム

デザイン工芸領域

視覚造形

ヴィジュアルコミュニケーション・デザインで、社会の課題を創造的に解決する

●目標

デザインとは、計画的に課題解決方法を考え、その実現のために必要な手法を選択し、実現する創造的活動です。今日その対象領域は、生産・製造業に限らず、私たちの暮らしそのものや、社会のあり方といった具体的な形がないものにも広がっています。視覚造形では、こうした広範なデザインの中で、特にヴィジュアルコミュニケーション・デザインを中心とした、課題解決方法とその新しい表現方法について探究しています。さらに、社会的な創造活動であるデザインには、実社会の中に主体的に課題を発見し、他人と協調しながら、その課題解決に取り組む能力も必要です。視覚造形では、さまざまな実習課題や学外デザインプロジェクトを通じて、こうした能力を身に付け、卒業時には、問題の本質を捉え、創造的な提案ができる人材を育成することを目標としています。

●授業概要

2年次には、写真撮影、ポスター、エディトリアルなどを通じて、グラフィックデザインの基礎を学ぶほか、関東・関西のデザインの現場を研修旅行で巡ります。3年次には、広告の企画・制作、公共デザイン、デザイン展の企画・実施など、より実践的な課題に取り組みます。4年次には、学生自らが選んだテーマで、ヴィジュアルコミュニケーション・デザインによる卒業制作に取り組みます。

●卒業後の展望

卒業生は、広告代理店や印刷会社におけるアートディレクター、クリエイティブディレクターのほか、グラフィックデザイナー、パッケージデザイナー、ウェブデザイナー、アーティスト、イラストレーター、漫画家などとして活躍しています。

スタジオ紹介

VCデザインスタジオは、フリーアドレスのワークデスクと広大な壁面を有し、学生に自由な制作環境を提供。デザインワーク用コンピュータや高精細大判プリンターなどを備えています。隣接する2Dプリントルームでは、冊子印刷や製本加工ができるため、課題制作や各種デザインプロジェクトに利用されています。さらに、学内のフォトスタジオと連携することで、高品質なグラフィックワークも可能です。

芸術学部　デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

立体造形

生活の中における人とモノの関係を追究し、幅広い視野で本質的なモノづくりを創造する

●目標

立体造形分野は生活の中における人とモノの関わり合いをデザインすることに主軸を置いています。効率性や経済性を重視する現代社会においては、モノづくりに込められた心の大切さを見失いがちです。そこでデザインの本質を追究し、幅広い視野で本質的なモノづくりを創造します。「人とモノの本質的な関わりは何か」をキーワードに、生活と社会の中のモノづくりに対する、創造性豊かで自由な発想の導き出し方を学ぶことができます。

●卒業後の展望

自動車、家具、玩具・ゲーム、ファッション、Web、店舗設計などのデザインや企画開発といった生活に関わるさまざまな分野にデザイナーとして企業に就職し、身に付けたスキルを発揮する道があります。またアーティストやクリエーターとして独自に活動し、各方面で評価を受けている卒業生もいます。立体造形で培った創造性豊かで自由な発想をもとに、社会で幅広く活躍できる人材を輩出しています。

●授業概要

2年次では多様なテーマに対し、調査から構想、実制作までを通して、計画・造形・伝達などの表現に必要な基礎的な項目を修得します。3年次では機能と構造を軸に椅子のデザインと制作を実施、また各自が求めるモノづくりの領域を探る演習を実施し、その成果を公開展示します。4年次には各自が立てたテーマを軸に調査を行い、卒業制作に向けて具体化します。また、芸術資料館のコレクションに直接触れての調査、専門工房での専門技術の修得、地場産業の見学研修で知見を深め、デザイン能力、表現力向上を同時に進めます。

スタジオ紹介

3Dスタジオではデザインに関わるアイデア構築のための資料と、プレゼンテーションのために必要な空間と設備を学生に提供しています。またスタジオ内に3Dプリントルームを併設し、Shadeなどのソフトで製作された3Dデータを3Dプリンターで出力し、デザインの形や構造の検証を行うことができます。学生はここで練られたデザインを基に各専門工房を使用して作品のプロトタイプの制作に移ることで、基本的な素材の加工技術を修得することにも積極的に取り組んでいます。

デザイン工芸領域

映像メディア造形

情報メディアを駆使した表現は、現代社会に新しい視覚体験を発信する

●目標

映像を使った情報ツールは、いまや日常の中に当然のように溢れています。それらをコントロールし情報発信することには、適切な技術と知識が必要です。映像メディア造形では、社会のニーズに応えるための多様な映像表現を、若い感性からなる可能性から新しい視覚体験を創造することを目指し、創作研究を行います。映像という媒体を、「光」「音」「時間」「動き」というエレメントに分解してそれぞれの特性を研究し、多彩なデジタル技術を利用して新しいコミュニケーション表現として再構築していきます。また、多くの映像資料を基に映像リテラシーを養うとともに、CGやアニメーション、そしてICT技術を修得し新しい映像媒体でのアートやデザインの表現を創造していきます。

●授業概要

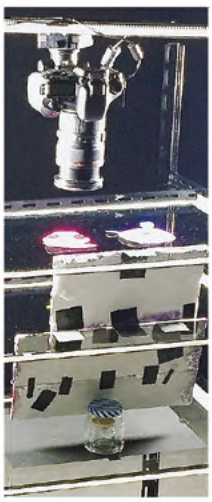
2年次では、映像の基礎的構造を理解するためにアニメーション技法を主に実習を行います。「動き」「音」「時間」などのモチーフをも使用して、映像を多様なアプローチで創造することを学びます。また、豊富な映像資料を基に映画的映像制作の実習も行い、総合表現としての制作も行います。同時にコンピュータでの各種アプリケーションソフト技術修得によるスキルアップも行います。3年次では、培った造形感覚を発展し、各自が目指す方向性を探る演習を行い、新しい視覚表現のための創作研究を行います。また、実践的なグループ制作での演習も課し、社会性のある制作を行います。
4年次は、卒業制作に向けて、各自の感性とスキルに合わせ計画から試作、実制作へと取り組みます。また、カタログ制作や映像パブリッシュメディアの制作も行います。

●卒業後の展望

卒業後の進路としては、映像制作会社、TV放送局、Web制作・デザイン事務所、ゲーム制作業界などへの就職がメインで、身に付けた技術や表現力を社会に向けて発揮しています。また、アーティスト、映像クリエーターとしてフリーランスながら多くの映像コンペティションで受賞、活躍している卒業生もいます。4年間の映像メディア造形分野での研究制作を通して培われた先鋭的感性、情報処理能力、人間力を生かしさまざまな分野で活躍する人材を輩出することを望みます。

スタジオ紹介

コマ撮りアニメーションの専用スタジオや、専有のコンピュータスタジオなど、学生が存分に制作に打ち込める施設を有しています。また、200インチスクリーン、7.1ch音響システムを完備したプレビュールームでの映像作品の講評では、より実践的な視点で作品を観ることができます。



デザイン工芸領域

金属造形

金属素材との対話を通した確かな技術修得、柔軟な思考が独自の表現を生む

●目標

人類が金属素材に出会って以来、金属の可能性への探究は、モノづくりへの挑戦から始まったと言えます。わが国の金属工芸には、先人たちが残した世界に誇れる素晴らしい表現技法が多く存在します。金属造形では、「彫金」「鍛金」「鋳金」といった金属工芸の伝統的技法の基礎を体系的に学び、応用技術を修得していきます。また素材や歴史的背景について理解を深め、自己の制作研究を通して感性を高め独自性を追究します。段階的に修得した確かな技術と柔軟な思考を基に、金属造形のジュエリー・クラフト・オブジェ・伝統的工芸といった幅広い領域の中から、現代における工芸、金属造形のあり方を考え、独自の表現と新たな方向性を探ります。

●授業概要

2年次は、手仕事を中心とする金属工芸の伝統的基礎技法を修得しながら、金属工芸の基本的な知識と技術を学びます。3年次は、課題制作を通じて、複合技術の修得と共により深い知識と高度な技術を学び、高い専門性と応用力を身に付けます。また3学年共通のテーマ制作では、制作から展示までのプロセスを総合的に学び、4年次の卒業研究に備えます。4年次では、各自の卒業制作について綿密な検討を重ね、予備研究、習作を経て4年間の集大成としての卒業制作を完成させます。

●卒業後の展望

卒業後の進路は、製品開発・製造を行う企業での企画開発、デザインなどの分野で才能を発揮する、あるいはジュエリーデザイナーや工芸作家として独自の表現を追究する作家として、また中学・高等学校の教員、専門学校の講師として学んだ技術を教える立場に立つなどさまざまな道に進むことができます。金属工芸を学び磨いた感性を生かし、すでに社会で活躍する多くの卒業生に続き、これからも幅広い分野で自己の創造力を社会で発揮することを期待しています。

工房紹介

ジュエリー作品をはじめ、彫金技法による繊細な制作を行う「彫金工房」、金属の絞り加工（塑性加工）を可能にした「鍛金工房」、鉄材の鍛造（熱間加工）を行うことができる「鍛造工房」といった3つの工房を設置しています。隣接する「金属加工室」では、機械による切削加工、曲加工、切断が行える各種大型機械や遠心鋳造機等を設備しさまざまな金属加工を可能にしています。また「鍛金工房」「金属加工室」にはホイスト（2.7tクレーン）も配備され大型作品の制作や移動にも対応しています。

デザイン工芸領域

染織造形

染織造形に関わる多様な素材や技術を修得し、現代社会における新たな表現を探究する

●目標

染織は古来より人間の生活において基本的なものであり、生活を豊かにするものとして、身体や暮らしを華やかに彩ってきました。染織の素材である繊維と染料は、他の素材にはない光沢のある美しい色彩と優しい質感と秀でた可変性を併せ持っています。そしてテーマ、構成、色彩、素材、染色技術、織技術が融合した染織芸術が世界各地で創造されてきました。中でも日本の民族衣装である「着物」は他国に類を見ない高い水準に達しました。現在も日本の染織およびテキスタイルデザインやスーパー繊維の開発による新しい繊維造形は、その独特な美意識によって世界から注目されています。本学の染織造形分野では、日本の伝統技術から現代技術までを研究した上で、現代社会においてより重要になっている染織芸術の可能性を素材、技術、知識といった多角的な視野から考え、染織造形の未来を切り開くことを目標としています。

●授業概要

2年次では素材（繊維と染料）に関わる基礎知識を学び、染基礎実習（臈染、捺染）、織基礎実習（綴織、絣織）を通して染織造形の基礎技術を修得します。
3年次は浴衣（型染）と浴衣帯（組織織）、染織プロジェクト、テーマ制作を経て、染めと織りの専門性を深め、創作活動を広げます。
4年次は各自が卒業制作のテーマについて研究し、卒業作品を完成させ、自己表現の確立を目指します。なお3年間を通して公募展などにも積極的に出品しています。

●卒業後の展望

染織造形分野では、繊維、染色、織物に関わる知識と高度な造形力を体得し、現代社会における国内外の多様な分野で活躍できる人材を育成しています。すでに本分野からテキスタイル、グラフィック、インテリア、ジュエリーなどの各デザイナー、染織造形作家、染織文化保存、教員など幅広い分野で活躍する人材を輩出しています。

工房紹介

染織造形では、染色を行う染色調合室、染の制作を行う染色工房、織の制作を行う織工房、デザインを作成するパソコン室、プロジェクトを進める制作室を完備し、日本の芸術大学において最も優れた染織工房の一つとなっています。染色調合室には染料と器具を備え、染色工房には各種の防染ができる設備と広い洗い場などを併設し、織工房には京都西陣において特別に製作された綴織機（50cm巾・90cm巾・200cm巾）18台などを設置しています。また、空間造形を制作するための展示設備や植物染料園があります。学部生、大学院生、留学生、社会人講座受講生、教員は、各工房を自由に使用して創作活動を行い、活気のある環境となっています。

芸術学部　デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

漆造形

ものづくりの必然性を追究し、創造性豊かな表現を目指す

●目標

戦後の日本は高度成長により先進国として世界にも認識されてきましたが、合理的な経済を推し進めるなかで価値観の画一化が進行しています。その結果、個々の「心の豊かさ」が軽視され、さまざまな社会問題が生じています。漆造形分野では、9千年以上におよぶ人と漆の関わりや技芸を学ぶことで、自然との共生をコンセプトに指導しています。現在も受け継がれる漆の表現技法は自己を覚醒させ、現代人が失いかけている自然との関わりから「ものづくり」の本質まで、多くのものを導き出してくれます。大学での3年間では学びきれない奥の深い世界ですが、ここでの経験を活かして現代社会に「心の豊かさ」を呼び戻す創造力ある学生を育成します。

●卒業後の展望

作家、保存修復、デザイナー、写真家、映像作家、高等学校講師、専門学校講師など幅広い分野で活躍する多くの人材を輩出しています。今後もより多くの分野において漆を学んだ学生が活躍することを望んでいます。

●授業概要

2年次では基礎技術の修得として、多種多様な道具の仕立てや制作を始め、木地から漆呂色上げまで約40工程におよぶ本堅地を学びます。後期からは、蒔絵、螺鈿等のさまざまな加飾技法を修得します。3年次は素地造形を中心とした轆轤（ろくろ）、乾漆技法を修得。特に轆轤は地場産業である宮島轆轤の技術を基礎に、刃物の鍛造から徹底指導を行います。また漆造形の複合的な創作研究や、漆工芸の歴史と自己表現のあり方を見直す古典研究を経て、3年次最後に発表するテーマ制作に挑みます。4年次は学部の集大成として、各々の感性を主に、素材、技術、知識、社会性など多角的な視点から研究内容を設定し、自由な造形表現の制作を行えるように指導しています。

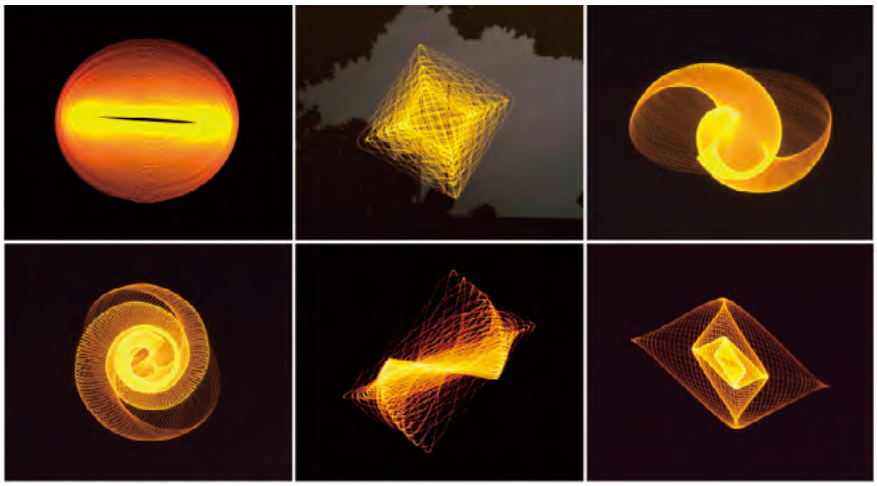
工房紹介

漆造形では大学機関として、中国地方唯一となる漆塗り専用の部屋を完備した工房を設置しています。その他共通の木材加工室やプラスチック塗装室があり、実習や各自制作に応じた多様な加工設備を有しています。特に木材加工室では宮島式轆轤機械を導入し、木材の製材から鋼を鍛造した刃物制作、轆轤加工、漆塗りまでの一貫制作を実習に取り入れるなど本学独自の設備環境と指導を行っています。また、広島漆の植栽や漆採取ができる実験林もあり、「ものづくり」の本質となる素材の知識と経験を深めた創作研究の指導を行います。

重力が描く光のドローイング

油絵研究室 准教授 志水 児王

20世紀の画家クレーは“あらゆる生成の根源にあるものは動きである”と語り、15～16世紀の芸術家レオナルド・ダ・ビンチは“運動は一切の生命の源である”という言葉を残しています。私の創作活動は油絵を出発点としていますが、無限に変化する出来事の中に本質的な要素があるのではないかと考えています。現在は絵画に限らず、動き・変化を伴う作品を制作し、私達を取り巻く世界の成り立ちや私達の知覚そのものに目を向けた研究をしています。「type」という重力を扱った私の作品は、振り子の運動を視覚化したもので、振り子の釣り方によってさまざまな形を生み出します。重力と生命は数十億年もの間、常に深い関係にあり、これら振り子が描く軌跡は生命の多様性を暗示しているかのように思えるのです。



真っ暗にした室内や夜間の屋外で撮影された重力による光のドローイング「type」

「わからない」から「学び・考える」美術へ

美学美術史
准教授 石松 紀子

「現代美術」は、「よくわからないもの」と思われがちですが、よくわからないからこそ知りたくなり、そこにさまざまな意味や文脈を読み取ることが面白くもあります。作品を理解する過程で、自分のなかの「あたりまえ」や「常識」が、人によって、あるいは国や文化によっても捉え方が異なることに気付かされます。

シンガポール美術に関するアーカイブ資料の展示風景

美術作品は、いつの時代も社会や政治や歴史のなかで生成されます。作品や作家について理解を深めるためには、その時代背景を知る必要があり、過去から現在までの文献や資料を調べ、読み、考えることが大切な作業となります。作品を理解することで、さまざまな価値観があることを知り、そこから視野も広がっていきます。美術に限ったことではないですが、「わからない」ことこそ、自ら問い、学び、考えてもらいたいところです。それは、より豊かで柔軟な思考と姿勢を身につける契機にもなります。

卒業生の活躍を肌で感じる研修旅行

現代表現領域
講師 古堅 太郎

現代表現領域はさまざまな素材やジャンルを横断し、表現する技術を磨く専攻です。また、実際に第一線で活躍する卒業生の展示を見たり、専門家から話を聞く体験を大切にしています。昨年は現代表現領域の卒業生、岩崎貴宏さんが2年に一度イタリアで開催される「ヴェネチア・ビエンナーレ」の日本館代表のアーティストに選ばれました。「美術のオリンピック」とも称される著名な国際芸術祭で、卒業生の展示を見ることができる貴重な機会に合わせ、有志の学生と一緒にイタリアまで研修旅行に行きました。このような活動に加えて、学外からも専門家を招き特別講義を開催しています。例えば、国立国際美術館や公益財団法人神奈川芸術文化財団、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館など現代美術を展示する美術館の学芸員の方々です。現代表現領域は、あらゆる情報が簡単に手に入る中で、自らの五感を使い体験し考えることから今までにない「表現」が生まれると考え、実践しています。

卒業生の岩崎貴宏さんが展示するヴェネチア・ビエンナーレ日本館の前での記念撮影

「マツダ・広島市立大学芸術学部共創ゼミ」開設

～世界に誇れるモノづくりを！広島発の新たな価値を提供する人材育成～

記者発表でプレゼンをするマツダ(株)前田常務執行役員(本学客員教授)

芸術学部は、マツダ株式会社との協働により、新たなモノづくりと新たな時代を形成し得る人材を育成し、広島が世界に誇れるモノづくりを輩出する地となることを目指し、2017年度から新たに共創ゼミを開設しました(当面は2019年度まで)。対象は、芸術学部2年次以上の学生、大学院芸術学研究科の学生等で、2017年度は、さまざまな学年・専攻の18名の学生が受講しました。マツダ株式会社からの派遣講師と芸術学部教員の指導のもとで演習を行い、受講者にモノづくりのスキルを多角的に身に付けさせます。2017年度は、マツダ株式会社が世界最大規模のデザインの祭典等に出展する作品制作を題材として、道具について考察し、新たな価値(モノ)を創り出す考え方を学びながら、質の高い造形に仕上げていく創作のプロセスを修得することを目指しました。これらを通じて、広島発の新たな価値を社会に提供する人材の育成に取り組みます。

創作工房・実習アトリエ

創作工房

- 石彫工房
- 木彫工房
- 金属工房
- テラコッタ窯場
- 鍛金・鍛造工房
- 彫金工房
- プラスチック塗装工房
- 織工房
- 染工房
- 漆工房
- 版画工房
- フレスコ室
- 石膏デッサン室
- 金属加工室
- 木材加工室
- CA+Tラボラトリー
- VCデザインスタジオ
- 2Dプリントルーム

- 3Dスタジオ
- 3Dプリントルーム
- メディアワークスタジオ
- アニメーションワークスタジオ
- コンピュータルーム
- フォトスタジオ
- アートシアター

実習アトリエ

- 日本画アトリエ
- 油絵アトリエ
- 彫刻アトリエ
- デザイン工芸実習室

芸術学部 美術学科 日本画専攻 3年
今田 和也
広島市立基町高等学校出身

かけがえのないこの瞬間、自分とは異なる価値観と出会い、新たな糧に。

子どもの頃、源氏物語絵巻の復元模写プロジェクトを見て、日本美術の奥ゆかしさ、描写や表現の優美さに心惹かれました。また嚴島神社での平家納経全巻公開展示を毎週のように見に行き、神主さんにも驚かれましたね（笑）。将来は文化財などの修復に携わりたいと考えており、そのために日本画の基礎や専門知識・技術を身に付けようとこの大学に進みました。芸術の他専攻はもちろん国際や情報など他学部もあり、自分とは異なる価値観に触れられるのが魅力です。彫刻の芸術祭で初めてチェーンソーを動かし大勢の方と協力して一つの作品を作ったり、地域課題演習で他学部の友人としまなみ海道をサイクリングするなど、新鮮で楽しい体験の全てが今の自分に生かされています。課外活動では裏千家茶道部で部長を務めたのも貴重な経験でした。茶道を通して人との接し方やお茶会など行事の進め方についても学びました。特に「一期一会」の精神は自分の柱となっています。

芸術学部 美術学科 油絵専攻 4年
岡 里実
京都市銅駝美術工芸高等学校出身

黙々と作品を作るだけでなく、人と関わりながら社会に発信する喜びを実感。

油絵専攻では「ミニゼミ」という独自の取り組みがあり、各教員の技術等を入門的に学ぶことができます。私は3年生の時、テンペラと油彩の混合技法でリアルな絵を描くというミニゼミに参加し、技法とひたすら向き合いながら制作をしました。黙々と制作するミニゼミとは対照的に、地域社会の中で作品を生み出し発信するCOC＋事業の「宮島双六観光マップ制作プロジェクト」にも参加し、版画作品をポストカードやTシャツなどグッズに展開しました。パソコンでのデータ作成や印刷会社とのやり取りなど、既存のカリキュラムだけではできなかったであろう社会との関わりや自分の作品を世に出す過程を経験でき、将来を考える上でも大きく影響を受けています。同時に自分の無知を思い知りましたが、無知であることの危機感と好奇心が芽生え、これまで受け身だった私も、今となってはもっとたくさんの経験をしたいと思うようになりました。

芸術学部 デザイン工芸学科 漆造形専攻 3年
下村 祐介
三重高等学校出身

漆とデザインの現場を通して、モノづくりのプロセスと新たな価値の作り方を学ぶ。

漆造形専攻では、通常授業のカリキュラムの他にさまざまなプロジェクトがあり、宮島の職人さんの下で宮島轆轤を習ったり、会津若松市での漆工房見学や講習などがあり、直に職人さんの技や生活を肌で感じました。漆専攻のプロジェクトとは別で印象に残っているのが、「マツダ·広島市立大学芸術学部共創ゼミ」です。自動車メーカーのマツダから講師を迎え、新たな価値を生み出す考え方や美しさとは何かを追求し自ら作品を制作しました。デザインについてのプレゼンテーションを聞き、プロのデザイナー、クレイモデラー、エンジニアは職人そのものに感じました。車は工業製品ですが、手仕事で作り出すこだわり、より良いものを作りたいというマツダの姿勢は、工芸と同じだと感じました。最後は自分で制作した作品をマツダの方々を前にプレゼンテーションし、業界のトップクラスの人に自分の作品を講評してもらったことは、貴重な体験となりました。広島市立大学でしか学べない魅力的な取り組みもたくさんあることを知った上で、自分に合った道を選択してほしいと思います。

芸術学部 美術学科 彫刻専攻 4年
小山 絢女
岡山県立総社南高等学校出身

存分に彫刻と向き合いながら自分を見つめ、自分の未来も創造する。

高校から美術系の学科で学んでおり、彫刻が学べて教員免許と学芸員資格の両方が取れる国公立大学ということで広島市立大学を選びました。彫刻を始めたきっかけは先生の勧めです。自分が思い描いた形が目に見えて完成していく面白さと同時に、100パーセント思い通りにいかない難しさもあります。入学してから一番実感しているのは創作時間がたっぷり持てること。自分が好きな彫刻を学ぶために大学に入ったので、こんなに多くの時間を実技に割けることがとても幸せです。充実した設備と恵まれた環境で創作活動に没頭でき、数多くのプロジェクトや他学部の講義など、視野を広げるきっかけもたくさんあります。特に平和教育は広島ならではの取り組みだと思います。私は岡山出身ですが、広島に来るまでは平和について考える機会が身近にはなかったように思います。4年間じっくりと時間をかけて作品を創作しながら、自分ともじっくり向き合って進路を見つけてください。

大学院

Graduate Schools

大学院
Graduate Schools

大学院の目的と特色

■大学院の目的

1. 高度な学術知識や能力を修得した研究者および専門職業人の育成
2. 21世紀の地球社会の多種多様な課題を発見、解明、解決するとともに、世界平和の構築に貢献する人材の育成
3. 最先端の学問領域を究め、社会の多様性と変化に即応しうる知性と感性と創造性を併せ持つ人材の育成
4. 地域と連携し社会に開かれた教育・研究の推進によって、多様化する地域社会の充実と発展に貢献する人材の育成
5. 高度な学際的関心と旺盛な知的好奇心を持ち、専門的学術研究を志向する社会人のための生涯学習の支援

■教育・研究の特色

1 高度な専門的教育・研究

●専門領域諸分野についての最新の研究成果と研究手法を取り入れた教育・研究を行います。
●最新の学術情報に接するとともに、学問の深奥に触れ、活発な問題意識を育む教育・研究を行います。

2 高度な専門教育に相応した学際的教育・研究

●高度な専門性を維持しながら、既存の縦割りの専門分野や研究領域を超えた、広範な横断的視野からの学際的な教育・研究を行います。
●物事を広範な視野から考察し、総合的視点からの判断力と理解力を養う教育・研究を行います。

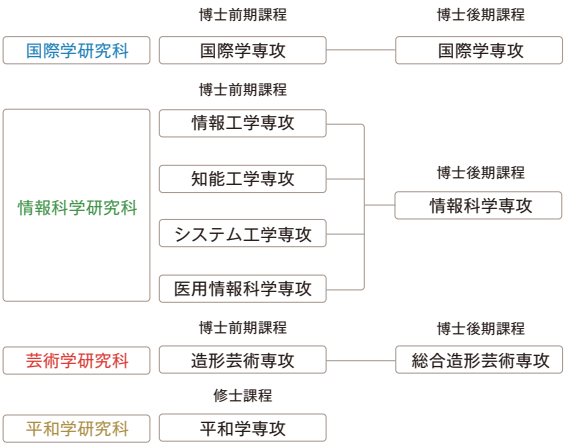
3 論理性、創造性、独創性を涵養する教育・研究

●論理的な思考力を養い、幅広い学識と豊かな人間性を育む教育・研究を行います。
●研究意欲を高め、高度な専門的学術知識の修得を目指すとともに、創造性と独創性を涵養する教育・研究を積極的に進めます。

■大学院組織図

自己の研究をより深め、
視野・思考の幅を広げる大学院の研究

最先端の学問領域を究め、知性と感性と創造性を研くための学問の場である広島市立大学大学院。4つの研究科のそれぞれが、専門分野の高度な研究につながる授業科目群を設置するとともに、学際的な知識を修得して調和のとれた人間形成を図る科目群「21世紀の人間と社会」を開設。社会の指導的役割を果たす能力と人間力を育てていきます。



※2019年4月設置

学際的な視野から、明日の地球社会を見つめる

全研究科共通の選択必修科目群「21世紀の人間と社会」は、人文科学、社会科学、自然科学、芸術学など、既存の縦割りによる学問領域を超えて、より広範な学際的領域で編成されています。これらの科目群を通してさまざまな分野の本質に触れることで、学問研究に対する調和のとれた思考と柔軟な批判精神を養うとともに、修得した専門知識を再構築する機会となります。
このように、大学院では専攻する専門分野の既成の枠組みを超えて、常に、新鮮な視点、多様な問題意識、柔軟な判断力を養う、先を見通しにくい21世紀の社会に役立つ調和の取れた教育・研究を行っています。

■開設授業科目

◎国際関係と平和　広島平和研究所長 吉川 元

20世紀の平和と安全保障の概念の変容について講義するとともに、冷戦後になぜ、新しい安全保障の概念や活動が展開されるようになったのか、その背景を考察します。そして、21世紀の平和と安全保障を俯瞰します。

◎日本論　非常勤講師 佐藤 深雪

20世紀初頭に、夏目漱石は、自己本位と則天去私に基づいた個人主義によって独自の立脚点を得ました。ヘンリー・ジェームズにおけるヨーロッパとアメリカの関係と対比しながら、漱石の「私の個人主義」と「現代日本の開化」を中心に論じ、「日本」について考察します。

◎道具論　教授 及川 久男 ほか

道具がどのような存在であるかを論じます。道具存在論、道具が開く文明と文化の歴史、過去と現在、未来論、形態と機能、美意識の国際比較、美術、工芸とインダストリアルデザインとの違いなど、道具を使う立場、つくる立場、考える立場、商う立場にとっての道具のありようの見方を論じます。

◎人間論A（人文・社会科学）　教授 柿木 伸之

人間とは何か。この問いは、ヨーロッパ思想史において中心的な問題であり続け、「人間らしさ」の実現は、文明発展の目標とされてきました。しかし、文明の発展史において想定されてきた「人間」像が歴史的に作られたもので、その歴史が「人間らしさ」とされてきたものを破壊し、人間の生命を脅かしてきたことを忘れることはできません。本講義では、ヨーロッパ思想史の中で「人間」がどのように捉えられてきたかを検討し、人間とは何かを探っていきます。

◎人間論B（自然科学）　非常勤講師 戸田山 和久

人間の大きな特徴は「心」を持っていることだといわれてきました。一方で、人間は動物であり、さらに究極的には物質にすぎません。こうした唯物論的な見方に立った上で、人間の心をどのように捉えていけばよいのか、心の科学と心の哲学の交差する領域の問題を考えていきます。

◎科学技術と倫理　非常勤講師 石田 三千雄

科学倫理や技術倫理、科学者・技術者の責任、技術の文明論的考察、生命操作技術の倫理や生命倫理学の倫理性、科学技術と公共性、市民の関与、技術倫理の仮題、技術者倫理教育の現状などを論じます。

◎情報と社会　非常勤講師 神野 新 ほか

情報通信技術（ICT）の急速な進化は、電気通信や放送の枠を大きく超えた社会経済全体に波及しつつあります。すなわち、コンピュータおよびネットワークシステムが重要な社会インフラとなり、私たちの日々の生活や社会情勢、企業活動を大きく変革しつつあります。本講義ではICTの発展を俯瞰した上で、社会、経済、消費者、および企業行動、国際関係等に与える影響と問題を把握し、今後、どのように対処すれば良いかを検討します。

◎都市論　教授 吉田 幸弘 ほか

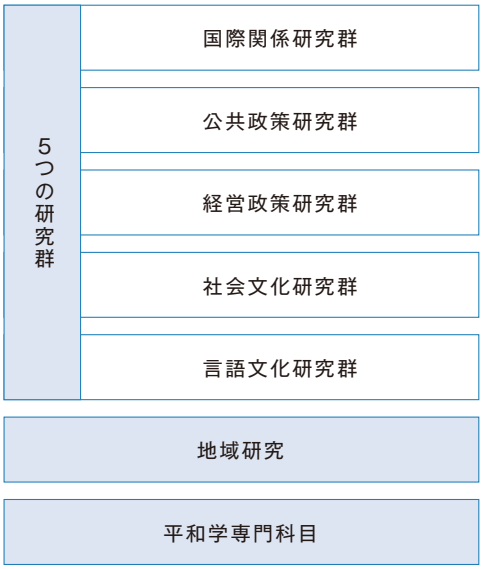
グローバル化やマルチメディア技術の普及とともに都市はますます不可視となってきました。機械化、ネットワーク化する都市は、他方で生命体としての人間のエコロジー回帰を促してもいます。そもそも都市とは何だったのか、歴史の原点に遡り、かつ未来都市を構想しつつ、また視野を広く地球規模に広げて、世界に知られる都市広島においてこそ論じなければならない、21世紀の都市像とそのデザイン方法について実践事例や現地見学を含めて講じます。

国際学研究科

国際学部での学びは、国際学研究科（大学院）に進学することで、より高度な研究へと発展させる、あるいは実務的に活躍するためのスキルを磨くことができます。国際学研究科には博士前期課程（2年間）と、博士後期課程（3年間）があります。博士前期課程（修士）では、修士論文か課題研究報告書のいずれかのコースを選択して、「修士」の学位を取得することができます。修士論文を選択した場合、さらに博士後期課程での研究を続けて、「博士」の学位取得を目指すことができます。博士前期課程（修士）では、5つの専門研究群において近年の研究成果を取り入れた高度な専門研究を行うとともに、地域研究や平和研究など領域横断的な分野でも研究を深めることができます。これらの学修を通して、国際社会が抱える諸問題をより深く理解し、実践的に貢献できる人材の育成をめざしています。

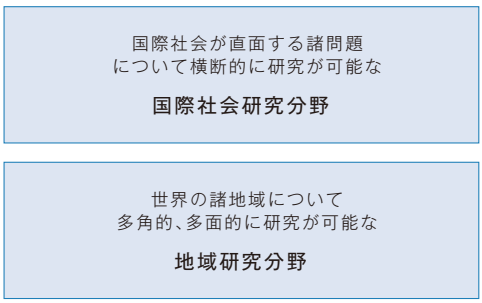
■博士前期課程

国際学研究科の博士前期課程では、5つの研究群、地域研究、そして平和学を学ぶための科目があります。
5つの研究群の内訳は、国家、民族、国際組織、NGOなどの動きを観察する「国際関係研究群」、公共関連組織、民間企業、NPOなどの役割・機能について考察する「公共政策研究群」、経営知識、理論、実践の学修を目指す「経営政策研究群」、文化の相互交渉と個人間の相互行為から人類社会を分析する「社会文化研究群」、そして、言語と文化や社会の幅広い関わりに多様な視点から迫る「言語文化研究群」があります。地域研究では、既存の学問、またはそれを横断する視点から地域を観察します。また、平和学を学ぶためのコア科目やピース・インターンシップなども用意されています。以上の研究群、地域研究、または平和学専門科目から所定の科目と、全研究科共通科目、専門基礎科目などを学んだ上で修士論文等を作成し、それが認められれば修士（国際学、学術、または平和学）の学位が授与されます。



■博士後期課程

博士後期課程では、博士前期課程と比べてさらに専門性が高く、高度な教育、指導を受けながら研究を進めます。そのために博士後期課程では、歴史、理論、政策の基本的な3領域を念頭に、包括的な2つの専攻研究分野で教育課程が編成されています。それらは、国際社会が直面する諸問題について横断的に研究が可能な「国際社会研究分野」と、世界の諸地域について多角的、多面的に研究が可能な「地域研究分野」です。
博士後期課程においても、所定の科目の単位を取得し博士論文が認められれば、その内容に応じて、博士（国際学、学術、または平和学）の学位が授与されます。



情報科学研究科

情報科学研究科は、21世紀の「情報技術」の先端的専門分野・情報科学と諸学問との学際分野において柔軟な発想と開発力で貢献する人材養成が目標です。そのために、創造性、自立性を養う自主プロジェクト演習など、科学技術の高度化と多様化に対応したカリキュラムを編成しています。情報科学研究科における人材育成の目標は以下の4つです。

1 コンピュータおよびネットワークについて深く、広い知識を身に付けるとともに、コンピュータとネットワークの両者が融合した新たな情報環境の創出を担える人材	2 知能ソフトウェアや知能メディアに基づいた高度な知的情報システムの研究開発能力を持った人材
3 広範な価値観のもとでシステム全体の高機能化と協調を図る広い視野を持った研究開発能力を身に付けた人材	4 分野間研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓する問題発見・解決型能力を持った人材

■博士前期課程

情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、医用情報科学専攻の4つの専攻からなり、①コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用、そして次世代のコンピュータとネットワークを創生する能力、②知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理を理解し、それをシステム化する能力、③人間、コンピュータ、機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力、④さまざまな分野間の研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓できる問題発見・解決型能力、⑤自主プロジェクト演習を通し、自ら独創的研究を計画推進できる実践能力を養うとともに、独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力、企画力、判断力さらに国際的視野を身に付けた人材を養成します。

全研究科共通科目、専門基礎科目などを学んだ上で修士論文を作成し、それが認められれば修士（情報工学または情報科学）の学位を取得できます。

■博士後期課程

情報工学系、知能情報科学系、システム科学系、医用情報科学系の4つの系から構成され、以下のような教育・研究を行っています。

- 情報工学系：次世代の情報科学の技術的基礎となるハードウェア・ソフトウェア開発やネットワーク工学の教育・研究
- 知能情報科学系：人間の知的活動の原理を解明し、情報処理の高度知能化や人間とコンピュータの協調を目指した教育・研究
- システム科学系：複雑化・巨大化するコンピュータシステムの統合技術や計測・制御技術の専門的分野の教育・研究
- 医用情報科学系：情報科学および医用生体工学に関連する学際融合分野における専門的教育・研究

前期課程と同様に所定の科目の単位を取得し博士論文が認められれば、博士（情報工学または情報科学）の学位が授与されます。

芸術学研究科

芸術学研究科は、高度な文化芸術の創造・発展に貢献することを理念とし、美術、デザイン、工芸に関する卓越した創作・研究能力を培い、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たす、理論を踏まえた高度な専門性を有する人材を養成することを目的としています。芸術学研究科は、人材育成の目的を達成するため、次のような特色を持った教育・研究を行っています。

1 古典研究を重視しつつ現代の視点に立って、伝統的な文化芸術を継承・発展・創造する専門的人材を育成する教育・研究を行っています。

2 新しい素材や技法への研さんを深め、電子メディア社会に即した先端表現を推進する教育・研究を行っています。

3 現代社会に対応する芸術領域の研究として、創作への深い理解に基づいた理論や歴史の教育・研究を行っています。

4 理論の習熟を基にした創作を探究し、創造表現およびその応用に必要な高度な技術と理論の教育・研究を行っています。

5 地域文化振興と国際文化交流等、社会における文化芸術の振興において指導的な役割を果たすことのできる人材を育成する教育・研究を行っています。

■博士前期課程

博士前期課程では、美術、デザイン、工芸に関する幅広い知識と高度な技術、深い感性を体得させ、その基礎となる豊かな学識を養うことにより、将来、作家、デザイナー、教育者、研究者、学芸員（キュレーター）、ギャラリストなどの領域において指導的な役割を果たすことができる、幅広い視野と高度な表現力を持った人間性豊かな専門家を養成することを目標としています。

■博士後期課程

博士後期課程では、芸術に関する高度な創造・表現の技術と理論を研究し、芸術文化に関する幅広い識見を有する芸術家および研究者を育成します。他領域との融合を重視し、学際的な識見を持ち、円満な人格と豊かな人間性に貫かれ、併せて時代に対応する創造性豊かで国際的視野を有する人材を養成することを目的としています。

平和学研究科 平和学専攻[修士課程]（2019年4月設置）

本学は世界で最初の被爆地である広島の地に設立された総合大学として、1998年4月に附置研究機関である広島平和研究所を設置し、核兵器の廃絶に向けた学術研究を進めるとともに、世界平和の創造・維持、地域社会の発展に貢献することを目指して、平和に関する学術研究に取り組んでいます。
このたびの平和学研究科設置は、平和学をはじめ国際政治学、国際法学、国際関係論の関連する専門領域の分析手法を修得し、その上で、現実の諸問題を専門的かつ総合的に分析する能力を有するプロフェッショナルな人材を養成することにより、平和創造および平和維持に貢献することを目的とするものです。

■研究科の概要

●養成する人材像

❶ 国際関係の仕組みおよび政治・ガヴァナンスの基本構造と人間の安全保障との関連を洞察できる能力を持ち、同時に、紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案できる研究者

❷ 平和創造および平和構築に向けた国際公共政策の立案・策定に貢献できる国際公務員、国際NGO・NPOの職員、および公共政策・国際関係の実務に携わる国家公務員・地方公務員

❸ 今日の国際紛争およびグローバル問題などさまざまな事象を鋭くかつ科学的に分析する手法を修得し、市民社会や国際社会に向けて平和創造の視点から発信する力を有するジャーナリストおよびマスメディア専門家

●取得できる学位：修士（平和学）
●修業年限：2年
●入学定員：10名

■カリキュラムの特色

本研究科開設科目は、核戦争の脅威と悲惨さを学び、その上で、戦争と平和の歴史、およびこれまで人類が開発してきた平和創造の手法を修得することを目指します。これらを系統的に修得するため、開講科目を「研究基礎科目」、「平和の理論」および「グローバル／リージョナル・ガヴァナンス」の3つの科目区分で構成し、それぞれの科目区分をさらに小さな科目群に区分しています。

研究基礎科目

「分析・接近法」では現代社会の基本的な分析手法を学び、「広島と核」ではヒロシマの歴史と使命に基づき、被爆体験を軸としながら核の脅威を学びます。

科目区分		授業科目の名称
研究基礎科目	分析・接近法（5科目）	平和学、グローバル・ガヴァナンス論、現代社会と平和、現代国際法と平和、日本国憲法と平和主義
	広島と核（5科目）	核と歴史Ⅰ、核と歴史Ⅱ、被爆の記憶、核文化論、グローバル・ヒバクシャ

平和の理論

国際政治学や国際法学を中心とした平和理論の関連科目から構成され、基本的アプローチとともに、グローバル化時代の諸問題の解決に有効な分析アプローチを学びます。

科目区分		授業科目の名称
平和の理論	平和と軍縮 （4科目）	軍縮国際法、核軍縮と核軍備管理、国際人道法、科学と平和
	平和の創造 （6科目）	戦争裁判と国際刑事裁判、安全保障論、平和構築論、グローバル・コミュニケーション論、 ジャーナリズム論、平和思想と平和運動

グローバル／リージョナル・ガヴァナンス

アジア、特に東アジア地域研究の関連科目を中心とした科目から構成され、現代アジアの国際関係の構造および政治・ガヴァナンスの基本構造と人間の安全保障との関連を洞察することができる視座と分析能力を養います。

科目区分		授業科目の名称
グローバル／ リージョナル・ ガヴァナンス	地域と平和 （6科目）	東南アジアの紛争と協力、韓国・北朝鮮外交と核問題、現代中国の政治と外交、 現代中央アジアの政治と外交、日本の近現代史、日本の平和・安全保障政策
	国際機構と平和 （4科目）	国連論、国際組織と国際制度、地域機構と平和・安全保障、予防外交論

※修士課程修了後さらに高度な専門性を磨けるよう、博士後期課程の2021年設置を目指しています。

広島平和研究所

Hiroshima Peace Institute

広島平和研究所

Hiroshima Peace Institute

広島市立大学に広島平和研究所が設立されたのは1998年4月のことです。当研究所は、被爆地・広島で平和を模索し、平和を創造するための学術研究機関として重要な役割を担っています。なぜ戦争は勃発するのでしょうか。なぜ核兵器の廃絶ができないのでしょうか。なぜ世界各地で武力紛争が絶えず、多くの人々が貧困に苦しんでいるのでしょうか。なぜ平和であっても、多くの国で政府は国民を虐げ、人権を侵害するのでしょうか。平和と人間の安全保障とは、いったいどのような関係にあるのでしょうか。

平和創造にも人間の安全保障にも、多くの課題があり、さまざまな障害が横たわっています。こうした疑問の解明に取り組むことが広島平和研究所に課せられた使命です。そして得られた平和研究の成果を学生たちとも共有しています。

平和外交を展開してきたはずの日本なのに、その日本を取り巻く東アジアの国際関係は、今日、世界でもっとも緊張する地域の一つであり、これまで以上に平和創造は喫緊の課題として私たちに突きつけられています。

平和創造と人間の安全保障の実現には、政治と外交が重要な役割を果たします。その政治と外交を動かすのは、まさに皆さんの平和観であり、学術的に裏打ちされた見識です。広島市立大学でわれわれとともに平和について学びませんか。

広島平和研究所長 吉川 元

●国際平和文化都市広島の「知」の拠点

世界初の核兵器による被爆を体験した「広島」の地に生まれた総合大学として、本学では、世界平和の創造・維持、地域社会の発展に貢献することを目指し、附置研究機関である広島平和研究所を設置しました。平和に関する学術研究を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、世界平和の創造に取り組んでいます。

●市民、そして世界への情報発信

広島平和研究所の活動状況は、随時ウェブサイトやニューズレターなどにより世界に向けて情報発信しています。研究成果は、「国際シンポジウム」や「フォーラム」および「連続市民講座」等の開催や、紀要『広島平和研究』、『広島平和研究所ブックレット』等の出版物、論文などにより市民に広く公開しています。

●学部への参画

本学の学部教育では、「平和研究Ⅰ/Ⅱ」、「広島・長崎講座」として開講している「平和と人権A (ヒロシマと国際平和)」、「広島からの平和学:実践の方法」、「平和インターンシップ」、「国際化時代の平和」、夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」、「HIROSHIMA and PEACE Fall Seminar」、そして「歴史学」、「法学(日本国憲法)」の各講義を研究所教員が担当しています。

担当科目紹介

◎広島からの平和学:実践の方法

広島における平和の取り組みは、被爆体験を出発点としつつ、世界の多様な課題にも目を向けてきました。本講義は、広島の平和の取り組みに関する一定の基礎知識や関心を持つ2年生以上を対象とし、広島の経験を生かして平和活動を実践するための具体的な方法論を学ぶことを目的としています。広島平和文化センター主催の市民向け平和講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携し、被爆体験の継承や平和の実践活動を行っている学外の専門家から学びます。最終レポートでは、自ら参加可能な実践活動案に関する提言をまとめます。

◎平和インターンシップ

広島市周辺に存在する広島平和記念資料館、広島市郷土資料館、広島市現代美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題をより多角的に学びます。本インターンシップは、「広島からの平和学:実践の方法」の後期日程でも実施します。

◎平和研究 Ⅰ/Ⅱ

広島平和研究所教員による国際学部向けのオムニバス形式の講義です。[Ⅰ]では、現代の世界において平和を創造するために何が求められているのかを学問的に追究するために、平和研究に関する基本的な概念や枠組み、方法論を修得するとともに、当分野における問題点、課題などを学びます。広島・長崎をはじめとして戦争体験に根差している地域の視点を主眼に据えつつ、国家から個人に至るさまざまなレベルから平和を創造するためのアプローチを考察していきます。[Ⅱ]では、平和および紛争研究の具体的な事例について、広島平和研究所各教員の研究成果を参考にしながら学び、現代の国際社会が直面する課題について考えます。

附 属 施 設
Facilities

附属図書館　附属図書館長 塩田 芳丈(特任教授)

図書約33万冊、雑誌約400誌、視聴覚資料約1,700タイトルをコンピュータで集中管理。必要な所蔵資料をスピーディーに手に入れることができます。館内には無線LAN環境が整備されており、Web情報や所蔵資料を活用しながら学習することもできます。また、ラーニング・コモンズ「いちコモ」では、ディスカッションもでき、多様な学習や交流に役立つ場となっています。地域にも開放された、多彩な空間を持つ図書館です。

語学センター

語学センター長 渡辺 智恵(国際学部教授)

各教室にCALL(コンピュータ支援による言語学習)システムを備え、英語や第二外国語の授業が行われるとともに、eラーニングを利用した自学習型英語授業「CALL英語集中」や「eラーニング英語」の教室としても利用されています。自習室では、約4,600点の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK語学講座のテキストやCDが利用可能です。語学センター入口のランゲージラウンジは、ホワイトボードやソファを備え、リラックスした雰囲気で外国語での会話や交流を楽しむ場として利用されています。

情報処理センター

情報処理センター長 石田 賢治(情報科学研究科教授)

高性能なネットワーク通信機器を備え、さまざまなネットワークサービスを提供しています。実習室にはパソコンを約160台設置し、「一般情報処理科目」等の教室や自習スペースとして活用されています。教育環境は仮想化されており、自宅のパソコンや学内の貸出パソコンなど実習室以外でも実習室内と同じ環境が利用できます。実習室以外では、学内のあちこちでメールやWeb閲覧ができる無線LAN、休講・補講情報が確認できるデジタルサイネージ、他大学の講義が受講可能となる遠隔教育設備も整備しています。
なお、2019年夏に学内ネットワーク機器や実習室の機種更新を予定しています。

国際交流推進センター

国際交流推進センター長 松本 良徳（特任教授）

学生の海外留学派遣および留学生受入に関わる企画・広報・実施・相談などのサービスの提供に加え、国際化の面から大学の教育や研究の活性化を広範にサポートする活動に取り組んでいます。また、グローバル人材育成に向けても、熱意のある学生を親身に応援する体制を充実させ、将来を切り開いていこうとする学生を後押ししていきます。

キャリアセンター

キャリアセンター長 井上 智生（情報科学研究科教授）

学生自らがキャリア（進路）について考え行動できるように、求人情報などの就職関連情報を随時提供することに加え、就職支援セミナーの実施や企業の採用担当者を多数招く「大学説明会」の開催など、さまざまな支援を行っています。また、経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しており、随時個別相談に応じ、模擬面接やエントリーシートの添削を行うなど、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧に支援しています。

芸術資料館

芸術資料館長 藁谷 実（芸術学部教授）

教育・研究のための参考資料として、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチほか、国内外の作家の作品を収蔵しています。また、研究成果としての作品群「光の肖像」シリーズ、デザイナーズチェア67点など、幅広い分野の収集を行っています。企画展や研究発表展の開催、国内外の美術館への作品貸出により、コレクションを一般に公開しています。学生は授業や展覧会でこれらの作品を鑑賞することにより自らの制作に生かし、創作の水準を上げるよう努力しています。

県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

社会連携センター　社会連携センター長 竹澤　寿幸（情報科学研究科教授）

広島市立大学では、教育や研究だけでなく社会貢献にも積極的に取り組んでいます。その対象は、地域住民、地元企業、広島市をはじめとする行政機関などさまざまです。社会貢献活動の中心的役割を果たす「社会連携センター」は、大学と社会、人と人とをつなぎ、国際、情報科学、芸術、平和のそれぞれの分野で活躍する教員や学生の成果を社会に還元するための取り組みを行っています。主な取り組みとしては、産学連携・地域連携の推進、知的財産の管理と活用、学生の社会貢献活動の支援、公開講座などがあります。また、2015年度から文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」を実施しています。

産学連携研究発表会

パソコンなんでも相談室2017

◎社会連携センターが支援する産学連携・地域連携の取り組み事例

研究成果の産業界への還元を通じた社会貢献

研究成果の社会還元を推進するため、企業等と連携した共同研究や技術相談を実施しています。

- 産学連携研究発表会
- 共同研究・受託研究の促進
- 企業等からの技術相談

行政や市民団体との協働による社会貢献

地域住民や広島市と協力しながら地域の活性化を目指します。

- 行政課題解決への協力
- NPO、市民等との協働事業
- 生涯学習支援
- 大学と行政の協働による創造的な文化芸術活動や地域交流等
- 基町プロジェクト活動拠点施設「M98」での地域再生事業

知的財産の管理と活用

知的財産の権利化、管理、技術移転を行います。

公開講座の開催

市民を対象としたさまざまな公開講座を開催します。

- 一般市民向けの講座、中学・高校生向けのサマースクール、社会人向けの技能講座
- 県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

◎2017年度公開講座

学部	区分	テーマ
国際学部	一般向け講座	アメリカ大統領と広島·核兵器ートルーマン·オバマ·トランプー
	市大英語eラーニング講座	リーディング·リスニング·文法プログラム　小学校英語教育指導者養成プログラム スピーキングプログラム　通訳ガイド養成プログラム ライティングプログラム
情報科学部	高校生対象講座	高校生による情報科学自由研究
	社会人対象講座	講演会 ●ひろがるスカスカデータの応用　●ロボット技術の現状と将来 ●安全で快適なインターネットを影で支えるシステムについて
芸術学部	一般向け講座	日本画、油絵、版画、彫刻、漆造形、現代表現
	中·高校生向けサマースクール	日本画、油絵、彫刻、デザイン工芸
	社会人向け工芸·版画技能講座	金工、染織、版画、漆

◎2017年度県立広島大学·広島市立大学連携公開講座

言語を通じて世界を知る	●新語·流行語からみる現代中国の教育 ●親日台湾の光と影～時間と国境を超える日本語 ●日本語から見える世界ー国字を通してー ●「サファリ」と「モラン」の21世紀:「野生の王国」ケニアの将来を考える
ひろしま学を考える	●宮島参詣:近世·近代を中心に ●庶民食の深層ー食文化としてのお好み焼を考えるー ●外国人が見た明治·大正時代の宮島 ●「光の肖像」展とは何か

◎2017年度市大生チャレンジ事業

学生が自ら選定した課題や地域などから提案されたテーマに基づき実施する社会貢献活動に対し、活動費の一部を助成しています。

テーマ	内容
市大生によるパソコンなんでも相談室2017	大学で学ぶ情報科学の知識を、市民や社会に還元するとともに、学生自身のコミュニケーション能力を向上させる。
広島の中学·高校生を対象としたプログラミング教室	コンピュータの仕組みやプログラミングについて知ってもらい、将来を担う立派なIT技術者を教育することを目的とする。
広島県の学生を対象としたビジネスコンテストの開催	イノベーションにおける広島県の学生のレベルを向上させ、地域創生に貢献することを目的とする。
ヒロシマピースキャンプ2017	平和記念式典に参加する国内外の来訪者のための臨時キャンプサイトを運営する。

芸術学部の学生らが竹を素材として制作・展示した「大塚竹林バイオニアプロジェクト」でのライトアップセレモニーの様子

地域に貢献する広島市立大学

広島市の公立大学として、地域と共生し、市民の誇りとなる大学を目指している本学は、
研究・教育等を通じて、地域貢献につながるさまざまな活動を行っています。

市大英語
ｅラーニング講座

独自のｅラーニング英語学習システムを利用し、「リーディング·リスニング·文法」「スピーキング」「ライティング」「小学校英語教育指導者養成」「通訳ガイド養成」の各プログラムを学習する市民対象の自習型講座。特に、地域の社会人にとって、英語の「学び直し」の機会となっています。

市大生による
パソコンなんでも相談室

情報科学部の学生たちがボランティア講師となり、地域のパソコン初心者の方を対象に、ワード·エクセルなどのソフトの使い方からSNSやスマホに関する質問まで、パソコンに関するさまざまな相談にのっています。地域の人たちから喜ばれているだけでなく、学生自身の勉強にもなっています。

「光の肖像」展

芸術学部美術学科油絵専攻の教員と学生·卒業生たちが、広島の被爆者の方たちを取材し、肖像を描いて展示する研究プロジェクトです。被爆者やその二世·三世の肖像を描くことで、風化しつつある被爆体験と失われつつある絵画芸術の価値と意味を問いかける展覧会となっています。

動物園ラッピングトラム

芸術学部の学生が、アストラムラインのラッピングデザインを行いました。広島市安佐動物公園で取材を行い、飼育されている動物（31種類）や足跡を配した、明るく楽しいデザインとなっています。2015年7月から広島市内を運行し、「アサズーライン」の愛称で市民に親しまれています。

デザインマンホール

広島市からデザインを依頼され、本学芸術学部が制作しました。例えば、マツダスタジアム周辺地区に設置されているものは、カープ坊やをモチーフとし、広島らしさが感じられる紅葉を配しています。背景のストライプは、デザインした当時のカープのユニフォームの模様が意識されています。

お好み焼
ショートムービー

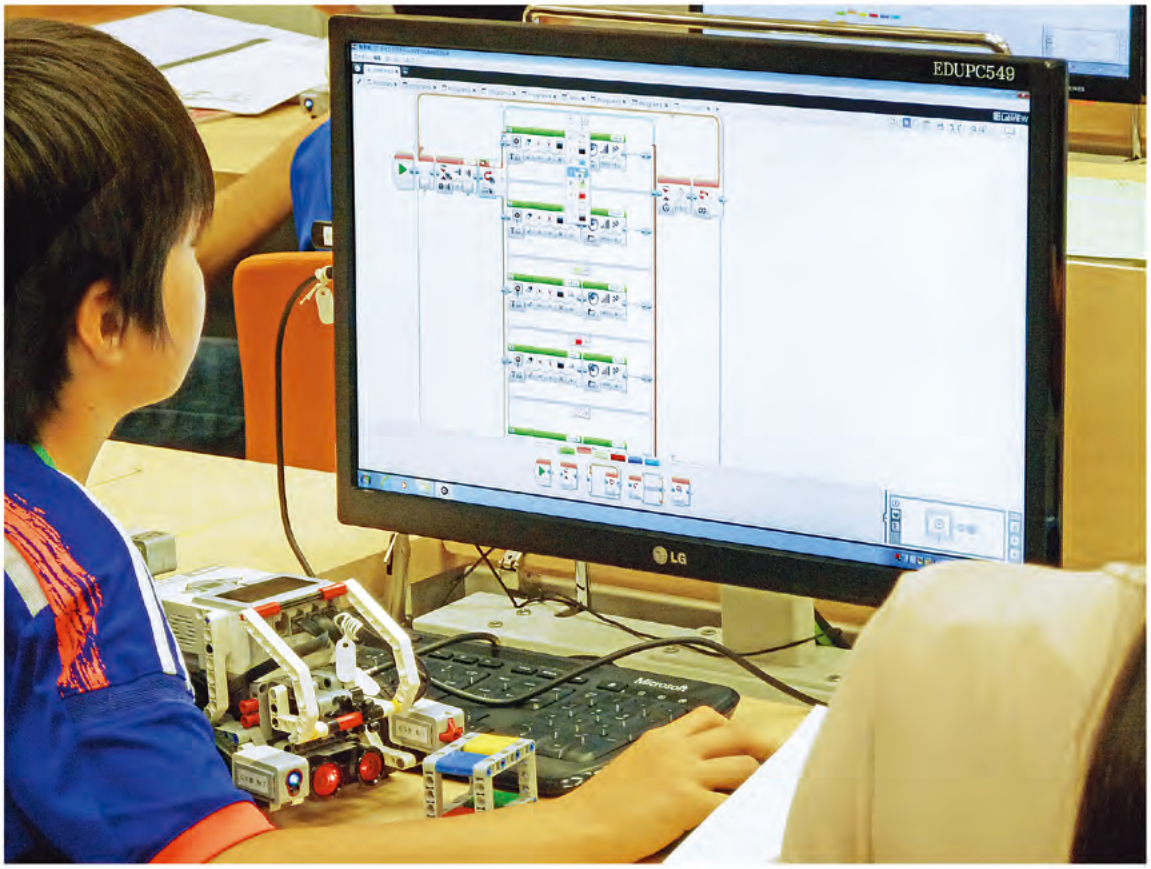
芸術学部デザイン工芸学科·映像メディア造形分野の学生たちが、オタフクソース（株）とコラボレーションしてショートムービーを共同制作。オタフクソース（株）が全国から募集する「お好み焼の思い出エッセイ」の作品をベースに、学生たちがそれぞれの表現で映像作品化しました。

空店舗を活用した現地活動拠点「M98」

基町プロジェクト

大学生・小学生・地域の方々とのコラボレーションによる「クリスマス・ディスプレイ」

「基町プロジェクト」は、2013年7月に広島市が地元住民と連携しながら策定した「基町住宅地区活性化計画」に掲げている「基町アートロード、アートによる魅力づくり」の実現を目指す取り組みです。若者が主体となった創造的な文化芸術活動や地域交流を通じて、まちの魅力づくりや、基町住宅地区の活性化を目的とします。実施に当たり広島市立大学と中区役所が連携し、2014年度から試験的な活動を開始し、「基町プロジェクト～施策展開を図っていくための方向性と基本コンセプト～」を策定しました。2015年度よりこの基本コンセプトに基づいて、長期的な目標を見据えたプロジェクト活動に取り組んでいます。また、本プロジェクトは、広島市が2015年に被爆70周年を迎えるに当たり、被爆100周年を見据えて実施する「まちづくり先導事業」の1つに選定されました。プロジェクトでは、地域に〈学び〉、〈創造〉、〈交流〉の3つの場を創出することを柱として、さまざまなプログラムに取り組んでいます。



プログラミング等を学ぶ講座の様子

ひろしまコンピュータサイエンス(CS)塾

情報科学部の教員が中心となって指導に当たり、児童・生徒および保護者を対象として、情報科学になじんでもらうことを目的とした特別教育プログラムです。数学や理科はもちろん、さまざまな分野の学問が結び付いた「情報科学」を基礎の積み上げにより理解することは容易ではありません。そこで、小学5年生の段階から保護者と一緒に、プログラミングやロボット制御などの実験や実習を体験しながら、高度で発展的な情報科学の知識や技術に触れる機会を提供しています。科学(Science)・技術(Technology)・工学(Engineering)・芸術(Arts)・数学(Mathematics)の頭文字からSTEAM教育と呼ばれる先進的な取り組みを、本学のさまざまな特性を最大限に生かしながら実施しています。

安芸太田町のたたら製鉄文化を学び、作品を制作する「たたらプロジェクト」

COC+

文部科学省に選定された「地(知)の拠点大学」として COC＋事業で地域社会に貢献

地域の創生や活性化には若い世代の力が不可欠です。公立大学である本学は、地域に定着し貢献する学生を育成していくことが、これまで以上に重要な使命となっています。2015年度に、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC＋)」の実施校に選定され、地域が必要とする人材を育成するプロジェクトを進めています。本学が中心となって、広島地域の大学等8校と協働し、広島広域都市圏の市町に尾道市を加えた25の自治体や地域の企業と連携したコンソーシアム(協議会)を形成して事業を行っています。COCはセンター・オブ・コミュニティの略称です。まさに地域の拠点的な大学として位置付けられる存在となっています。

学生の地域志向マインドを育て 地元で活躍する人材を送り出す

学生が地域に定着するには、市や町の魅力や課題に触れる中で、この地域に暮らして自己実現が可能だと思えることが前提になります。そうしたマインドを育むためには、地域志向型の教育プログラムにより、学内での講義はもちろんのこと、地域の現場に出向いてさまざまな活動を経験することによって、地域への理解や学習を深めていく必要があります。このため、2016年度から新しいカリキュラムとして、COC＋「地域貢献特定プログラム」を設け、広島の観光学や地域再生論入門、地域課題演習・地域実践演習などの科目群を整えました。また、参加大学等と協働した教育研究事業として、芸術学部による各地域でのアートプロジェクトを進めているほか、2014年度から広島市と取り組んでいる、基町プロジェクト事業との連携を図っています。COC＋教育研究施設として、宮島に町家を活用した「サテライトハウス」も設けました。さらには、地域の観光振興に寄与するため、「観光関連データベース」を構築して、観光情報学をはじめとした教育研究に活用したり、学生と地元企業を結び付けるインターンシップ等の強化も進めています。こうした取り組みにより、この地域への愛着と認識を深め、ネットワークの形成力や企画力を持ち、専門性を効果的に発揮できる人材の輩出を目指しています。

北広島町筏津地区での現地滞在型アートプロジェクト

サテライトハウス宮島を活用した染織造形による空間インスタレーション

安芸高田市での「地域課題演習」

大学が連携して観光の研究活動発表会を開催

「観光情報学」の講義

広島市立大学COC+
地(知)の拠点大学による地方創生推進事業

文部科学省 地(知)の拠点

●COC+参加大学等 9校が連携

◎広島市立大学 ◎広島経済大学 ◎広島修道大学
◎広島大学 ◎広島工業大学 ◎安田女子大学
◎尾道市立大学 ◎広島国際大学 ◎広島商船高等専門学校
（協力校：比治山大学）

●対象地域は、広島広域都市圏の市町と尾道市の25自治体

地域に定着し貢献する人材の育成

●育成を目指す人材像

地域の特性や標題を理解している	ネットワークを形成、調整できる	総合的視野から企画できる	専門性を効果的に発揮できる

広島を「知る」「感じる」「問う」「挑戦する」

事業テーマは、地域の観光振興・活性化

●広島市立大学COC＋の人材育成のための取り組み

①地域志向の教育カリキュラムを実施
広島の観光学、地域再生論入門、地域課題演習など多彩に開講

②観光関連データベースの構築
集積した観光情報を教育研究や観光の振興に活用

③参加大学等が協働し教育研究事業を実施
学生による各地でのアートプロジェクトや地域活動など

④インターンシップの強化
地元企業の魅力を知る機会を増やす取り組みなど

▼ ▼ ▼ ▼

学生の地域内就職率の向上を目指す

キャンパスライフ

Campus Life

学生座談会

テーマ
「大学生活について」

国際、情報科学、芸術、各学部の学生3人それぞれの視点で、
各学部の学びや特徴、大学生活、広島市立大学の魅力について語ってもらいました。

情報科学部
医用情報科学科 4年
野間 颯斗さん
広島県立広高等学校出身

国際学部
国際学科 4年
横田 直人さん
呉市立呉高等学校出身

芸術学部
美術学科 日本画専攻 3年
松川 華子さん
愛知県立西尾東高等学校出身

―広島市立大学を選んだ理由は？

野間　情報科学部を選んだのは、数学が得意でもっと学びたかったのと、情報科学という分野は全く知らなかったけど、情報化社会の中で学んでみたいと思って決めました。情報分野の知識がなくて大変な時期もあったけど、少しずつ積み重ねてその後の専門分野の研究に生かされていると思います。今後は研究室で医療分野を研究していこうと思っています。

横田　僕は高校時代に英語が得意で、海外に興味を持ち始めてから海外で働きたいという思いがありました。英語や人文などの学部は多いけど国際学部というのはあまりないのですが、それが広島にあって、平和についても深く学べて、国際的に活躍するための土台が築けると思いました。国際学分野の範囲はすごく幅広いけど、将来海外で働くためにという思いで。

松川　元々美術の授業が好きで、地元の美大で卒展を見て日本画に魅力を感じたことがきっかけで日本画専攻を選びました。先生の画風が自分に合っていて、この先生に付いて学びたいと思いました。

―サークル活動やアルバイトは？

横田　1～2年の時にフットサルとHIF（Hiroshima City University International Friendship）っていう国際交流のサークルに入っていたけど、留学準備のためにアルバイトにシフトして、ひたすら資金を貯めました。

野間　高校はクラスで友達をつくることができるけど、大学はクラスがないからサークルは友達をつくる上でもいい場所ですよね。

松川　サークルは一瞬だけ（笑）。制作に追われて参加できなくなって。友達づくりとか他学部との関わりを求めて入っ

たんですけど。カメラスタジオで週2くらいでアルバイトをしています。

野間　僕はサッカーサークル。サッカーをやっていたのもあるし、メンバーも多かったのでここで友達をつくろうかなと。

横田　3学部が一緒になれば、話題が広がりますよね。僕はイタリアンのキッチンでアルバイトしていました。厳しかったけどいろいろ勉強になりましたね。料理もだし、同時にいくつものことをこなすとか。今となってはいい経験だったと思います。

―学びの内容は？

野間　情報科学部は最初はプログラミングや情報科学に必要な数学、あと英語も必修です。1年生の時は必修ばかりでつらいと思っていたけど、2年生以降の講義で、1年生で学んだことが出てきて、大事なことだったんだなと。プログラミングは僕は全く初めてで周りはできる人ばかりなんだろうなと思っていたけど、意外と初めての人も多くて、協力し合える人に教わったりして、思っていたより入りやすかったですね。

松川　芸術学部は専攻によって全然違います。日本画の場合、今は絵巻物の模写とか。1年生の時は彫刻の先生の手伝いで小豆島に行って、みんなで自炊しながら巨大な彫刻作品を作りました。チェーンソーで木を削って。自分から進んでいろんなプロジェクトに参加しています。

横田　国際学部は5つのプログラムがあるんですけど、専門に特化せず広く学べるのが良さでもあります。だから自分の武器として英語はもちろん中国語など語学に軸をおいて、そこから必要なものを学んでいきたいと思っています。平和とか文化とかいろんなものを学んでいく中で、経済とかビジネスとかマーケティングなどにもつながっていくんですよね。たとえば中国と日本は経済や文化で関わっているし、一見つながっていない5つのプログラムが語学という1つの軸を作ることによってつながってきたなって実感し始めたところです。

松川　留学する人は多いんですか？

横田　そうですね。いろいろな国に。人数が少ないので横のつながりが強くて、誰が何をしたっていう情報がすぐに入るから刺激し合えるというか。国際は男子がすごく少なくて、120人のうち男子が20人くらいなんです。

松川　国際が一番男女比率の偏りが少ないと思っていました。芸術は女子が、情報は男子が多いイメージ。日本画の3年生は12人のうち男子は4人しかいません。

野間　医用情報科学科は3分の1くらいは女子だと思います。意外に女子がいるなっていう印象でしたね。

―入学前と入学後のギャップは？

横田　大学って講義を「受ける」イメージだったけど、先生との距離が近い。学生同士のディスカッションとか思ったよりアットホームというか。インプットだけじゃなくて自分から発していく授業が思った以上に多かったのが良かったですね。

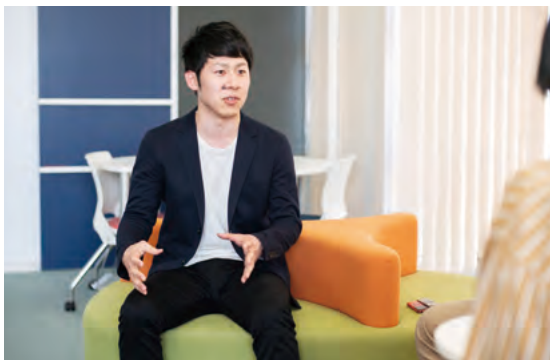
野間　大学って自由なんだろうなと思っていたけど、時間割を決める時、必修科目が多くて、サークルや部活に入ったらもっと忙しい。アルバイトしたらなおさら。

―大学生活の中で特に印象に残っていることは？

横田　国際学部のメインといっても過言ではない夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」に参加しました。いろんな国の学生が平和記念式典の前後にひたすら平和と原爆とヒロシマについて議論するんです。広島で生まれ育った自分とほかのみんなとでは考えが違うので、新しい価値観に触れられます。違いすぎる意見も受け入れて違いを認め合うことが大事だと身をもって感じました。それまでなんとなくみんなと違わないように過ごしてきた価値観が、いい意味でぶちこわされた瞬間。違っていいんだって。これまでの大学生活で一番の学びでしたね。

松川　英語で議論するんですか？

横田　英語ですけど、上手く表現できないこともあって思うように主張できないのが課題。でもそういう場に出ていくチャンスがあるのが国際学部の良さ。もちろん議論が全てじゃなくて、遊んで、国境を越えて人とつながることが一番重要。



野間　貴重な体験ですね。僕は特徴的なことではないけど、講義を聴くよりも実験で自ら作業して身をもって体験したことは頭に残っているし、後々生かされています。プログラミングを何度もやり直すとか、苦労したことは嫌でも残りますね（笑）。

松川　私は大学祭以外にも自分の作品を展示する機会があって、お客さんが来てくれて、絵を褒めてくれて、名前を覚えてくれるとか、全く知らない人が自分の絵をいいなって思ってくれたのがすごくうれしかった。それをきっかけにもっと頑張ろうって。

―各学部のイメージは？

横田　芸術は個性的なイメージ。

野間　国際は英語がペラペラ。

松川　外国人と歩いているイメージで、いろんな国に行く。

横田　確かに旅行好きな人が多い。僕も結構行きましたね。東南アジアを回るとか。おなかをこわして衰弱したこともありましたけど、今では笑い話ですね（笑）。

野間　自分も海外に行きたいけど英語力に自信がなくて。

横田　英語は大事だけど、気持ちって伝わるので大丈夫。

松川　私は春休みに初海外でフランスに。言葉は全く分かりませんが何とかなりました。観光とスケッチと美術館見学。

野間　情報はパソコンを使って何かする人は多いですね。3Dを使って何かするとか、ゲームをするとか。

―将来は？

野間　医用ロボット研究室に所属しているのですが、大学院に進んで研究を重ねて、医療分野で貢献できるような人材になりたいと思っています。市大に入る時も医用情報科

学科ができたのを知って興味を持ちました。

横田　僕は国際学部で学んだ知識と経験を土台にグローバルに活躍したい。今就活中なのですが、グローバル企業を探しています。自分が主体的に取り組むことができて、いろいろなことにチャレンジできる企業に入りたいですね。英語も中国語も、どんなに堪能でも所詮は単なる手段。人とつながるために使ってこそ意味があると思っています。あと、広島出身なので、広島で育ったからこそ伝えられることを、どんどん世界に発信したい思いはあります。スケールが大きいけど（笑）。

松川　4年間では自分のやりたいことは達成できそうにないので、大学院に進学して、自分なりにアピールできるものを見つけたいと考えています。将来はまだ模索中です。

―これから入学する人たちへのメッセージ

野間　自分もそうでしたが、情報科学に詳しい人ばかり入学するのではないかと不安を感じて志望を諦めるのではなくて、興味を持ったらぜひ来てほしい。プログラミングなどは初めての人がむしろ多いし、一から教えてくれるので大丈夫です。

横田　海外に興味があるとか国際交流したいとか英語が好きとか、まずは気持ちが一番大事。具体的に何がしたいかは大学に入ってからの話です。大学はやりたいことを探す場でもあるので。大学の国際交流推進センターの職員の方はとても優しいし、交換留学や短期留学などについていろんなアドバイスをくれるので、きっとやりたいことを見つけて実現できると思います。

松川　芸術は入学した時点で専攻は決まりますが、ほかの専攻の人たちと関わることができるし、みんないろんなことをしているので、気になるプロジェクトにどんどん飛び込んでいけばそれが自分のためにもなります。先生も熱心に相談に乗ってくださるので「あれがやりたい！ これがやりたい！」と意欲があればいろいろサポートしてくれるのが、この大学のいいところだと思います。

国際学生寮

国際学生寮 さくら

大学の国際化およびグローバル人材育成施策の一環として、日本人学生と外国人留学生が共同生活を行う国際学生寮「さくら」を2018年4月に開寮しました。

◎人材育成コンセプト

国籍の枠を超えた寮生が共同生活を行うことで、グローバルな視野を持ち、対人関係の構築や多様性を受入れ共感する力に優れたタフな人材を育成します。

◎入寮対象者

国際交流や外国人学生との共同生活に対する関心・意欲の高い学生（日本人研究生および科目等履修生を除く）、海外学術交流協定大学からの特別聴講学生が対象です。自宅の所在地や経済状況に関わらず入寮できます。

◎寮教育

居住機能に加え、教育的な視点をふんだんに取り入れた学生寮です。共同生活を行う中で、また、多目的室や共用キッチンなどを活用し、学生役職者（リーダー）を中心として、多様な教育プログラムや交流プログラムを実施していきます。

ユニット個室

ユニット共用部

1　寮生

⑴　教育プログラム［日常生活の中で自然と学ぶ「隠れた教育」の実施］

- ●日本人学生と外国人留学生との共同生活
- ●日常会話における母語以外の語学学習
- ●国際学生寮生活規則遵守による秩序ある寮内生活
- ●当番制による寮内の定期清掃・ごみ出し・巡回等
- ●各種寮内会議による寮運営
- ●寮運営・交流プログラム等の企画および積極的な参加　など

⑵　交流プログラム

- ●異文化交流・国際理解（例：各国の料理パーティー、国別の催し事など）
- ●日本文化理解（例：お花見・節分などの季節行事、茶道・書道などの文化体験）
- ●外国語学習（例：母語を教え合うピアティーチング）
- ●歓迎会・送別会　など

2　寮生以外

⑴　教育プログラム

- ●英語・第2外国語などを集中的に学ぶ短期宿泊プログラム
- ●異文化理解プログラム
- ●広島平和文化センター等と連携した平和学習プログラム　など

⑵　交流プログラム

- ●夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」参加者との交流
- ●海外から短期で来る学生との交流プログラム　など

◎寮生活をリードする学生役職者

寮生が楽しく快適な寮生活を送ることができるよう、先輩学生として、寮生を取りまとめて自律的な寮運営をリードする学生役職者がいます。学生役職者には、リーダーシップやストレスマネジメント、AED講習などの学生役職者研修プログラムを受講してもらっています。

学生役職者「私たちがサポートします」

広島市立大学塾

広く社会を見つめ、知識を習得し、感性、教養を培い、そして体験する。そのようなチャレンジが、自ら考え、判断し、行動する力を養います。社会における自らの役割を認識した新しい時代を担うリーダーの育成を目指し、授業とは異なる多様なテーマのプログラムを実施しています。

1　プログラムの内容

＜定期プログラム＞

身近なテーマについて、やさしく、しかし深く考える場となることを目指して、塾長、副塾長、行政やNGOなどの現場で活躍する方をゲストに、講義・講話や関連図書・映像等の紹介、ディスカッションなどを行います。

定期プログラム研修風景

◎参考：2017年度広島市立大学塾定期プログラム（2017年10月～2018年1月）

日時	テーマ
10月4日	開塾式
10月11日	リーダーについて考える　－宇宙飛行士選抜試験から－
10月18日	大学について考える　－東京大学と広島市立大学の創設から－
10月25日	社会の安全について　－犯罪から見える社会－
11月1日	AMDAの活動を通じて　－AMDA ネパールの活動現場から－
11月8日	社会のセーフティネットについて　1
11月15日	社会のセーフティネットについて　2
11月22日	NPO、NGOの現場から　－里親活動から－
11月29日	ルワンダ留学を通じて　－『自ら考え、行動する』私なりの実践－
12月6日	地方創生ビジネス最前線　－広島のポテンシャルと未来創造－
12月13日	映画の世界から伝えたいこと
12月20日	広島駅前にてホームレスへの支援活動参加
1月10日	一杯のコーヒーから世界が見える　－消費者行動の社会への影響－
1月17日	現代社会と宗教について
1月24日	「市大塾の前半を振り返って」および「沖縄研修事前研修」

＜その他のプログラム＞

定期プログラム前半の総括として、2月～3月に沖縄研修プログラムを実施します。（2017年度は、2月に3泊4日で沖縄の平和関係施設、基地などを視察しました。）

また、塾生は1年間の自らの学びの総括として、各々テーマを設定し、夏季休業期間も活用して調査、視察等を行い、それを報告書としてまとめます。

この他、能、神楽などの伝統芸能鑑賞会や希望者による映画鑑賞会なども実施します。

沖縄研修

2　塾生の募集

例年5月～6月に次期塾生を募集しています。知的好奇心を持ち、学ぶ意欲の旺盛な皆さんの応募をお待ちしています。

探そう「私」の広島三ツ星

数多くの名産や名所、季節の催し、そして広島を拠点に活躍するプロ選手たち。
広島はさまざまなジャンルの魅力で溢れています。
ここでは、地元の方も県外からの方も楽しむことのできる
広島の魅力を紹介します!

広島のお祭り FESTIVAL
フェスティバル

広島3大祭りである、「とうかさん」「住吉祭」「えびす講」以外にも、
アジアで唯一のアニメーションフェスティバルや、日本最大級のパレードなど数多くのイベントが開催されている。

とうかさん

広島市中区にある圓隆寺の総鎮守である「稲荷大明神」のお祭り。毎年6月の第一金曜日から3日間開かれる。広島の初夏を告げるお祭りで、浴衣の着初め祭りとされている。

フラワーフェスティバル

1975年のカープ セ・リーグ優勝パレードを機に毎年開催されるように。平和大通りおよび平和記念公園周辺をメイン会場に、花車のパレードやよさこいパレードなどが開かれる。

広島国際アニメーション フェスティバル

アジアで唯一のASIFA公認のアニメーションフェスティバル。世界4大アニメーションフェスティバルの一つで2年に1度、8月に広島で行われており、本学の教員も委員として、企画・運営等に携わっている。

広島
3大プロ

PROFESSIONAL

プロフェッショナル

プロフェッショナル（広島3大プロ／P3HIROSHIMA）
広島が誇る広島交響楽団・サンフレッチェ広島・広島東洋カープの3大プロが、“PRIDE（誇り）” “PASSION（情熱）”
“PROSPECTS（期待）”の3つのPのもとに力を結集し、さまざまなコラボレーション活動を継続的に展開している。

広島交響楽団

1963年に「広島市民交響楽団」として発足。1972年のプロ改組以来、国際平和文化都市“広島”を本拠地とする、中・四国を代表するプロオーケストラ。

©2018 S.FC

サンフレッチェ広島

1992年設立。「サンフレッチェ」は、日本語の「三」と、イタリア語で矢を意味する「フレッチェ（frecce（複数形））」を合わせたもので、毛利元就の「三本の矢」の故事にちなんで付けられた。

広島東洋カープ

原爆投下により壊滅的被害を受けた広島の復興をスポーツでも盛り上げていこうと1949年設立。広島城のことを「鯉城」と呼んでいたことなどから、「広島東洋カープ」というチーム名に。

広島の
食文化

GOURMET

グルメ

中国山地に囲まれ、瀬戸内海をつつむように位置する広島。
山と海の両方から恵を受けて、牡蠣をはじめとした、たくさんの名産品が生産されている。

広島レモン
〈全国生産量1位〉

瀬戸内の温暖で雨の少ない気候はかんきつ類の栽培に適しており、その中でも広島県のレモンは呉市、尾道市、大崎上島町などの島しょ部を中心に生産され、日本一の生産量を誇っている。

広島カキ
〈全国生産量1位〉

広島湾は島や岬に囲まれ、波が静かで潮の流れも適度にあり、高品質で安心・安全なカキの生育に良い条件がそろっている。殻付、剥き身を含め、全国出荷量の約6割を占めている。

お好み焼き
〈人口1万人当たりの店舗数全国1位〉
〈ソース消費量全国1位〉

お好み焼き店舗数は現在、広島市内に約900店舗、広島県内においては約1,700店舗もあり、広島の食文化として定着している。

広島の交通機関

PUBLIC TRANSPORT

交通機関

およそ100年の歴史を持ち、いまも広島を走る路面電車や、
新交通システムと呼ばれる「アストラムライン」など、歴史と現代の交通機関が調和している都市。

路面電車
（年間輸送人員、車両数全国1位）

1910年に広島電気軌道として開業。以来、100年以上広島市内を中心に運行が続いている。2013年には、年間輸送人員と車両数が全国1位となる。

日本初の国産乗合バス
「かよこバス」（横川～可部間）

1905年2月5日に日本で初めての国産乗り合いバスとして横川～可部間で運行が開始された。2004年に復元した際には本学の教員も制作に携わった。

アストラムライン
（新交通システムの営業キロ全国1位）

日本語の「明日」に英語の「トラム（電車）」を組み合わせて、路線を意味する「ライン」を加え、アストラムラインという愛称に。新交通システムとしての営業キロ数全国1位。

広島の特産品

LOCAL SPECIALTIES

特産品

広島県には多くの伝統工芸があり、被爆を乗り越えいろいろな技術を脈々と現在に伝えている。
さらに特産品で特に優れたものは「ザ・広島ブランド」として認定されている。

熊野筆
（毛筆、化粧筆、画筆の出荷額全国1位）

広島県安芸郡熊野町で作られている「熊野筆」。職人の手によって一つずつ丁寧に作られている。

宮島細工
宮島杓子・宮島彫り・宮島轆轤細工
（しゃもじ生産量全国1位）

江戸時代の終わり頃、厳島神社建設のために、鎌倉・京都から宮大工や指物師が招かれその技術の流れを工芸品としてくんだことが始まり。1982年に伝統的工芸品として国から指定を受けた。

広島針
（手縫い針生産量全国1位
縫針：国内生産量100％）

製造の歴史は遠く三百数十年前、広島藩藩主の浅野家が下級武士の手内職として普及させたことが始まり。手縫針、待ち針の全国生産量の9割以上を占める最大の針の産地となっている。

COC+エリア

ART & OUTDOOR LEISURE

アート & アウトドアレジャー

Q「COC+エリア」って？

本学では、文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC＋）」により、広島・山口両県にまたがる25市町を「COC＋エリア」（事業協働地域）として、「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付いて、その発展に貢献する人材」の育成を進めています。広島市立大学の「COC＋エリア」には、にぎわいのある都市部をはじめ数多くの観光地、瀬戸内海や中山間地の自然や田園など、たくさんの魅力があります。「こんな所があるんだ！」「今まで知らなかった！」など、気になる場所をどんどんチェックして、お気に入りの場所を見つけてみませんか？

COC+エリアの美術館

1 ウッドワン美術館
マイセンやゴッホ、ルノワールなどを収蔵。隣接する温泉・スキー場なども魅力。

2 泉美術館
日本近代の洋画、日本画、中国陶器、彫刻、古美術、木彫などを落ち着いた空間で堪能。

3 ひろしま美術館
フランス印象派を中心にゴッホ・モネ・ルノワール・ピカソなどの巨匠の作品を常設で展示。

4 広島県立美術館
広島にゆかりのある画家の作品を中心に収蔵。隣接する縮景園の四季折々の景観も楽しむことができる。

5 広島市現代美術館
デザイン・建築・映像などの作品も積極的に収集した、現代美術の総合的な美術館。

6 東広島市立美術館
日本の近現代版画、現代陶芸を柱にし、郷土ゆかりの作家の作品も多数収蔵。

7 蘭島閣美術館
日本の近代絵画を中心に収蔵している、本格的木造建築の美術館。

8 たけはら美術館
竹原出身の池田勇人元内閣総理大臣が愛蔵していた「池田コレクション」などを収蔵。

9 耕三寺博物館
耕三寺耕三氏が母の菩提寺として建立したお寺の一部を博物館として公開。

市大生は鑑賞無料

《美術館キャンパスメンバーズ制度》

学生により多くの芸術作品に触れてもらうことを目的に、「広島県立美術館」および「ひろしま美術館」のキャンパスメンバーズ制度に加入しています。本学の学生は、学生証の提示でこれら2つの美術館の常設展・特別展（広島県美術展を除く）を**無料で鑑賞**することができます。

広島県立美術館

ひろしま美術館

10 平山郁夫美術館
広島出身の画家、平山郁夫の貴重な少年時代からの絵画やスケッチなどを展示。

11 尾道市立美術館
しまなみ海道を一望できるロケーションで、芸術・文化に接することができる空間。

12 和木町立和木美術館「アート・ウィング」
絵の展示だけではなく、家族向けのイベントも開催。

13 岩国美術館
戦国時代から幕末までの武士の武具や武家の生活を彩ってきた芸術品などを収蔵。

14 平生町歴史民俗資料館
遺跡や古墳が多い平生町で発掘された縄文時代の遺物が数多く展示。

15 久賀歴史民俗資料館
町の伝統文化を後世にも伝えていくため、町民が使っていた民具などの資料を展示。

など

広島県は比較的温暖な気候で、年間を通じて晴天が多く、スポーツに適した環境です。
瀬戸内海沿岸では海水浴やマリンスポーツ、サイクリングなど、北部ではキャンプ、スキー、スノーボードなどアウトドアレジャーが楽しめます。

COC+エリアのスキー場

1 スノーフィールドもみのき森林公園
広くて、なだらかな傾斜のゲレンデ。
初心者や中級者に最適のスキー場。

2 女鹿平温泉めがひらスキー場
スキー場に、温泉・宿泊施設が隣接。
最長滑走距離2,300mのロングコースが特徴。

3 恐羅漢スノーパーク
西中国山地国定公園。冬はスキー、
夏はキャンプなど1年を通じて楽しめる施設。

4 芸北国際スキー場
天然雪のスキー場。
西日本最大級の広さを誇る。

5 ユートピアサイオト
日本最大級の人工造雪設備。
雪不足の心配なく、西日本最速でオープン。

COC+エリアの海水浴場

1 包ヶ浦海水浴場
世界遺産・宮島の中にあり、歴史文化と自然を
一度に体感することができる。

2 県民の浜海水浴場
「日本の渚百選」「日本の水浴場」にも選ばれた
すばらしい景観を持つ。

3 大久野島海水浴場
うさぎ島でもある大久野島の豊かな緑と
うさぎに囲まれたきれいなビーチ。

4 瀬戸田サンセットビーチ
海水浴場のほか、キャンプ場などの施設が充実。
夕日スポットとしても有名。

5 片添ヶ浜海水浴場
山口県内で最も早く海開きする海水浴場。
環境省選出の「快水浴場百選」にも認定。

6 逗子ヶ浜海水浴場
青少年旅行村の中にある海水浴場。
キャンプやサイクリングなども満喫できる。

入学式（4月）

市大キャンパスウォーキング（4月）

交換留学生とのパーティー（4月）

ごみゼロ・クリーンウォーク（6月）

七タライブ（7月）

オープンキャンパス（8月）

HIROSHIMA and PEACE（8月）

大学祭（10月）

芸術学部卒業・修了作品展（2月）

卒業式（3月）

卒業・修了祝賀会（3月）

Campus Calendar

キャンパスカレンダー

4月

- 春季休業（～4月上旬）
- 入学式
- オリエンテーション
- 情報科学部
  新入生オリエンテーションセミナー
- 市大キャンパスウォーキング
- 前期・第1ターム授業開始
- 交換留学生とのパーティー

5月

- 第1ターム定期試験

6月

- 第2ターム授業開始
- ごみゼロ・クリーンウォーク
- プレ・オープンキャンパス（17日）

7月

- 七夕ライブ
- 前期・第2ターム定期試験

8月

- HIROSHIMA and PEACE
- オープンキャンパス（5日）
- ホームカミングデー（11日）
- インターンシップ（～9月下旬）
- 夏季休業（～9月30日）

9月

10月

- 後期・第3ターム授業開始
- ライブキャンパス（8日）
- 通学路等クリーンキャンペーン
- 大学祭（27日、28日）

11月

- 第3ターム定期試験
- 防火・防災訓練の日
- 第4ターム授業開始

12月

- 冬季休業（～1月上旬）

1月

2月

- 後期・第4ターム定期試験
- 学年末休業（～3月31日）
- 芸術学部卒業・修了作品展

3月

- 西風新都駅伝大会
- 卒業式、卒業・修了祝賀会

※2018年度のカレンダーです

Support 大学生活サポート

学生の皆さんが安心して大学生活を送れるように、大学としてさまざまなサポートを行っています。

1 経済面をサポート

●特待生制度

2年次以上の学部生を対象として、成績優秀で、かつ他の学生の模範となる学生に対して1人当たり年額200,000円の奨学金を給付する特待生制度があります。2年生から4年生の各学年10名の学生を特待生として選考し、奨学金を給付します。

●奨学金制度

本学では「日本学生支援機構奨学金」をはじめ、自治体や民間団体などさまざまな奨学金を扱っています。日本学生支援機構奨学金は、大学に在学する優れた学生で経済的理由により修学に困難がある者に対して学費を貸与・給付するもので、無利子の「第一種」と、有利子の「第二種」があります。どちらも、出願者の中から、学力、人物、家計等を総合的に判断して、本学が日本学生支援機構に推薦します。また、自治体や民間団体などの奨学金で、大学を通して募集するものは、随時掲示して周知しています。

●授業料奨学融資利子補給制度

経済的な不安を抱える学生を支援するため、金融機関と提携し、授業料の融資を受けた学生に対し、在学中の利子を補助する制度を設けています。

●入学料・授業料等の減免・徴収猶予

入学前1年以内に被災した場合などの一定の要件で、入学料等の減免を受けることができます。(入学手続までにご相談ください。)また、「経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合」には、授業料の減免または徴収猶予を受けることができます。

2 生活面(住居)をサポート

●学生寮「もみじ」

キャンパス内に学生寮があり、自宅からの通学が困難な学生や民間アパート等への入居が経済的に困難な学生のために提供しています。
学生寮は4棟からなり男女48室の個室を整備しています。入居期間は2年間で、毎年、男女各20名程度の新入生が入居しています。使用料は月額5,900円(共益費年額1,000円、光熱水費の実費は別途徴収)で、管理人も常駐していることから、経済的で安心できる居住スペースとして人気があります。また、1階はバリアフリーとなっており、車いすで生活している方も安心して寮生活を過ごせます。

●国際学生寮「さくら」

2018年4月に大学の国際化およびグローバル人材育成施策の一環として、日本人学生と外国人留学生が共同生活を行う学生寮「さくら」を新設しました。自宅の所在地にかかわらず、国際交流や留学生との共同生活に対する関心・意欲の高い学生に入寮を許可します。「さくら」では6人定員のユニットで日本人学生と外国人留学生とが共同生活をします。ユニットには6人それぞれの個室と6人が共用するラウンジ、キッチン、トイレ、シャワーなどの設備があり、「さくら」全体で16ユニットを整備しています。入居期間は日本人学生1年間、外国人留学生2年間で、使用料は月額20,000円(共益費年額1,000円、光熱水費の実費は別途徴収)です。学生役職者になると、入居期間を1年間延長することができます。

3 課外活動をサポート

クラブ・サークル活動費や備品整備費、大学祭などの学生主催イベント経費をはじめ、学生が企画・参加して留学生や外国人と交流する国際交流事業、自主研究活動や展覧会などを行うための経費を大学後援会から助成しています。また、ボランティア情報も随時提供しています。毎年6月には、市内一円で行われるごみゼロ・クリーンウォークに大学として参加したり、秋には通学路等クリーンキャンペーンを実施したりするなど、幅広く活動機会を提供しています。その他、テントやクーラーボックスなどのキャンプ用品、ソフトボール用具やテニス用具などの運動用具等の無料貸出も行っています。

4 心身の健康と安全・安心をサポート

心と体の両面から快適な学生生活を過ごすことができるように、さまざまな配慮をしています。学生の“癒しの場”にもなっている「保健室」ではケガや病気の応急処置と健康相談を、落ち込んだ時の“支え”になる「相談室」では心配事や悩みを聞いたり“自分探し”を手伝ったりする学生相談を行っています。また、セクシュアル・ハラスメントを含む、学内のハラスメントの発生防止を図るため、教職員10名をハラスメント相談員に任命し、苦情の申し出や相談に応じています。さらに、トレーニング方法などを体育教員がアドバイスする「スポーツ相談」も実施しています。他にも、通学中、授業中、またはクラブ活動中にケガをした場合などのために、傷害保険・賠償責任保険の加入手続きをしたり、個人ロッカーの無料貸出を実施したりするなどのサポートをしています。

バドミントン部紹介 Message

私たちバドミントン部は水曜日・木曜日・土曜日に楽しく活動しています。皆さん、バドミントンをしたことはありますか？スポーツセンター等でしたことがある人も多くいると思います。しかし、競技としてのバドミントンに触れたことのある方々は少ないかもしれません。部活でする競技としてのバドミントンでは、技が力強くまた華があり、今まで体感したことのないバドミントンに出会うことができます。これだけ聞くと競技としてのバドミントンは難しいように思えます。しかし、バドミントンを高校から始める人も少なくありません。つまり、バドミントンという競技は短期間で上達することが可能なスポーツの一つなのです！市大カップなどの試合を通してそれを実感できます！

市大バドミントン部は経験者・初心者・男女問わず大歓迎！また、部活には自分の都合に合わせて参加ができるので、気軽に参加したいと思う人にピッタリの部活となっています！ぜひとも体育館に足を運んでみてください！お待ちしています！

Clubs & Circles

クラブ & サークル

クラブ・サークルは、自分の可能性を広げるとともに新たな「つながり」をつくるきっかけにもなります。本学では、定番のクラブ・サークルに加えて、平和活動を行うクラブなど、ユニークなものも多数あります。学部学生の半数以上が大学公認のクラブ・サークルに所属しており、活発な活動を行っています。

Sports（体育系）

［クラブ］

- ●サッカー部
- ●ラグビー部
- ●硬式テニス部
- ●軟式野球部
- ●トライアスロン部
- ●剣道部
- ●男子バスケットボール部
- ●弓道部
- ●アーチェリー部
- ●バドミントン部
- ●バレーボール部
- ●陸上競技部
- ●ワンダーフォーゲル部
- ●水泳部
- ●合氣道部
- ●ダンス部
- ●女子バスケットボール部
- ●卓球部
- ●T.A.S（ソフトテニス）
- ●少林寺拳法部
- ●Olive（フットサル等）
- ●空手道部

［サークル］

- ●FC海人

［愛好会］

- ●ハンドボール同好会AMIGO

サッカー部

硬式テニス部

トライアスロン部

弓道部

アーチェリー部

陸上競技部

ワンダーフォーゲル部

バレーボール部

ラグビー部

合氣道部

ダンス部

空手道部

吹奏楽部紹介
Message

私たち吹奏楽部は、週2日、18時～20時に体育館近くのクラブハウス棟で活動しています。部員数は20名弱と少人数ではありますが、その分先輩、後輩関係なく仲が良いです。市大の吹奏楽部は吹奏楽コンクールなどの大会には出場しませんが、大学内で演奏会を開催しており、部員は演奏会に向けて日々練習しています。演奏会では一からすべて自分たちで企画・運営するので、成功したときの喜びはとても大きいです。夏休みには、毎年合宿を行っています。合宿では楽器の練習だけではなく、花火をしたり、バーベキューをしたりします。楽器を演奏するのは難しそうと思う人もいるかもしれませんが、先輩が丁寧に教えてくれるので大丈夫です。実際、大学から楽器を始めた部員もいます。男女比も半々くらいなので男子でも入りやすいです。

Clubs & Circles

クラブ & サークル

Culture（文化系）

[クラブ]

- 茶道部表千家
- 裏千家茶道部
- 自主制作映画研究会
- Music Art Club（軽音楽）
- 電子音楽部
- マンドリン・ギター部
- 吹奏楽部
- 演劇部
- Table Game 研究会
- 上田宗箇流茶道部
- CREATIVE（創作活動）
- マスコミ研究会
- ねっこ広島（環境ボランティア）
- Pret-a-Porter（ファッション）
- S2（平和活動）
- レゴマス部
- アカペラ部regalo
- HIF（国際交流）
- 天文研究会
- 落語研究会 落花生
- レゴマス部
- Bird's eye view（鳥瞰図）
- いちだい猫の会
- 版画部
- 市大書道部

[サークル]

- Sign（手話愛好会）
- にっこり
- 熊猫（パンダ）会
- 8bit（電子ゲーム）

[愛好会]

- プログラミング同好会
- 料理研究会

- 大学祭実行委員会

秋に開催する大学祭の
企画・運営をする組織です。

茶道部表千家

自主制作映画研究会

落語研究会 落花生

Music Art Club（軽音楽）

レゴマス部

マンドリン・ギター部

演劇部

上田宗箇流茶道部

CREATIVE（創作活動）

ねっこ広島（環境ボランティア）

S2（平和活動）

Sign（手話愛好会）

1 本部棟・国際交流推進センター・キャリアセンター・保健管理室
2 講堂
3 図書館・語学センター棟
4 学生会館
5 エネルギーセンター
6 芸術資料館
7 芸術学部棟
8 工房棟
9 講義棟
10 国際学部棟
11 情報処理センター
12 情報科学部棟
13 情報科学部棟別館・広島平和研究所・社会連携センター
14 体育館
15 グラウンド
16 トラック・フィールド
17 国際学生寮
18 学生寮

※キャリアセンターは2018年10月に講義棟へ移設する予定です。

講堂

壁面レリーフや舞台の緞帳などに芸術学部教員たちの作品を生かした、本学ならではの施設です。大小のホールと、国際会議も可能な同時通訳設備や大型スクリーンがあるなど、機能も充実しています。

保健管理室（保健室・相談室）

心身の健康上の悩みや相談に応じ、学生の「疾病の予防」と「健康相談」、「カウンセリング」を中心に健康の維持増進を図ります。

Campus Map
キャンバスマップ

喫茶

↑学生会館→
学生食堂、喫茶、そして売店などがあります。売店は2016年度にリニューアルオープンし、いちだいいちば（愛称「いちいち」）と命名されました。

学生食堂

↑国際学生寮「さくら」
居住機能に加え、教育的な視点も取り入れた寮です。自宅の所在地に関わらず、国際交流や留学生との共同生活に対する関心・意欲の高い学生が入寮しています。

↑学生寮「もみじ」
他県など遠方からの入学生に対して安価な住居を提供しています。1・2年生の男女100名弱が入居して共同生活を営んでいます。キャンバス内にある学生寮の1階はバリアフリーになっており、車いすの方でも安心して利用できます。

←体育館
バスケットコートが2面使用できるアリーナや、本格的なトレーニングルーム等を備えた施設です。授業やクラブ、サークル活動のほかにも、多目的な利用が可能です。

↑グラウンド、トラック・フィールド
全天候型のテニスコート4面と、野球、サッカーなどが可能なグラウンド、トラック・フィールドがあります。クラブやサークル活動以外でも利用することができます。

広島市立大学 サテライトキャンパス

所在地：広島市中区大手町四丁目1番1号
大手町平和ビル9階

本学の市内中心部における活動拠点機能強化と市民の生涯学習のさらなる推進のため、市内中心部にサテライトキャンパスを開設しています。セミナールームやＰＣルーム、小教室などを備えており、各種講演会、セミナー、公開講座を実施するほか、学生と地域住民との交流の場としても活用しています。

就　職

Careers

就　職
Careers

進路支援の2つのポイント

1 大学をあげての支援

学生のキャリア形成支援・就職支援は、文字どおりキャリアセンターが中心となって全学的に取り組んでいます。大学説明会・情報交換会、学内合同企業説明会の開催、大阪・東京・岡山方面の企業研究ツアーの実施、各種就職支援セミナーの開催、保護者対象の教育・進路説明会の実施など、さまざまな角度からの就職支援を、後援会と連携・協力しながら取り組んでいます。

2 きめ細かな個別指導

教員と学生の距離が近い本学は、就職支援でもその環境が生かされた細かなサポートを実現しています。キャリアセンターでは、就職活動だけでなく個別の進路相談に対応しています。志望や適性に沿って一人ひとりに合った指導を行い、キャリア形成を支援しています。

国際学部 国際学科4年
松浦　麻理

キャリアセンターを利用して

就職活動を始めたばかりの頃、私は自分の思いをうまく言葉にできず悩んでいました。相談できる場所を求めて、キャリアセンターに駆け込みました。面接練習でその旨をアドバイザーの方に伝えると、私の経験を丁寧に聞いてくださった後に、「いい経験を積んだんだから、自信を持って」と言ってくださいました。そこで、目の前がパッと明るくなった思いがして、面接でも自分の思いをぶつけられるようになりました。就職活動が進むにつれて、自分の進むべき道が分からなくなった時も、アドバイザーの方に親身になって相談に乗っていただきました。苦しいこともあった就職活動でしたが、キャリアセンターの先生方に何度も道を照らしていただいたおかげで、納得する選択をすることができました。就職活動で悩みができた際は、一人で悩まずに、ぜひキャリアセンターを利用してみてください。

情報科学部 システム工学科4年
飯草　健人

就職活動において多くの方々に助けていただきました。

私が広島市立大学に入学した理由は、高校時代野球部に所属していて親に資金面で迷惑をかけたので、国公立で、学費が比較的安く、家から通える所に行こうと思ったからです。そのため、入学当初もやりたいこともなく、就職活動を始めた際にも土日祝休みで福利厚生が良いという条件で探していました。
ただ、なんとなくの気持ちながら2月から就活対策を始めました。履歴書対策や面接対策、マナーの面までキャリアセンターの方々にお世話になり、顔を覚えられるくらい通い続けました。その対策の中、SEという職種に興味を持ち、正直プログラミングは得意ではありませんでしたが、お客様と相談しながら良いシステムを作り上げていくSEになりたいという気持ちが強くなっていきました。他にも就職している先輩方にその会社の雰囲気、履歴書をどのように書いたのか教えていただくなど10人以上の先輩方にアドバイスをいただきました。その甲斐あって第一志望に受かることができました！就職活動をするにあたって行動力とたくさんの方々の支えが重要だと感じました。助けていただいた分、何かあれば恩返ししていきたいと思っています。これからの一生が決まるかもしれない就職活動を悔いのないよう全力で取り組んでください！

芸術学研究科 造形芸術専攻2年
若狭　秀毅

キャリアセンターで自分に自信がつきました。

就職活動を始めたのが大学院１年生の2月で、それまで企業説明会やインターンシップへ参加したことがありませんでした。まず企業を調べ、エントリーシートを書き始めたのですが、志望理由として、大学での制作と企業で働く上での業務の関係性を書き起こすことができなくて悩んでいました。その時初めてキャリアセンターを訪れ、キャリアアドバイザーの方と相談して明確にすることができました。その後、模擬面接を受けに何度か訪ねるようになりました。模擬面接をすると最初は全く歯が立たず、入室から着席の一連の動作すらスムーズに行うことができませんでした。回数を重ねるにつれ動作がスムーズになり、自分が言いたいことを整理して答えることができるようになりました。今回企業にご縁を頂いたのも私一人の力ではなく、キャリアセンターの方々の支援あってこそだと思います。就職活動について悩んだり、分からないことがあれば迷わずキャリアセンターを利用することをお勧めします。

※学年は取材当時

■大学説明会・情報交換会

大学説明会では、約250社の企業の採用担当者を招待して、学生および教職員が一体となって本学の概要や各学部、研究科の特色などを紹介しています。情報交換会では、学内外で活躍している学生によるポスタープレゼンテーションや芸術学部卒業生・修了生作品のタペストリーの展示を通じて、学生の意欲や資質をPRしています。学生によるプレゼンテーションは企業の方から好評をいただいています。

■学内合同企業説明会

企業の採用担当者と学生の情報交換の場として実施しています。2018年3月には2019年3月卒業・修了予定の学生を対象に3日間で195社の企業の参加がありました。「市大生を採用したい」と熱望される企業ばかりで、毎年、この説明会の参加企業に多くの学生が内定し、就職しています。近年では本学卒業生が採用担当者として参加することが多くなり、人のつながりが広がっています。

■OBOG交流会

学内合同企業説明会の開催日に合わせて、昼食時間帯に学生と本学卒業生、教職員との情報交換の場として2017年度から実施しています。同世代の社会人の先輩と昼食をとりながら、就職活動へのアドバイスをいただいたり、仕事や社会人生活について本音で話し合ったりするなど、楽しく有益な交流の場となっています。
この場で築いた関係が継続し、「市大の絆」が広がっていくことを楽しみにしています。

■キャリア形成・実践科目

「キャリアデザイン」、「キャリアサポートベーシック」は、キャリア形成のための全学共通系科目です。進路や職業選択に向けて、大学で何を学び、大学生活をどう過ごせばよいかを考えながら、キャリアデザインを実現するため、特に働くことと就職に関わる具体的な知識・スキルを学びます。外部講師や卒業生を招いての講義も組み込まれています。他にも適職診断や礼儀・マナー講座などさまざまなセミナーを実施しており、これらが互いに連動して実践力を身に付けられるようになっています。

■キャリアデザイン

この講義では、ライフプランとして自分らしく生きる道を見つけていきます。ライフプランを考えることを通して、進路や職業選択に向けて、大学で何を学び、大学生活をどう過ごせばよいかということを見つけるための力をつけます。
グループワークやインタビューを通して、いろいろな考え方や生き方をしている人がいることを知り、夢や目標を持ち、それを実現するために必要な知識や考え方を学ぶことができます。社会で求められる、コミュニケーション力や課題解決能力等の「社会人基礎力」の養成にも取り組みます。

■キャリアサポートベーシック

働くことを中心に考えた人生設計を支援します。
卒業後の進路を適切に選択するための自己分析、企業研究、職業適性の手法を学ぶとともに、就職活動ならびに入社後の社会人としての礼儀作法、コミュニケーション能力などを身に付ける講義を行います。
単に就職することだけを目的とせず、受講生が自ら将来の目標設定・人生設計を行いながら、今学生としてやるべきことを意識し行動することができるような講義です。同時に、キャリアセンターから発信される、学内で開催されるセミナーやガイダンスならびに、就職支援情報を適切に活用する技能を身に付けることができます。

■就職支援パートナーシップ制度

本学は、「就職支援パートナーシップ制度」に参加しています。この制度は、在籍する大学がある地域とは異なる地域で就職（Uターン、Iターンなど）を希望する学生のために、各大学がサポート（地元の求人情報の閲覧、学内合同企業説明会の情報提供、就職相談、就職ラウンジの利用など）を行うものです。

パートナー大学

◎横浜市立大学　◎兵庫県立大学　◎信州大学　◎名古屋市立大学
◎北九州市立大学　◎大阪市立大学　◎都留文科大学
◎静岡県立大学　◎福井県立大学　◎国際教養大学

■インターンシップ

企業などで実習体験する「インターンシップ」をキャリア形成の柱の一つに位置付けています。単に体験するだけではなく、実習と事前セミナーや報告会とを組み合わせて実になるものを目指し、インターンシップ研修の充実や協力企業の開拓にも取り組んでいます。
また、広島市教育委員会と連携して、教員志望者を対象とした広島市立学校での実習体験活動も行っています。

～先輩の声～

国際学部
沖澤 みちるさん
実習先：在日米国総領事館 商務部
実習日数：5週間

私は、米国総領事館で5週間のインターンシップに参加しました。インターンシップでの業務内容は、スタッフの補助作業が中心でした。具体的な業務は企業リサーチやレポート作り、ミーティングへの参加やデータ収集等です。その他にも、イベント時には受付を、セミナー時には来客者のエスコートを行いました。
短い期間でしたが、ミーティングや日々の業務の様子から、職場に表れる日米の文化の違いや職場での振る舞い方を学ぶことができました。他にも、スタッフの方や他のインターンの学生、イベントでお会いした方から多くの刺激やアドバイスを頂きました。この体験は私の視野を広げるとともに成長していく上で有意義な時間となりました。

去年の8月14日から5日間、呉市役所のインターンシップに参加させていただきました。実習場所は主に大和ミュージアムで、学芸課での就業体験に加え、運営グループやボランティアガイドの同行を通じて、大和ミュージアムの運営をさまざまな角度から学ぶことができました。さまざまな体験をさせていただいた中で、館内案内の作成が特に印象に残っています。私の能力のおよぶ範囲内で計画を立てていったのですが、来館者の目線に立てておらず、独りよがりなサービスになってしまいました。初めから自分の限界を決めてしまうのではなく、来館者のニーズを踏まえて内容を考え、それを実現できるように最大限努める姿勢が大切であると痛感しました。
何を学ぶかは人それぞれだと思いますが、インターンシップで学んだことは必ずプラスになると思います。

国際学部
朝倉 有紀さん
実習先：呉市役所
実習日数：5日間

情報科学部
中川 裕也さん
実習先：㈱サタケ
実習日数：5日間

私は㈱サタケのインターンシップに参加させて頂きました。社員同士の交流が盛んで楽しそうに仕事をしている様子を見て、感銘を受けました。仕事は大変でマイナスなイメージしかなかったのですが、仕事に対する考え方が変わり、仕事を楽しめる企業があることにとても驚きました。自分が行きたい企業であれば、インターンシップはできるだけ参加した方がいいと思います。インターンシップに参加することは、会社の雰囲気や社員の方々の人柄など、説明会やパンフレットに載っていない情報を身をもって体験することができる数少ない機会です。また人事の方と仲良くなれるチャンスです。参加して損することはありません。ぜひ、1日でも1週間でもいいので自分が志望する企業のインターンシップに参加してみてください。

2017年度の主なインターンシップ実習先

呉市役所、周南市役所 、㈱A･I･C広島マネジメント（シェラトン） 、㈱KG情報 、(公財)広島平和文化センター、マツダ㈱ 、広島ガス株式会社、広島市立中央図書館、㈱マツダE＆T、新川センサテクノロジ㈱、㈱ハイマックス、㈱NTTファシリティーズ中国 、㈱ロジコム 、㈱良品計画、㈱エネルギア･コミュニケーションズ 、日本生命保険相互会社、NRIデータiテック㈱、㈱インタフェース 、ケイ･エヌ情報システム㈱ 、㈱広島情報シンフォニー 、中国四国管区行政評価局　ほか(順不同)

■キャリアセンターサポート体制

キャリアセンターでは、次のようなサポートを行っています。

◎就職・進路相談
◎求人票・会社説明会（セミナー）の案内
◎就職支援プログラム（ガイダンス）の実施
◎OBOGの紹介
◎履歴書・エントリーシートの添削
◎模擬面接の実施
◎就職活動報告書の閲覧
◎就職関係図書の閲覧・貸出

■キャリアアドバイザー

キャリアセンターには2名の経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しています。随時個別相談に応じ、模擬面接やエントリーシートの添削を行うなど、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧に支援しています。

■主なガイダンス・セミナー

キャリアサポートベーシック

4月	イントロダクション	11月	ビジネスマナー
5月	自己分析・適職診断		履歴書・エントリーシートの書き方
6月	適職診断解説	12月	面接対策
7月	キャリアデザイン	1月	まとめ
10月	就職活動準備		
	業界・企業研究		

その他のガイダンス・セミナー

4月	インターンシップ説明会	11月	OBOGの話を聞く
6月	保護者対象教育進路説明会	12月	グループディスカッション実習
	インターンシップ説明会事前セミナー		インターンシップ報告会
	「働く」を考える		人事担当者によるセミナー
8～9月	インターンシップ実習	1月	SPI模擬試験
10月	進路説明会	2月	模擬集団面接・グループディスカッション実習
	魅力ある企業の見方・見つけ方		合説の歩き方講座
	SPI模擬試験		

■保護者の皆さんへ

キャリアセンターでは、保護者対象の教育・進路説明会を毎年6月下旬に開催しています。また、後援会に加入している学生に対しては、後援会からの補助を受けて、学生の就職活動の支援を行っています。

■保護者対象教育・進路説明会

広島市立大学では、毎年6月下旬に保護者の方を対象とした「教育・進路説明会」を開催しています。二部制となっており、第一部では全学年の保護者の方を対象に説明会を開催し、第二部では各学部ごとに分かれ、3年生の保護者の方を対象に懇談会を開催します。本学の就職状況や学部ごとの就職先・進学など、卒業後の進路について本学の支援体制を含めて説明を行います。また、キャリアセンターの紹介や外部講師による講演も行っています。

第一部　教育・進路説明会

全学的な取り組みについてご紹介します。
【2017年度実施】
◎本学の教育・進路について
◎キャリアセンターについて
◎講演「就活サポート！保護者の皆さんに知ってほしいこと」

第二部　3年生保護者対象各学部懇談会

各学部別で学部特色の進路や取り組みについてご紹介します。
【2017年度実施】
◎学部の教育について
◎学部の進路、就職状況について
個別の相談も就職・キャリア担当の教員が応対しています（事前予約制）。

■市大業界ツアー（後援会加入者対象）

●交通費一部補助
インターンシップや会社説明会、選考試験などで遠方に行く場合に、交通費の一部補助をすることができます。

●大阪バスツアー・東京新幹線ツアー
大阪や東京などで開催される大規模な合同企業説明会に団体で参加します。首都圏に在住している卒業生を招いてOBOG懇親会も行い、就職活動へのアドバイスや首都圏での仕事、社会人生活などについて学生と交流を深めてもらいます。東京新幹線ツアーでは、東京に在住している卒業生を招いてOBOG懇談会を開催しています。卒業生とご飯を食べながら、就職活動のアドバイスや社会人生活について楽しく交流ができます。

2018年3月大学卒業者の学部別就職状況

区分	国際学部	情報科学部	芸術学部	合計
卒業者(名)	116	203	78	397
就職希望者(名)A	105	126	40	271
就職決定者(名)B	102	125	39	266
就職決定率 B/A×100(%)	97.1	99.2	97.5	98.2
(参考)進学者(名)	6	68	16	90

業種別就職状況

国際学部

- (A)建設業 4%
- (B)製造業 21%
- (C)情報通信業 8%
- (D)運輸・郵便業 4%
- (E)卸売・小売業 16%
- (F)金融・保険業 13%
- (G)不動産業 3%
- (H)専門・技術サービス業 2%
- (I)宿泊・飲食サービス業 3%
- (J)生活関連サービス業 3%
- (K)教育・学習支援業 5%
- (L)複合サービス業 2%
- (M)サービス業 11%
- (N)公務 7%

情報科学部

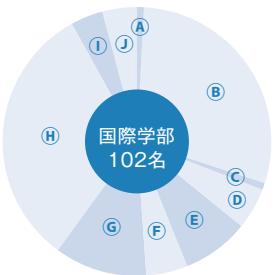
- (A)建設業 2%
- (B)製造業 16%
- (C)情報通信業 46%
- (D)運輸・郵便業 1%
- (E)卸売・小売業 6%
- (F)金融・保険業 3%
- (G)専門・技術サービス業 2%
- (H)サービス業 19%
- (I)公務 6%

芸術学部

- (A)建設業 8%
- (B)製造業 31%
- (C)情報通信業 10%
- (D)卸売・小売業 18%
- (E)金融・保険業 3%
- (F)専門・技術サービス業 26%
- (G)サービス業 3%
- (H)公務 3%

地域別就職状況

国際学部

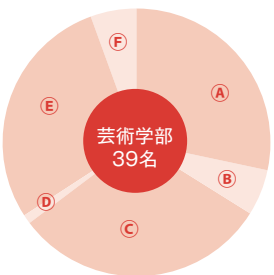


- (A)北海道 1%
- (B)関東地方 29%
- (C)北陸地方 1%
- (D)東海地方 5%
- (E)近畿地方 8%
- (F)中国地方 5%
- (F)広島県内 11%
- (G)広島市内 32%
- (H)四国地方 4%
- (I)九州地方 3%
- (J)外国 1%

情報科学部

- (A)東北地方 1%
- (B)関東地方 39%
- (C)東海地方 3%
- (D)近畿地方 15%
- (E)中国地方 2%
- (F)広島県内 9%
- (G)広島市内 29%
- (H)四国地方 2%
- (I)九州地方 1%

芸術学部



- (A)関東地方 26%
- (B)東海地方 5%
- (C)近畿地方 28%
- (D)広島県内 10%
- (E)広島市内 26%
- (F)九州地方 5%

国際学部

国際学部卒業生は、国際機関、企業、公務員、教員、国内外の大学院など、幅広い進路で活躍しています。

企業に就職

各プログラムから提供される専門科目、そしてそれらを複数のプログラムから選択して学修することにより、
専門性と幅広い視野を兼ね備えた国際学部の卒業生は、国内外の数多くの企業で活躍しています。

主な就職先（五十音順）

- アサヒビール㈱
- ㈱アシックス
- 味の素㈱
- イオン㈱
- ㈱伊予銀行
- 岩谷産業㈱
- ㈱ウッドワン
- ㈱エイチ・アイ・エス
- エーザイ㈱
- SMBC日興証券㈱
- ㈱NTTドコモ
- ㈱エフピコ
- 大塚製薬㈱
- オタフクソース㈱
- オリックス㈱
- ㈱オンワード樫山
- カルソニックカンセイ㈱
- 関西エアポート㈱（関西国際空港）
- キユーピー㈱
- ㈱共同通信社
- キリンビール㈱
- ㈱クボタ
- KDDI㈱
- コカ・コーラボトラーズジャパン㈱
- ㈱サタケ
- サノフィ㈱
- サントリービバレッジサービス㈱
- ㈱サンフレッチェ広島
- JFEスチール㈱
- ㈱JTB中国四国
- 重慶長安鈴木汽車有限公司
- ㈱商工組合中央金庫
- ㈱新潮社
- 新日鐵住金㈱
- 住友生命保険（相）
- 積水ハウス㈱
- セコム㈱
- 全日本空輸㈱（ANA）
- ソニー損害保険㈱
- ソフトバンク㈱
- 損害保険ジャパン日本興亜㈱
- 第一生命保険㈱
- 大陽日酸㈱
- 大和証券㈱
- 高砂熱学工業㈱
- 武田薬品工業㈱
- ㈱中国新聞社
- 中国電力㈱
- ㈱中電工
- ツネイシホールディングス㈱
- ㈱ディスコ
- 東海旅客鉄道㈱（JR東海）
- 東京海上日動火災保険㈱
- TOTO㈱
- 東洋ゴム工業㈱
- 西川ゴム工業㈱
- 西日本高速道路㈱（NEXCO西日本）
- 西日本電信電話㈱（NTT西日本）
- 日産自動車㈱
- 日本銀行
- 日本航空㈱（JAL）
- ㈱日本政策投資銀行
- 日本通運㈱
- 日本郵便㈱
- 日本アイ・ビー・エム㈱
- （一財）日本国際協力センター
- 日本生命保険（相）
- 日本放送協会（NHK）
- ㈱日本旅行
- 野村證券㈱
- バイエル薬品㈱
- パナソニック㈱
- バンドー化学㈱
- 広島アルミニウム工業㈱
- 広島エフエム放送㈱
- 広島ガス㈱
- ㈱広島銀行
- 広島信用金庫
- 広島テレビ放送㈱
- 広島電鉄㈱
- ㈱広島東洋カープ
- （公財）広島平和文化センター
- 広島放送㈱
- ㈱ヒロテック
- ㈱百十四銀行
- ㈱ファーストリテイリング
- ㈱フジクラ
- 富士ゼロックス㈱
- 富士通㈱
- ㈱船井総合研究所
- ㈱プリンスホテル
- マツダ㈱
- ㈱ミカサ
- ミズノ㈱
- ㈱みずほフィナンシャルグループ
- 三井住友海上火災保険㈱
- ㈱三井住友銀行
- ㈱三越伊勢丹
- 三菱重工業㈱
- 三菱UFJ信託銀行㈱
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱
- ㈱明治
- 明治安田生命保険（相）
- ㈱もみじ銀行
- ㈱モルテン
- ㈱リクルートホールディングス
- ㈱リコー
- ㈱りそな銀行
- リョービ㈱
- ㈱ワールド

公務員・教員

広島を中心に、公務員や教員として活躍している卒業生を多数輩出しています。

主な進路は、広島県内では

●広島市 ●広島市教員 ●広島市消防局 ●廿日市市 ●東広島市 ●福山市 ●三次市 ●三原市 ●広島県 ●広島県警察本部
●広島県教員

また、広島県外では

●岡山県 ●倉敷市 ●岩国市 ●東京都教員 ●香川県 ●警視庁 ●外務省 ●厚生労働省 ●国土交通省 ●防衛省 ●法務省

など多岐にわたっています。

大学院に進学

より専門的な学修や高度な研究を目指す卒業生は、大学院に進学しています。

博士前期課程を修了した卒業生は、企業、国際機関、教育機関などで活躍しています。

また、博士後期課程に進学して大学教員として活躍している卒業生もいます。

他者と出会い、広がる世界

日本放送協会

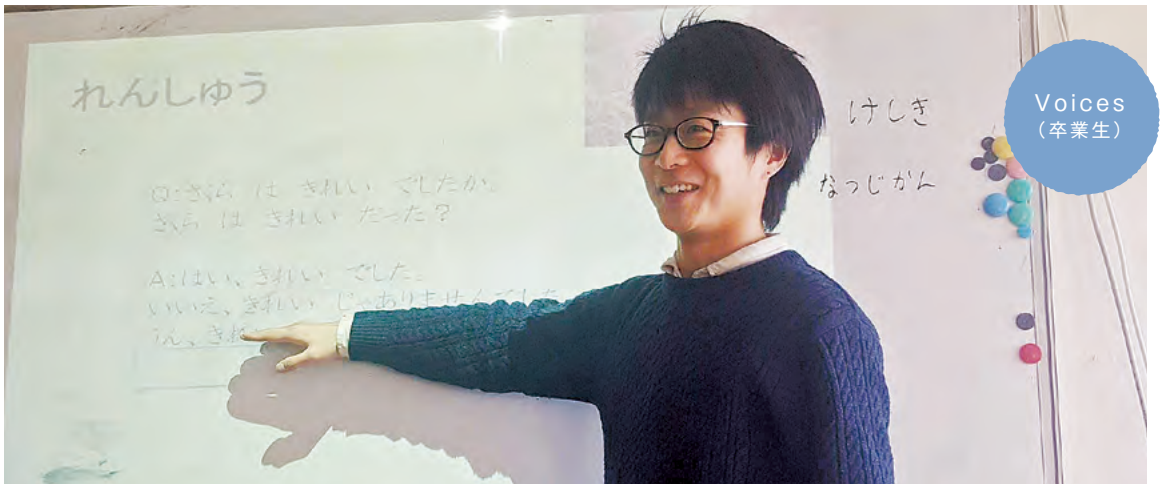
藤高　リリ

2014年3月 国際学部国際学科 卒業

現在、ＮＨＫでディレクターという仕事をしています。私の視点で「いま」を見つめ、掘り下げる。その過程では必ず、いま、あるいはかつてそこに生きていた「他者（ひと）」と出会います。そうしたひとたちとの対話から番組を作り上げ、それを社会に伝えるのが私の仕事です。

こうした経験の原点は、広島市立大学での学生時代にあります。人類で初めて原子爆弾が投下された「広島（HIROSHIMA）」は、いろいろな人を呼び寄せます。特に平和学が専攻できる国際学部には、国内外からさまざまな立場の人がやってきます。夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」では、自分とは異なるバックグラウンドを持つ人たちと出会い、ぶつかりながらも、対話を重ねてきました。

「他者と出会い、対話する」。広島市立大学での経験が、私を大きく成長させてくれました。



在学時の経験が現在の仕事にどう生かされているか

青年海外協力隊（JOCV）日本語教育 ヨルダン派遣

西本　淳一郎　2014年3月 国際学部国際学科 卒業

現在、青年海外協力隊としてヨルダンの日本語教育に携わっています。主にヨルダン大学外国語学部と外部の日本語公開講座で日本語の授業をしています。

授業ではできるだけ日本語を使うようにしていますが、初級の学生に説明するときにアラビア語や英語を使うことがあります。大学の書類がアラビア語で書かれていたり、大学側から書類の日本語訳を頼まれたりすることもあるため、広島市立大学で学習したアラビア語が役に立っています。在学時には外部機関のアラビア語弁論大会に出場しましたが、現在は年1回のヨルダン日本語弁論大会の主催と指導をする側になりました。当時の経験を振り返って、日本語を使う機会の少ないヨルダンでも、日本語学習により楽しみを感じてもらえるよう日々取り組んでいます。

情報科学部

情報科学部卒業後は、大きく分けて2つの進路があります。会社員、公務員、教員として社会に巣立つコースと、さらに専門知識・技術を磨くため大学院に進学するコースです。

企業に就職

今、最も注目されている情報分野の知識や技術を修得した情報科学部の学生は、卒業後、情報通信、ソフトウェア、情報機器製造、コンピュータなど、時代の最先端の企業で活躍しています。これまで、次のような企業に就職しています。

主な就職先（五十音順）

- ＩＭＶ㈱
- ㈱インターネットイニシアティブ
- ウォルト・ディズニー・ジャパン㈱
- ㈱ウッドワン
- ㈱エディオン
- ＮＥＣソリューションイノベータ㈱
- ＮＴＴコミュニケーションズ㈱
- ㈱ＮＴＴデータ中国
- ㈱ＮＴＴドコモ
- ㈱エネルギア・コミュニケーションズ
- ㈱鷗州コーポレーション
- ㈱カプコン
- キヤノン㈱
- 協栄産業㈱
- ㈱熊平製作所
- ＫＤＤＩ㈱
- ㈱コア
- コンチネンタル・オートモーティブ㈱
- ㈱サイバーエージェント
- ㈱サタケ
- ㈱ＪＭＳ
- 新川電機㈱
- スズキ㈱
- 住友林業㈱
- 綜合警備保障㈱
- ソフトバンク㈱
- ㈱ソルコム
- 第一生命保険㈱
- ダイハツ工業㈱
- 大和証券㈱
- ㈱中国銀行
- 中国電力㈱
- ㈱中電工
- ㈱ＴＳＳソフトウェア
- 東海旅客鉄道㈱（ＪＲ東海）
- 凸版印刷㈱
- 西日本電信電話㈱（ＮＴＴ西日本）
- 西日本旅客鉄道㈱（ＪＲ西日本）
- 日機装㈱
- 日本電気㈱（ＮＥＣ）
- 日本特殊陶業㈱
- 日本郵政インフォメーションテクノロジー㈱
- 日本アイビーエム 中国ソリューション㈱
- ㈱日本製鋼所
- 日本無線㈱
- ㈱ノーリツ
- パナソニック㈱
- パナソニックアドバンストテクノロジー㈱
- ㈱日立インフォメーションエンジニアリング
- ㈱日立公共システム
- 日立コンシューマ・マーケティング㈱
- ㈱日立情報通信エンジニアリング
- ㈱日立製作所
- ㈱日立ソリューションズ
- ㈱日立ソリューションズ西日本
- ㈱広島銀行
- 広島信用金庫
- 広島電鉄㈱
- ㈱SUBARU
- 富士ゼロックス㈱
- 富士通㈱
- 富士通FIP㈱
- ㈱富士通ソフトウェアテクノロジーズ
- ㈱プリンスホテル
- ボッシュ㈱
- マツダ㈱
- ㈱マツダE&T
- マツダエース㈱
- 三菱電機エンジニアリング㈱
- 三菱電機ビルテクノサービス㈱
- ㈱ミライト
- ㈱もみじ銀行
- ㈱リクルートホールディングス
- リコージャパン㈱

公務員・教員

一般企業のほか、公務員や教員として活躍している卒業生もいます。

これまでの主な進路は、

●広島市 ●広島市教員 ●広島県 ●広島県警察本部 ●大阪府警察本部 ●警察庁中国管区警察局 ●国土交通省中国地方整備局 ●財務省造幣局 ●防衛省海上自衛隊 ●防衛省航空自衛隊 ●東京消防庁 ●神奈川県教員

などです。

大学院に進学

情報科学部の卒業生のうち、例年約4割の学生が本学の大学院に進学しています。また、他大学の大学院に進学する学生もいます。

これまで、

●筑波大学 ●東京工業大学 ●電気通信大学 ●長岡科学技術大学 ●静岡大学 ●名古屋大学 ●北陸先端科学技術大学院大学 ●奈良先端科学技術大学院大学 ●京都大学 ●神戸大学 ●広島大学 ●九州大学

などの大学院に進学しています。

今だからこそ気付く研究活動の重要性

佐竹電機株式会社
勝部　潤
2013年3月 情報科学研究科
博士前期課程 情報工学専攻 修了

私は、大学で行った「研究過程」そのものに、仕事につながるものがあり、その経験が生かされていると思います。
大学の研究では、①現在の課題を見出し、②課題に対する解決策を模索し、③解決策の評価を行い、④結論と次の課題を見出します。この一連の流れは、仕事にも通ずるものがあります。
仕事では、①お客様が抱える問題点を調査し、②問題点に対する解決案を提案・構築し、③お客様と共に、納入したシステムの評価を行い、④次の案件への改善点・課題点を見出します。仕事というのは、これが基本であり、最も重要な事だと思います。
このことから、大学で行った研究は、仕事の基本を学べた良い機会だったと思います。そして、教員の方々はさまざまなアプローチやフォローを下さるので、より密度の濃い経験をすることができたと思います。

多角的視点からのイノベーション創出

富士電機株式会社
原田　直明
2017年3月 情報科学研究科 創造科学専攻 修了
（2015年3月 情報科学部 医用情報科学科 早期卒業）

大学在学時に、県内4大学が連携した臨床情報医工学プログラム、名古屋大学での医学系共同実験、参加者1,200人を超える米国での国際会議発表、「トビタテ！留学JAPAN」による英国サウザンプトン大学への留学などといった多様な経験をする機会に恵まれました。これらの経験を通して、自分の環境、日本での常識が当たり前ではなく、生い立ちが異なればモノの見方は変わる、ということを実感しました。逆に言えば、多様性という視点があれば、物事を客観的・多角的に捉えることができ、物事の本質を見極めることができるのではと、考えるようになりました。現在は、それ以来頭の片隅に同居する「物事の本質を見極める」という言葉とともに、台所を安全にすべく、新たな電池駆動式ガス警報器の開発に取り組んでいます。

芸術学部

芸術学部で修得した知識と技術を生かして、さまざまなクリエイティブの現場で活躍しています。
また、さらなる表現を追究し、進学、留学、そしてアーティストへ。

創作活動・美術教育

作家やクリエーターを目指して、多くの者が卒業後も作品制作に励んでいます。
その活躍は、国内の公募展や国際的コンペティションなどで数多くの入賞実績を数え、多方面のメディアに取り上げられています。
個展やグループ展を開催するなど活躍の場を広げたり、新たな創作環境を求め海外に活躍の場を展開する卒業生もいます。
また、広島市教員、広島県教員をはじめ、大学、専門学校、高等学校、中学校などの教育現場で美術指導を行う教員となる卒業生も数多くいます。

企業に就職

ものを創り、その意味を伝える。芸術学部で培ったスキルと感性は、“今”という時代だからこそ、さまざまな業種で求められています。
自分の力を示す、あらゆる可能性がそこにはあります。

主な就職先（五十音順）

- ㈱アートフリーク
- ㈱アクタス
- ㈱アドブレックス
- ㈱石井表記
- ㈱インフォ・エヌ
- ㈱内田洋行
- ㈱ウッドワン
- ㈱ガッシュ・エアスタジオ
- ㈲家庭学習研究社
- かめや釣具㈱
- 川崎重工業㈱
- ガレリア・レイノ㈱
- ㈱キタムラ
- 岐阜信用金庫
- キヤノンマーケティングジャパン㈱
- 呉信用金庫
- ㈱呉竹
- ㈱渓水社
- ㈱研創
- ㈱幻生社
- ㈱広告通信社
- コクヨマーケティング㈱
- ㈱心石工芸
- ㈱コトブキ
- ㈱コナミデジタルエンタテインメント
- ㈲小峰玩具製作所
- ㈱コロプラ
- ㈱ザメディアジョン
- ㈱サンライズ
- ㈱シグマ
- ㈱GKデザイン総研広島
- ㈱資生堂
- ㈱スタジオプラセボ
- ㈱ステージユニオン広島
- スパイラルデザイン㈱
- ㈱スペース
- スリーエム ジャパン㈱
- 創建ホーム㈱
- ㈲ソララ
- ㈱体育社
- 大昌工芸㈱
- ㈱中国四国博報堂
- ㈱TSSソフトウェア
- ㈱TSSプロダクション
- TBカワシマ㈱
- ㈱DNP西日本
- ㈱デジタライズ
- ㈱テレビ朝日クリエイト
- ㈱テレビ東京コミュニケーションズ
- ㈱電通
- ㈱テンポスドットコム
- ㈱東急ハンズ
- ㈱トッパングラフィックコミュニケーションズ
- トヨタ紡織㈱
- トライポッド・デザイン㈱
- ㈱ニシキプリント
- 西日本印刷工業㈱
- 任天堂㈱
- ヌーベルメディア㈱
- ㈱ノエビア
- パナソニック㈱
- 浜田市立石正美術館
- ㈱ハル研究所
- バンビ㈱
- ㈱ピーエーワークス
- 東原産業㈱
- ㈱広島東洋カープ
- ㈱ファブリックアーツ
- ㈱フィル・エ・クチーレ
- ㈱フォー・アンツ
- ㈱フォーナインズ
- ㈱フォノグラム
- （公財）福武財団
- ㈱ふじわら写場
- ㈱ブレーンセンター
- ㈱ポーラ
- ㈱ボニーキャニオン
- ㈱ホロンクリエイト
- ㈱本田技術研究所
- マツダ㈱
- 三起商行㈱
- ㈱ミクシィ
- ㈱みやび
- ㈱モーツアルト
- モリサワ文研㈱
- ㈱山口銀行
- ㈱ユナイテッドアローズ
- ㈱ユニバーサルポスト
- ㈱ライオン事務器
- ライカカメラジャパン㈱
- 蘭島閣美術館
- ㈱レナウン
- YKK AP㈱

大学院に進学

芸術学部の卒業生のうち、例年約4割の学生が、自己の表現を追究し、探究するために本学の大学院に進学しています。
また、各々の専門性を高めるため、国内や海外の大学の大学院に進学する学生もいます。
大学院を修了した卒業生たちは、作家、クリエーターやデザイナー、キュレーターなどになり、表現活動を続けています。

大学で培った技術で、人を喜ばせる仕事を

有限会社セクトコンサルタント リ·デ·スタ
工藤　理瑛
2012年3月 芸術学研究科 博士前期課程 彫刻専攻 修了

今の会社では主に3Dモデリングの仕事をしています。生き物やキャラクター·人物等のモデリングが多いですが、その都度幅広い依頼に対応します。
大学では、彫刻専攻として立体を作成するデッサン力を基礎とし、素材や機械の特性を理解し、段取りを考える力を養ってきました。先輩や先生方にアドバイスを頂いたり、ときには材料の販売業者の方に相談に乗っていただくこともありました。
そんな大学時代と今の仕事に共通していることは多くあります。
今の職場でも、まず「こういうものが作りたい」という想いが先にあって、それを実現するためにはどういった形状·素材·方法で進めれば、予算に合い、効率的で、理想に近づけるかを考えて進めていきます。ときには外注業者の方に相談したり、教えてもらったりすることもあります。
立体を作成するデッサン力は、仕事をこなすスピードと完成度に、そして素材や機械の知識、段取りを考える力は企画力として、先輩や先生方との関わりは相談力として、大きな力になっていると感じています。

大学時の個人·グループ制作の経験

広島放送株式会社
西原　美彩
2016年3月 芸術学研究科
博士前期課程 造形芸術専攻 修了

私は現在、番組制作·ポストプロダクション業をメインとする映像制作会社に勤めています。
学生時には映像メディア研究室にて学部·院生時を過ごし、主に手描きのアニメーション作品を制作していました。アニメーション制作は一つやりきるごとに疑問や課題、発見の連続で、それがとても気持ちがよく、取り組んでいる毎日が充実していました。
またその傍ら研究室は積極的に大学外部との提携をとっており、テレビ局の番組ブリッジ映像や、MVの制作などに関わる機会がありました。これによって、取り組む仲間と自身の強みを組み合わせ、さらにクオリティを高めた映像づくりをすることができました。
これらの個とグループによる密な制作経験が、現在の業務に生かされていると思います。

ウェブサイト紹介

◎トップページ

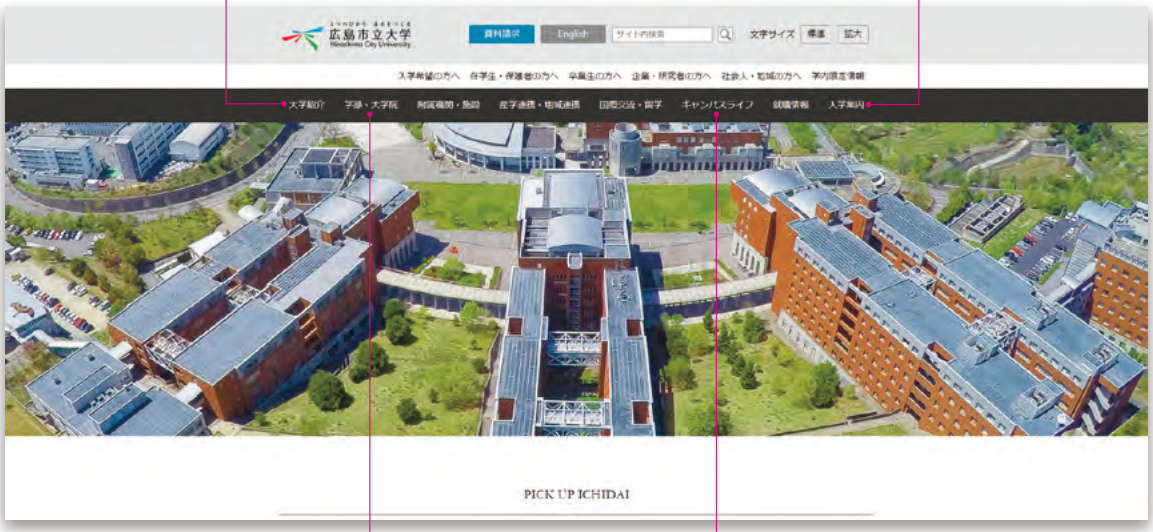
本学に関する最新の情報を見ることができます。ウェブサイトは、随時更新しています。

大学紹介

大学の概要や基礎データ、広報に関する情報などを掲載しています。本学の学生や卒業生を紹介する「Voices」では、ロングインタビューを掲載。ウェブサイトならではの情報が満載です。

入学案内

入試やオープンキャパス情報など、入学に関する大事な情報を随時掲載しています。まずはこちらをご覧ください。



学部・大学院

大学の学部・学科の特色やカリキュラムなどについて詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

キャンパスライフ

クラブ・サークル、奨学金など、大学生活について詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

プルダウンメニュー機能で、ラクラク検索。

◎関連サイト

幅広い教養を身に付ける「いちだい知のトライアスロン」

いちだい知のトライアスロンとは、学生が作品を鑑賞し、その感想をウェブシステムにより記録し、推薦コメント（または講義レポート）を提出するという流れで進みます。学生に「知る」・「考える」・「伝える」力と幅広い教養を身に付けさせることを目指す読書、映画鑑賞、美術鑑賞推進事業です。

学びを深める「学部オリジナルサイト」

国際学部オリジナルサイト

情報科学部オリジナルサイト

地（知）の拠点をつくる「広島市立大COC＋」

本学では、文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC＋）」により、広島・山口両県内の25市町を「COC＋エリア」（事業協働地域）として、「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付いて、その発展に貢献する人材」の育成を進めています。気になる活動をどんどんチェックしてみてください。

本学の情報を発信する「LINE」

広島市立大学のイベント情報や入試情報などのお知らせを幅広く発信しています。LINEを利用されている方は、「友だち登録」をしてみてください。

公式アカウント名　@hiroshima-cu

入試情報

募集人員

学　部	学科・専攻		入学定員	募集人員					
				一般入試		特別入試			
				前期日程	後期日程	推薦入試		自己推薦入試	外国人留学生入試 ※(注2)参照
						市内公募	全国公募		
国際学部	国際学科		100	60	20	10	10	—	若干名
情報科学部 ※(注1)参照	情報工学科		210	130	40	20	20	—	若干名
	知能工学科								
	システム工学科								
	医用情報科学科								
芸術学部	美術学科	日本画専攻	10	—	10	—	—	—	若干名
		油絵専攻	20	20	—			—	若干名
		彫刻専攻	10	—	7			3	若干名
	デザイン工芸学科		40	30	10			—	若干名

注1)情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属(情報工学科・知能工学科・システム工学科定員各60名、医用情報科学科定員30名)は本人の希望および1年次の成績により、2年次進級時に行います。
注2)外国人留学生入試の募集人員「若干名」は、一般入試の募集人員に含まれます。

試験日程

	出願期間	個別学力検査等期日	合格発表
推薦入試 (国際学部・情報科学部のみ)	2018年11月1日(木)～11月7日(水)	2018年11月23日(金・祝)	2018年12月5日(水)
自己推薦入試 (芸術学部 美術学科 彫刻専攻のみ)	2018年10月25日(木)～11月2日(金)	2018年11月23日(金・祝)	2018年12月5日(水)
一般入試前期日程	2019年1月28日(月)～2月6日(水)	2019年 2月25日(月) (芸術学部は下表の日程)	2019年3月7日(木)
一般入試後期日程		2019年 3月12日(火) (芸術学部は下表の日程)	2019年3月21日(木)

学科・専攻		日程区分	個別学力検査等の日程
美術学科	日本画専攻	後期日程	2019年3月12日(火)～3月15日(金)　4日間
	油絵専攻	前期日程	2019年2月25日(月)～2月28日(木)　4日間
	彫刻専攻	後期日程	2019年3月14日(木)～3月15日(金)　2日間
デザイン工芸学科		前期日程	2019年2月25日(月)～2月26日(火)　2日間
		後期日程	2019年3月14日(木)　1日

(注)外国人留学生入試の日程は、国際学部、情報科学部、芸術学部美術学科油絵専攻およびデザイン工芸学科については、一般入試前期日程と同じです。芸術学部美術学科日本画専攻および美術学科彫刻専攻については、一般入試の後期日程と同じです。

入学料・授業料

●入学料(入学手続時に支払い)　広島市内の者 282,000円　左記以外の者 423,000円
●授業料(4月と10月に半期分を支払い)　年額 535,800円

※金額は、2018年4月現在のものです。料金改定が行われた場合には、改定後の料金が適用されます。

入試の実施状況 (2018年度)

学　部	学科・専攻		試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
国際学部	国際学科		推薦入試(市内公募)	10	21	21	11	1.9
			推薦入試(全国公募)	10	36	36	16	2.3
			前期日程	60	232	222	67	3.3
			後期日程	20	331	168	25	6.7
			外国人留学生入試	若干名	25	19	10	1.9
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科		推薦入試(市内公募)	20	46	46	23	2.0
			推薦入試(全国公募)	20	58	58	24	2.4
			前期日程	130	350	334	166	2.0
			後期日程	40	356	123	41	3.0
			外国人留学生入試	若干名	2	2	2	1.0
芸術学部	美術学科	日本画専攻	後期日程	10	41	35	13	2.7
		油絵専攻	前期日程	20	56	55	25	2.2
		彫刻専攻	自己推薦入試	3	14	14	4	3.5
			後期日程	7	27	24	11	2.2
	デザイン工芸学科		前期日程	30	95	90	34	2.6
			後期日程	10	114	54	12	4.5
	※各学科・専攻		外国人留学生入試	若干名	3	3	0	−

試験教科等

一般入試

学部・学科・専攻			学力検査等区分	大学入試センター試験の利用教科等	個別学力検査等
国際学部 国際学科			前　期	「国」「地歴または公民」「数」「理（基礎を付した科目から2、または物、化、生、地学から1）」から2と「外」 ［3教科3科目または3教科4科目］	小論文
			後　期		総合問題
情報科学部 情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科			前　期	「国」「数（2科目）」「理（物、化、生から1）」「外」 ［4教科5科目］	数学 外国語（英語） 理科 （物理または化学）
			後　期	「数（2科目）」「理（物）」「外国語（英語）」 ［3教科4科目］	数学
芸術学部	美術学科	日本画専攻	後　期	「地歴」「公民」「数」「理（基礎を付した科目から2、または物、化、生、地学から1）」から1と「国」「外」 ［3教科3科目または3教科4科目］	実技検査
		油絵専攻	前　期		実技検査
		彫刻専攻	後　期		実技検査
	デザイン工芸学科		前　期		実技検査
			後　期		実技検査

注）詳細および推薦入試、自己推薦入試、外国人留学生入試については、学生募集要項で確認してください。

学生募集要項の請求方法

自己推薦入試学生募集要項は2018年7月下旬に、推薦入試学生募集要項は2018年9月上旬に、
一般入試学生募集要項および外国人留学生入試学生募集要項は、2018年11月下旬に公表する予定です。

1 テレメールを利用して請求

スマートフォン・携帯電話で右のQRコードを読み取り、テレメールにアクセスしてください。

2 大学情報センターの「モバっちょ」を利用して請求

スマートフォン・携帯電話で右のQRコードを読み取り、モバっちょにアクセスしてください。

◎その他の請求方法については、本学ウェブサイトの「資料請求」をご覧ください。

沿　革

1989年11月	広島市立大学（仮称）設立準備委員会の設置
1991年7月	「広島市立大学（仮称）基本構想」策定
1992年11月	校舎建設工事起工式
1993年12月	文部省設置認可
1994年4月	開学
1996年10月	講堂完成
1998年4月	大学院博士前期課程開設。広島平和研究所を設置
2000年3月	情報科学部棟別館完成
2000年4月	大学院博士後期課程開設
2003年3月	大学院芸術学研究科博士後期課程で最初の博士学位授与
2007年7月	社会連携センターを設置
2010年4月	「広島市」から「公立大学法人広島市立大学」に設置者変更
2013年4月	国際交流推進センターを設置
2013年10月	サテライトキャンパスを開設
2014年4月	キャリアセンターを設置
2016年10月	COC+宮島教育研究施設（サテライトハウス宮島）を開設
2018年4月	国際学生寮「さくら」を開寮

教職員·学生数 ※2018年5月1日時点

教員数

区分等		学長	副学長	教授		准教授		講師		助教		特任教員		計	
学長・副学長	小計	1	2											3	
国際学部	小計			18	(3)	20	(3)	7	(1)					45	(7)
情報科学部	小計			27		36		17		21		2		103	
芸術学部	小計			12	(1)	7		8		3				30	(1)
広島平和研究所	小計			7	(2)	5	(2)					1		13	(4)
企画室	小計											1		1	
社会連携センター	小計											7		7	
国際交流推進センター	小計											1		1	
合　計	計	1	2	64	(6)	68	(5)	32	(1)	24		12		203	(12)

非常勤講師	区分等	教員からの兼務	教員以外からの兼務	計		※2018年5月1日現在 学校基本調査 特任教員を含む カッコ内の数字は外国人教員数で内数
	計	69	116	185	(17)	

職員数

区分等		職員	嘱託	臨時職員
事務局	小計	47	31	15
社会連携センター	小計	6	2	0
国際交流推進センター	小計	1	1	2
合計	計	54	34	17

※職員 … 2018年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者および特任職員を含む
嘱託 … 2018年5月1日現在
臨時職員 … 2018年5月1日現在　7時間45分勤務の者のみ

非常勤特任教員数

区分等		非常勤特任教員
事務局	小計	3

学部生数

学部	学　科	総定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
国際学部	国際学科	400	110	109	112	146	477
情報科学部	（学部所属）		233				233
	情報工学科	240		91	62	58	211
	知能工学科	240		67	70	58	195
	システム工学科	240		68	66	69	203
	医用情報科学科	120		45	29	29	103
	計	840	233	271	227	214	945
芸術学部	美術学科	160	41	44	44	45	174
	デザイン工芸学科	160	44	45	43	41	173
	計	320	85	89	87	86	347
合　計		1,560	428	469	426	446	1,769

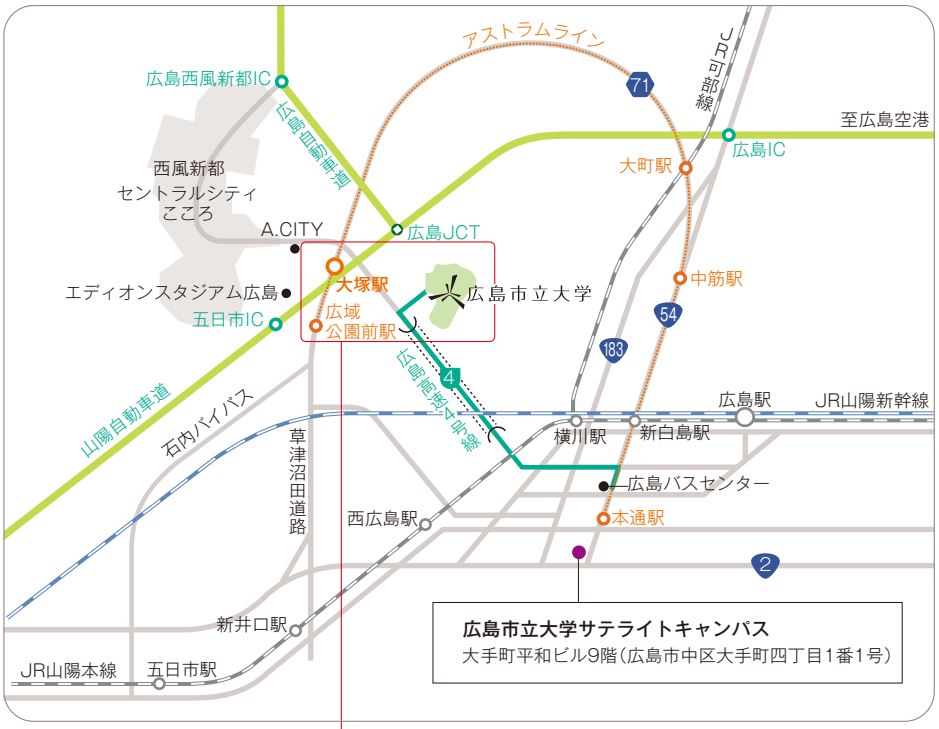
イ　大学院生数

研究科	専攻	総定員	1年次	2年次	3年次	計	
国際学研究科	前期	30	4	16		20	
	後期	21	1	2	6	9	
	計	51	5	18	6	29	
情報科学研究科	前期	168	63	58		121	
	後期	84	5	3	6	14	
	計	252	68	61	6	135	
芸術学研究科	前期	60	19	26		45	
	後期	18	4	8	4	16	
	計	78	23	34	4	61	
計	前期	258	86	100		186	
	後期	123	10	13	16	39	
合　計		381	96	113	16	225	

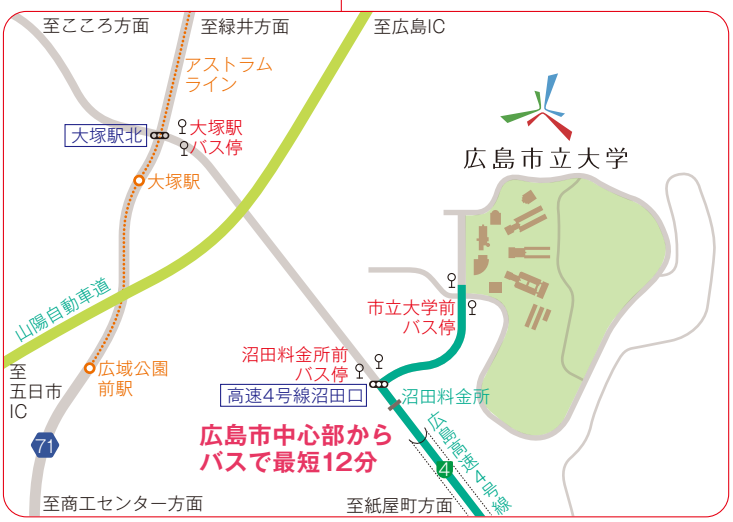
区　分	人　数	摘　要
研究生	1	
外国人研究生	13	中国12、ガーナ1
科目等履修生	9	中国2
特別聴講学生	12	中国5、ドイツ2、韓国2、フランス3
外国人留学生	55	中国41、台湾1、ベトナム7、韓国5、フランス1

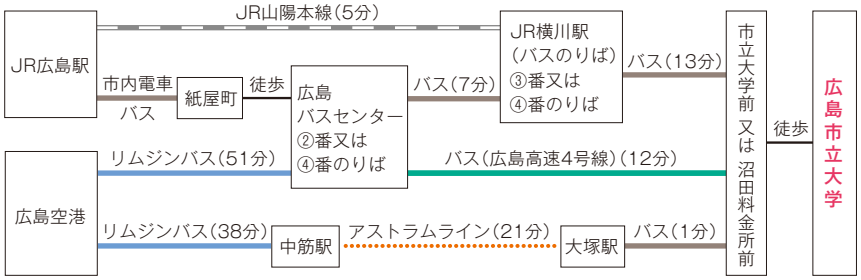
アクセスマップ

広域マップ



大学周辺図

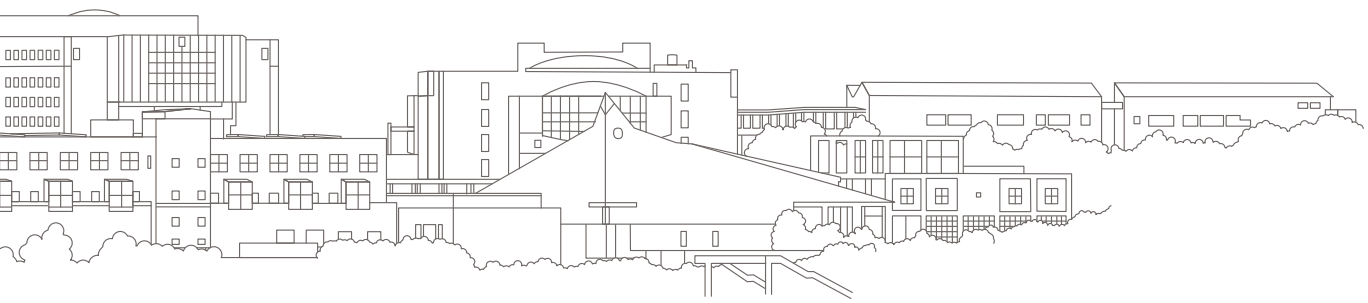




※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

●所要時間は目安です。

●広島バスセンター発「くすの木台」・「沼田ループ右回り 広島駅」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を経由します。広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南」方面行きのバスには、「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。



広島市立大学　大学案内 2019

監修／広島市立大学企画・広報委員会
発行／広島市立大学
発行日／2018年7月1日
撮影／橋本健佑（広島市立大学 写真映像教務員）

広島市立大学は、公益財団法人大学基準協会による大学評価において、大学基準に適合していると認定されています。

UNIVERSITY ACCREDITED
2017.4–2024.3

3つのひかり　未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

〒731-3194　広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
Tel. 082-830-1500(代)　Fax. 082-830-1656
HP : https://www.hiroshima-cu.ac.jp